

厚生労働科学研究費補助金  
(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業)

# 飲酒・喫煙・薬物乱用についての 全国中学生意識・実態調査 (2018年)

平成 30 年度 研究報告書

薬物乱用・依存状況等のモニタリング調査と  
薬物依存症者・家族に対する回復支援に関する研究  
(H29- 医薬 - 一般 -001)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

研究代表者 嶋根 卓也

平成 31 年 (2019 年) 3 月

## 飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査（2018 年）

分担研究者：嶋根 卓也（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部）  
研究協力者：猪浦 智史（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部）  
北垣 邦彦（東京薬科大学薬学部社会薬学研究室）  
立森 久照（国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター）  
邱 冬梅（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部）  
和田 清（埼玉県立精神医療センター依存症治療研究部）

### 【研究要旨】

【目的】中学生における飲酒・喫煙・薬物乱用の状況を横断的に把握すると共に、その経年的変化をモニタリングすることが目的である。具体的には、1) 飲酒・喫煙・薬物乱用の実態、2) 薬物乱用に関する害知識の周知状況、3) 薬物乱用経験を持つ生徒の特徴を明らかにすることである。得られた研究成果は、青少年に対する薬物乱用防止対策の基礎資料として供する。

【方法】調査対象は、全国 240 校の中学校における全在校生（想定生徒数：115,316 名）である。対象校は、層別一段集落抽出法にて都道府県毎に無作為抽出した。調査期間は 2018 年 9 月から 12 月であり、各対象校内で無記名自記式の質問紙調査を実施した。調査実施にあたっては、国立精神・神経医療研究センター倫理委員会の承認を得た（承認番号 A2015-128）。

【結果】対象校 240 校のうち、183 校（実施率 76.3%）から合計 71,351 名の有効回答を得た（想定生徒数の 61.9%）。主な知見は次の通りである。

- 1) 飲酒の生涯経験率は、男性（23.6%）、女性（18.8%）、全体（21.3%）であった。喫煙の生涯経験率は、男性（2.8%）、女性（1.5%）、全体（2.2%）であった。
- 2) 薬物乱用の生涯経験率（全体）は、有機溶剤（0.5%）、大麻（0.3%）、覚せい剤（0.3%）、危険ドラッグ（0.3%）、いずれかの薬物（0.6%）であった。
- 3) 2016 年から 2018 年にかけての生涯経験率の変化について、有機溶剤は男性（0.6%→0.6%）、女性（0.3%→0.3%）ともに横這いで推移していた。大麻は、男性では増加（0.4%→0.5%）、女性では横這い（0.2%→0.2%）で推移していた。覚せい剤は、男性では横這い（0.4%→0.4%）、女性では増加（0.1%→0.2%）していた。危険ドラッグは、男性では横這い（0.4%→0.4%）、女性では増加（0.1%→0.2%）していた。
- 4) 薬物を入手できるという回答（「なんとか手に入る」「簡単に手に入る」の合計）は、有機溶剤（11.0%）、大麻（8.4%）、覚せい剤（8.5%）、危険ドラッグ（8.3%）であり、2016 年に比べていずれも減少していた。
- 5) 薬物乱用を肯定する回答（「少々なら構わない」「まったく構わない」の合計）は、有機溶剤（1.6%）、大麻（1.9%）、覚せい剤（1.5%）、危険ドラッグ（1.3%）であり、2016 年に比べていずれも増加していた。
- 6) 薬物乱用に関する害の周知率は、概ね上昇あるいは横這いで推移していた。「薬物依存」および「精神病状態」については、薬物乱用の非経験群の周知率は、経験群に比べて、有意に高かったが、「フラッシュバック」「急性中毒死」「歯の腐食」「多発性神経炎」「無動機症候群」「危

---

「危険ドラッグの有害性」などに関しては、有意差は認められなかった。

- 7) 薬物乱用経験を持つ生徒の特徴として、「起床時間が一定していない」「朝食を食べない」「学校生活が楽しくない」「親しく遊べる友人、相談事のできる友人がいない」「孤食が多い」、「大人不在で過ごす時間が長い」「悩み事を親に相談しない」「遊び目的でのインターネット利用時間が長い」「喫煙率、飲酒率が高い」「薬物乱用の誘いを断る自信がない」といった共通項が認められた。

【考察】本調査は、1996年より隔年で実施され、今回で第12回目の調査となった。2016年から2018年にかけて飲酒・喫煙の生涯経験率はいずれも減少したが、有機溶剤および危険ドラッグは増加し、大麻および覚せい剤は横這いで推移していた。薬物の入手可能性は減少していたが、薬物乱用（特に大麻）を肯定する考えが増加しており、今後の動向に注意が必要である。薬物乱用経験者には、学校や家庭環境における孤立感や、薬物乱用の誘いを断る自信が持てないなどの心理社会的な特徴があることが示された。一方、薬物乱用の生涯経験と害知識との間で関連性がみられないことから、知識を高めるだけの予防教育では、実際の薬物乱用行動を予防できない可能性が示唆された。教育現場では、薬物乱用経験を持つ生徒の特徴を考慮に入れつつ、薬物乱用の誘いを断る力、つまり生徒の自己効力感を高めるような実践的な予防教育を推進していく必要がある。

---

## A. 研究目的

青少年における薬物乱用防止は、わが国の薬物政策における重要課題として位置づけられている。例えば、2018年に策定された第五次薬物乱用防止五か年戦略（以下、戦略）では、「青少年を中心とした広報・啓発を通じた国民全体の規範意識の向上による薬物乱用未然防止」を目標の一つとしている。

同戦略では、児童生徒が、薬物乱用の危険性・有害性について正しい知識を持ち、薬物乱用を拒絶する規範意識を向上させることができるように指導・教育内容の充実を図る旨が明記されている。こうした青少年の薬物乱用防止対策を立案し、様々な対策の効果を評価するためには、青少年における薬物乱用の実態を全国規模で、定期的に把握することが求められる。

そこで本研究では、中学生における飲酒・喫煙・薬物乱用の状況を横断的に把握すると共に、その経年的変化をモニタリングすることを目的とした。具体的には、1) 飲酒・喫煙・薬物乱用の実態、2) 薬物乱用に関する害知識の周知状況、3) 薬物乱用経験を持つ生徒の特徴を明らかにすることである。得られた研究成果は、青少年に対する薬物乱用防止対策の基礎資料として供する。

なお、本研究は「飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査」というプロジェクト名で、1996年から隔年で実施され、今回で第12回目の全国調査となった<sup>1-11)</sup>。

## B. 研究方法

### 1. 対象者およびサンプリング

調査対象は、無作為に選ばれた全国240校の中学校における全在校生である。対象校は、層別一段集落抽出法にて決定した。この場合の集落とは学校を指す。各都道府県からも最低1校は抽出されるように、都道府県を層とし、中学生数に比例して抽出対象校数を決定した。すなわち、中学生数が最も少ない鳥取県での対象校数を1として、鳥取県の中学生数との比に従って、残りの都道府県における対象校数を決定した（切り上げ）。なお、各都道府県の対象校を2校以上確保するために、最終的に鳥取県の対象校数を2とした。

なお、抽出には「全国学校総覧2018年版」を用いた。対象校の抽出は、都道府県毎に、上記の手続きで決定された数の中学校を全中学校から無作為で抽出した。その際、学校毎の生徒数に比例して抽出確率を決め、乱数によって抽出した。したがって、中学生数が多い学校ほど

選ばれる抽出確率が高くなる。この操作により、全国の中学校から 240 校（想定生徒数 115,316 名）が選ばれた。

## 2. 調査方法および倫理的配慮

調査実施機関（国立精神・神経医療研究センター）は、2018 年 6 月、文部科学省担当課、対象校を所管する都道府県教育委員会、市町村教育委員会、対象校の順序で、本調査に関する説明文書、調査用紙、薬物乱用防止に関する書籍、過去の報告書などを送付し、事前通知を行った。その後、2018 年 8 月に、対象校に調査用紙等の書類一式を送付した。

調査期間は、2018 年 9 月から 12 月までであった。自記式質問紙調査を学校内で実施した。調査実施にあたり、教員向けの実施マニュアルを作成した。調査用紙の配布・回収は、対象校の担当教員が行った。「調査への回答は自由意志に基づくものであること」、「回答したくない項目は回答する必要がないこと」、「調査に協力しないことで学校から不利益を被ることは一切ないこと」、「回答済の調査用紙は、個人用封筒に入れ、封をしてから提出すること」、「封筒の開封は学校では行わず、調査実施機関である国立精神・神経医療研究センターで行うこと」等を担当教員が生徒に対して口頭で説明した。以上の手続きにより、対象者は、調査への協力を拒否する権利が保障されている。本研究では、調査への回答をもって、同意取得と判断した。

本調査は無記名であり、個人を特定できる項目はない。生徒のプライバシーを保護し、回答内容が他の生徒や教員に見られることがないように、調査実施にあたり 2 種類の封筒（個人用、クラス用）を配布した。回答後は、生徒自らシール付きの個人用封筒を厳封した。その後、個人用封筒をクラス用封筒に投函させ、クラス単位で回収した。

調査実施後は、対象校の担当教員が調査レポート用紙に、在校生徒数（性別、学年別）や、アンケート実施日の欠席者数などを記載した。クラス単位で回収された調査用紙は調査レポートと共に、国立精神・神経医療研究センター

に返送され、開封作業を行った。

以上の調査手順は、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針を遵守するとともに、国立精神・神経医療研究センター倫理委員会の承認を得た（承認番号 A2015-128）。

## 3. 調査項目

調査項目は計 35 項目であった。

基本属性および生活習慣に関する設問として、性別、学年、起床・就寝リズム、学校生活、家族関係、インターネット使用時間など 13 項目を尋ねた。

飲酒・喫煙に関する設問として、飲酒・喫煙の生涯経験、初使用年齢、過去 1 年の使用頻度など 7 項目を尋ねた。

薬物乱用に関する設問として、有機溶剤・大麻・覚せい剤・危険ドラッグの 4 種類の薬物について、それぞれの生涯経験、誘われ経験、入手可能性（絶対に不可能、ほとんど不可能、なんとか手に入る、簡単に手に入るの 4 件法）、身近な乱用者、薬物乱用に対する考え（使うべきではない、少々なら構わない、まったく構わないの 3 件法）について尋ねた（計 5 項目）。

最後に薬物乱用に関する害に関する設問として、薬物依存、精神病状態、フラッシュバック、急性中毒死、多発性神経炎、無動機症候群など 10 項目について尋ねた。

なお、薬物の入手可能性については、「絶対不可能」および「ほとんど不可能」という回答を「入手不可」、「なんとか手に入る」および「簡単に手に入る」を「入手可能」として再コーディングした。また、薬物乱用に対する考えは、「少々なら構わない」および「まったく構わない」を「肯定回答」として再コーディングした。

## 4. 統計解析

調査用紙記載内容の電子メディアへの入力には外部業者に委託した。委託の際には、契約書を作成し、外部業者との委託業務契約を締結した。回答の中に、論理的な矛盾や不備がある場合は、事前に作成したクリーニング・マニュアルに基づき、データ修正を行った。



横断的データについては、性別（男性、女性）、学年（1年生、2年生、3年生）、薬物乱用経験（経験群、非経験群）、大麻乱用経験（経験群、非経験群）で分類し、クロス集計を行った。薬物乱用の生涯経験率などのデータは経年的な変化をみるために、グラフおよび表で推移を示した。なお、群間の有意差は、ピアソンのカイ二乗検定を用いて検定した。

## C. 研究結果

### 1. 回収結果

調査対象校 240 校（国立 1 校、公立 227 校、私立 12 校）のうち、183 校（国立 1 校、公立 175 校、私立 7 校：対象校の 76.3%）から調査協力を得た。このうち 19 校は、学年あるいは学級を限定した形での協力であった。表 1 に都道府県別の対象校数および実施校数（実施率）の状況を示した。各都道府県の実施率は 25%から 100%までバラツキがみられる。

計 183 校の調査協力校より、合計 71,940 名の調査用紙が回収された。これは想定生徒数の 62.4%にあたる。ただし、全国学校要覧による生徒数と実際の在籍生徒数とは必ずしも一致しない可能性がある。このうち 589 名は、性別および学年に明らかな矛盾が生じている生徒（16 名）、回答率が一定水準（今回は 42%未満を除外対象と設定）を満たしていない生徒（175 名）、特別支援学級の生徒（398 名）に該当し、分析対象から除外した。

以上の手続きにより、合計 71,351 名を有効回答とした（想定生徒数の 61.9%）。

### 2. 対象者の基本属性・生活属性

基本属性・生活属性に関する結果を表 14～表 17 に示した。有効回答となった 71,351 名の内訳は、男性 36,860 名（51.7%）、女性 34,331 名（48.1%）、1 年生 22,647 名（31.7%）、2 年生 24,199 名（33.9%）、3 年生 24,505 名（34.3%）であった。性別や学年に偏りは見られなかった。

生活習慣に関する結果では、起床時間は全体の 82.5%が、就寝時間は全体の 59.1%が「ほぼ一定している」と回答した。朝食の摂食頻度は、

ほとんど毎日（88.0%）が最も多く、時々食べる（7.9%）や、ほとんど食べない（4.0%）という回答は少なかった。

学校生活は、とても楽しい（47.9%）、どちらかと言えば楽しい（41.3%）が過半数を占めていたが、あまり楽しくない（8.3%）、まったく楽しくない（2.2%）という回答もみられた。クラブ活動は、積極的に参加（60.5%）が最も多く、引退した（23.8%）、消極的に参加（8.5%）、参加していない（6.7%）と続いた。親しく遊べる友人は 96.6%が「いる」と回答していたが、3.0%は「いない」と回答した。相談事のできる友人は、90.1%が「いる」と回答していたが、9.3%は「いない」と回答した。

家庭生活に関する結果のうち、家族全員での夕食頻度は、ほとんど毎日（44.7%）が最も多いが、週 2 回（13.9%）、ほとんど食べない（11.4%）、週 5～6 回（10.7%）と続いた。大人不在の状態で過ごす時間は、ほとんどなし（27.5%）が最も多く、1～2 時間（23.5%）、1 時間未満（22.3%）、2～3 時間（13.2%）と続いた。悩み事の親への相談は、どちらかと言えば相談する（32.4%）が最も多く、どちらかと言えば相談しない（22.9%）、ほとんど相談しない（22.7%）、よく相談する（20.2%）と続いた。

### 3. インターネット使用状況

インターネット使用に関する結果を表 18～21 に示した。遊び目的でのインターネット利用時間（1 日あたり）は、1～2 時間（29.1%）が最も多く、2～3 時間（22.6%）、1 時間未満（20.6%）、3～4 時間（12.3%）、5 時間以上（8.0%）、4～5 時間（5.7%）と続いた。

インターネットを利用する時に、最も使用する機器は、スマートフォン（63.2%）、パソコン（17.0%）、ゲーム機（10.5%）、と続いた。女性は男性に比べてスマートフォンという回答が多く（男性 55.3%、女性 71.8%）、男性は女性に比べてゲーム機という回答が多かった（男性 17.0%、女性 3.5%）。

### 4. 飲酒・喫煙に関する結果

飲酒・喫煙に関する結果を表 22～表 25 に示した。飲酒の生涯経験率は、男性 (23.3%)、女性 (18.7%)、1 年生 (17.9%)、2 年生 (21.1%)、3 年生 (24.1%)、全体 (21.1%) であった。飲酒場面は、冠婚葬祭 (12.4%) や、家族と一緒に (8.8%) という回答が多くみられた。初回飲酒年齢は、年齢は覚えていない (7.7%) という回答が最も多く、10 歳以下 (6.8%)、12 歳 (2.1%) と続いた。飲酒の過去 1 年経験率は、男性 (12.9%)、女性 (9.5%)、1 年生 (9.5%)、2 年生 (11.2%)、3 年生 (13.0%)、全体 (11.3%) であった。過去 1 年間の飲酒頻度は、1 年間で数回 (10.3%) が最も多かった。未成年者の飲酒に対しては、飲むべきではない (82.6%) が過半数を占めたが、時と場合に応じては構わない (14.3%) や全然構わない (1.9%) という回答もみられた。

一方、喫煙の生涯経験率は、男性 (2.8%)、女性 (1.5%)、1 年生 (1.4%)、2 年生 (2.3%)、3 年生 (2.8%)、全体 (2.2%) であった。喫煙の過去 1 年経験率は、男性 (1.4%)、女性 (0.7%)、1 年生 (0.6%)、2 年生 (1.0%)、3 年生 (1.3%)、全体 (1.0%) であった。初回喫煙年齢は、年齢は覚えていない (0.7%)、10 歳以下 (0.6%) という回答が最も多く、過去 1 年間の喫煙頻度は、1 年間で数回 (0.6%) が最も多かった。未成年者の喫煙に対しては、吸うべきではない (95.6%) という回答が過半数を占める一方で、少々なら構わない (2.1%) や全然構わない (1.2%) という回答もみられた。

飲酒および喫煙の生涯経験率の経年変化を表 9～10 および図 9～10 に示した。飲酒率、喫煙率は、いずれも年々減少傾向にある。

## 5. 薬物乱用の生涯経験率・誘われ経験・入手可能性などの結果

薬物乱用に関する結果を表 26～表 29 に示した。薬物乱用の生涯経験率は、有機溶剤 (0.5%)、大麻 (0.3%)、覚せい剤 (0.3%)、危険ドラッグ (0.3%)、いずれかの薬物 (0.6%) であった。

薬物乱用に誘われた経験は、有機溶剤 (0.3%)、大麻 (0.3%)、覚せい剤 (0.3%)、危険ドラッグ

(0.3%)、いずれかの薬物 (0.5%) であった。

身近に使っている人がいると答えた者の割合は、有機溶剤 (0.9%)、大麻 (0.7%)、覚せい剤 (0.7%)、危険ドラッグ (0.6%) であった。

薬物の入手可能性は、各薬物ともに「絶対不可能」あるいは「ほとんど不可能」という回答が過半数を占めていたが、「簡単に手に入る」という回答もみられ、有機溶剤 (4.5%)、大麻 (2.7%)、覚せい剤 (2.7%)、危険ドラッグが (2.7%) であった。

薬物乱用に対する考えは、ほとんどの対象者が「使うべきではない」と回答していたものの、わずかながら「まったく構わない」という回答がみられ、有機溶剤 (0.8%)、大麻 (0.9%)、覚せい剤 (0.8%)、危険ドラッグ (0.8%) であった。

薬物乱用に関する経年変化を表 2～8, 11～13, 42 および図 2～8, 11～13, 42 に示した。

2016 年から 2018 年にかけての生涯経験率の変化について、有機溶剤は男性 (0.6%→0.6%)、女性 (0.3%→0.3%) とともに横這いで推移していた。大麻は、男性では増加 (0.4%→0.5%)、女性では横這い (0.2%→0.2%) で推移していた。覚せい剤は、男性では横這い (0.4%→0.4%)、女性では増加 (0.1%→0.2%) していた。危険ドラッグは、男性では横這い (0.4%→0.4%)、女性では増加 (0.1%→0.2%) していた。

薬物を入手できるという回答（「なんとか手に入る」「簡単に手に入る」の合計）は、有機溶剤 (11.0%)、大麻 (8.4%)、覚せい剤 (8.5%)、危険ドラッグ (8.3%) であり、2016 年に比べていずれも減少していた。

薬物乱用を肯定する回答（「少々なら構わない」「まったく構わない」の合計）は、有機溶剤 (1.6%)、大麻 (1.9%)、覚せい剤 (1.5%)、危険ドラッグ (1.3%) であり、2016 年に比べていずれも増加していた。薬物乱用に誘われた経験率は各薬物ともに横這いであった。

## 6. 薬物乱用に関する害の周知率

薬物乱用に関する害の周知率を表 30～表 33 に示した。それぞれの周知率は、薬物依存 (95.5%)、精神病状態 (89.9%)、フラッシュバ

ック(71.3%)、有機溶剤乱用による急性中毒死(73.2%)、有機溶剤乱用による歯の腐食(69.3%)、有機溶剤乱用による多発性神経炎(62.8%)、無動機症候群(65.4%)、危険ドラッグによる身体・精神症状(71.6%)などであった。

害知識の周知率の経年変化を表 34～表 41 および図 14～図 21 に示した。薬物乱用に関する害の周知率は、概ね上昇あるいは横這いで推移していた。「有機溶剤乱用による多発性神経炎」のみが周知率の低下が確認された。

薬物乱用の誘いを断る自信は、大変ある(79.5%)や、どちらかと言えばある(14.7%)が多数を占めていたが、どちらかと言えない(2.0%)、まったくない(2.6%)という回答もみられた。

## 7. 薬物乱用経験を持つ生徒の特徴

ここでは、いずれかの薬物乱用経験のある経験群と、薬物乱用経験のない非経験群との群間比較の結果を示した。経験群は非経験群に比べて男性の比率が高く、2年生の比率が高い傾向がみられた。

生活習慣に関する結果(表 16)では、経験群は非経験群に比べて、起床時間や就寝時間が一定していない生徒の比率が高く、朝食を食べないという生徒の比率が高かった。学校生活に関する結果では、経験群は非経験群に比べて、学校生活が楽しくない、クラブ活動に参加していない、親しく遊べる友人がいない、相談事のできる友人がいないという回答が高い傾向がみられた。家庭生活に関する結果では、経験群は非経験群に比べて、家族全員で夕食を食べない、大人不在の状態でご過ごす時間が長い、悩み事を親に相談しない、遊び目的でのインターネット利用時間が長い傾向がみられた(表 20)。

飲酒・喫煙に関する結果(表 24)では、経験群は非経験群に比べて、生涯飲酒経験率、過去1年飲酒経験率、生涯喫煙経験率、過去1年喫煙経験率のいずれも高かった。また、経験群は非経験群に比べて、未成年者の飲酒や喫煙に対して「全然構わない」と答える比率が高かった。

薬物乱用に関する結果(表 28)では、経験群

は非経験群に比べて、薬物乱用に誘われた経験、身近に使っている人がいると答えた者の割合、薬物の入手可能性、薬物乱用を肯定する考えが多かった。

薬物乱用の害知識に関する結果(表 32)では、「薬物依存」および「精神病状態」については、薬物乱用の非経験群の周知率は、経験群に比べて、有意に高かったが、「フラッシュバック」「急性中毒死」「歯の腐食」「多発性神経炎」「無動機症候群」「危険ドラッグの有害性」などに関しては、有意差は認められなかった。

薬物乱用の誘いを断る自信は、経験群は非経験群に比べて、「まったくない」という回答が多かった。

## D. 考察

### 1. 対象者の特徴

本調査は、1990年に和田らが千葉県公立中学校を対象に実施した調査を原点としている<sup>12-14)</sup>。1996年より調査対象を全国規模に拡大し、2年に1回のペースで継続的に実施し、今回が第12回目の実施となる<sup>1-11)</sup>。薬物乱用の好発年齢とされる中学生<sup>15,16)</sup>における薬物乱用の実態調査としては、わが国で唯一の全国調査である。また、20年以上、同一デザインで調査を行ってきたことで、薬物乱用の生涯経験率などの経年的変化を掴むことができるモニタリング調査としての性質も併せ持っている。

今年度調査の協力率は、対象校の76.3%であり、これまで最も高い協力率となった(図 1)。都道府県別の協力率をみると25%から100%までバラツキはあるが、すべての都道府県から1校以上の協力を得ることができた点も含めて、今年度の協力率は特筆して高いと言える(表 1)。学校行事が立て込む二学期中の調査にご協力をいただいた各対象校および対象校を管轄する各教育委員会にはこの場を借りて心からお礼を申し上げたい。

さて、今年度、協力率が急激に増加した背景にはいくつかの理由が考えられる。一つ目の理由は、学校保健関係の全国大会を通じて、協力要請を行ったことである。全国学校保健・安全



研究大会（鹿児島）および、学校環境衛生・薬事衛生研究協議会（滋賀）において、全国の学校保健関係者に向けて説明と協力要請を実施した。こうしたアナウンスを通じて、当研究が各自治体に周知されたことが影響している可能性がある。

二つ目の理由は、薬物乱用防止に資する教材「危険ドラッグ問題の表と裏<sup>17)</sup>」を全対象校に事前送付したことである。従来は、調査協力のインセンティブとして、調査実施後に協力校のみに書籍を送付していた。しかし、今年度より協力の有無に関わらず、すべての対象校に事前送付した。この書籍には、過去の調査データが反映されていることから、対象校としては本調査の実績や、調査結果の活用方法などを事前に理解した上で、調査への協力を検討することができる体制となった。こうした事前の情報提供が協力率に影響を与えた可能性が考えられる。

三つ目の理由は、対象校との連絡をより丁寧に行った点である。前回までは、調査期間中に郵送にて実施状況を尋ね、返信ハガキで回答を求めてきた。利便性の向上を目的として、今回より返信をFAXおよびメールに変更した。さらに、返信のない学校に対しては、直接電話をかけ、調査実施状況および意向について確認を行った。こうした対象校との連絡を密にとったことが、結果として協力率向上につながったと考えられる。

四つ目の理由は、調査期間を拡大したことが考えられる。前回までは、10月上旬から11月末までの調査期間であったが、今回は、期間を9月上旬から12月中旬まで拡大して実施した。結果として、夏休み明けの9月上旬や12月中旬、特に、テスト期間が終了した二学期末の時期に調査を実施した学校が多く、学校側が調査を実施し易い時期であったことが考えられた。

## 2. 飲酒・喫煙の生涯経験率

2016年から2018年にかけて飲酒・喫煙の生涯経験率はいずれも減少した。飲酒・喫煙の生涯経験率は、1998年をピークとして、特に2000年以降は激減している。中学生における飲酒

率・喫煙率低下の背景には、2000年に改正された「未成年者喫煙禁止法及び未成年者飲酒禁止法」が影響していることが考えられる。タバコや酒類の販売時の年齢確認が強化されたことや、自動販売機での購入時に成人識別が必要となったことから、未成年者の入手機会が減った。特にタバコに関しては、健康増進法の影響もあり、中学生の親世代についても禁煙化が進んでいることが想像され、身近な家族からの影響が少なくなった可能性がある。対象者全体の95%以上が「未成年者はタバコを吸うべきではない」と考えていることから、中学生の間でタバコに対する忌避的な考えが広く浸透していることが伺われる。これに対し、「未成年者はお酒を飲むべきではない」という回答は80%程度にとどまっており、タバコと比べると寛容に捉えられる傾向がある。中学生の飲酒に対して、両親やきょうだいなどの家族の飲酒が与える影響は少なくないと推察される。飲酒場面では、「冠婚葬祭」や「家族と一緒に」といった回答が多いことや、未成年者の飲酒に関して「時と場合に応じては構わない」という回答が一定割合みられることから、中学生の周りには大人が飲酒に対しては寛容であることが、結果として中学生の意識にも影響を与えている可能性が考えられる。

## 3. 薬物乱用の生涯経験率

薬物乱用の生涯経験率は、2016年から2018年にかけて、有機溶剤および危険ドラッグは0.1ポイント上昇し、大麻と覚せい剤は横這いで推移していた。2017年に実施された薬物使用に関する全国住民調査<sup>18)</sup>では、大麻の生涯経験率が有機溶剤を上回り、我が国で最も乱用される薬物となったことが報告されているが、中学生においては今のところ同様の変化はみられていない。今回、2016年から2018年にかけて有機溶剤および危険ドラッグの生涯経験率がわずかに増加したが、二時点の変化だけで今後の動向を予測することは困難であり、今後もモニタリングを続けていく必要がある。いずれにせよ、中学生においては、薬物乱用の減少がみられて



いないということは言えそうである。

薬物の入手可能性については、減少傾向にある一方で、薬物乱用（特に大麻）を肯定する考えが増えているという結果が得られた。入手可能性の低下は、危険ドラッグに対する指定薬物制度など、薬物乱用の規制が強化されたことで、薬物を入手しづらい環境になっていることを反映した回答と考えられる。一方、薬物乱用を「少々なら構わない」「まったく構わない」といった肯定する考えが増加している背景には、インターネット上に大麻を肯定するような情報や、大麻の安全性を強調するような情報が氾濫していることが青少年に何らかの影響を与えている可能性がある。また近年、北米（アメリカの一部の州およびカナダ）において、医療目的や嗜好目的での大麻が合法化される動きがあるが、こうした海外の薬物政策の転換が、我が国の青少年の意識にも何らかの影響を与えている可能性は否定できない。

#### 4. 薬物乱用経験者の特徴を踏まえた予防教育

薬物乱用経験を持つ生徒の特徴として、「起床時間が一定していない」「朝食を食べない」「学校生活が楽しくない」「親しく遊べる友人、相談事のできる友人がいない」「孤食が多い」「大人不在で過ごす時間が長い」「悩み事を親に相談しない」「遊び目的でのインターネット利用時間が長い」「喫煙率、飲酒率が高い」「薬物乱用の誘いを断る自信がない」といった共通項が認められた。これらの共通項からは、学校や家庭環境における孤立感や、薬物乱用の誘いを断る自信が持てないなどの心理社会的な特徴があることが示唆される。

薬物乱用防止のためには、正しい害知識の普及が必要と言いたいところであるが、薬物乱用経験の有無と、薬物乱用の害知識との間には関連性があまりないことが結果で示されている。つまり、薬物乱用の危険性・有害性を強調するだけの知識伝達型の教育だけでは、実際の薬物乱用行動を予防できない可能性が示唆される。文部科学省が進める薬物乱用防止教育では、薬物乱用の有害性や危険性を学習するだけ

でなく、セルフエスティームや意志決定能力を育むようなライフスキル教育を重視している<sup>19)</sup>。教育現場では、薬物乱用経験を持つ生徒の特徴を考慮に入れつつ、薬物乱用の誘いを断る力、つまり生徒の自己効力感を高めるような実践的な予防教育を推進していく必要がある。

#### E. 結論

中学生における飲酒・喫煙・薬物乱用の状況を横断的に把握すると共に、その経年的変化をモニタリングすることが目的として、第12回目となる「飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査」を実施した。

2016年から2018年にかけて飲酒・喫煙の生涯経験率はいずれも減少したが、有機溶剤および危険ドラッグは増加し、大麻および覚せい剤は横這いで推移していた。薬物の入手可能性は減少していたが、薬物乱用（特に大麻）を肯定する考えが増加しており、今後の動向に注意が必要である。

薬物乱用経験者には、学校や家庭環境における孤立感や、薬物乱用の誘いを断る自信が持てないなどの心理社会的な特徴があることが示された。一方、薬物乱用の生涯経験と害知識との間で関連性がみられないことから、知識を高めるだけの予防教育では、実際の薬物乱用行動を予防できない可能性が示唆された。教育現場では、薬物乱用経験を持つ生徒の特徴を考慮に入れつつ、薬物乱用の誘いを断る力、つまり生徒の自己効力感を高めるような実践的な予防教育を推進していく必要がある。

#### 謝辞

本調査の実施にあたり、快くご協力をいただきました各対象校の関係者様、教育委員会の皆様、そして調査にご回答いただきました生徒の皆様、心から感謝いたします。

また、調査用紙の開封・整理作業にご尽力いただいた八王子ダルク・川崎ダルク・横浜ダルクのみなさま、学生ボランティア（津田塾大学、東京薬科大学、東京経済大学）の皆様にもこの場を借りてお礼を申し上げます。

## F. 参考文献

- 1) 和田清, 勝野眞吾, 尾崎米厚, ほか: 中学生における「シンナー遊び」・喫煙・飲酒についての調査研究. 平成 8 年度厚生科学研究費補助金麻薬等対策総合研究事業「薬物依存・中毒者の疫学調査及び精神医療サービスに関する研究班」研究報告書第 1 分冊 薬物乱用・依存の多面的疫学調査研究 (2), pp21-60, 1997.
- 2) 和田清, 中野良吾, 尾崎米厚, ほか: 薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査. 平成 10 年度厚生科学研究費補助金医薬安全総合研究事業「薬物乱用・依存等の疫学的研究及び中毒性精神障害者等に対する適切な医療のあり方についての研究」研究報告書, pp19-83, 1999.
- 3) 和田清, 菊池安希子, 尾崎米厚, ほか: 薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査. 平成 12 年度厚生科学研究費補助金医薬安全総合研究事業「薬物乱用・依存等の疫学的研究及び中毒性精神障害者等に対する適切な医療のあり方についての研究」研究報告書, pp15-76, 2001.
- 4) 和田清, 畢穎, 尾崎米厚, ほか: 薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査. 平成 14 年度厚生労働科学研究費補助金医薬安全総合研究事業「薬物乱用・依存等の実態把握に関する研究及び社会経済的損失に関する研究」研究報告書, pp19-86, 2003.
- 5) 和田清, 近藤あゆみ, 高橋伸彰, ほか: 薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査. 平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業「薬物乱用・依存等の実態とその社会的影響・対策に関する研究」研究報告書, pp17-87, 2005.
- 6) 和田清, 近藤あゆみ, 尾崎米厚, ほか: 薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査. 平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業「薬物乱用・依存等の実態と乱用・依存者に対する対応策に関する研究」研究報告書, pp17-91, 2007.
- 7) 和田清, 嶋根卓也, 尾崎米厚, ほか: 薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査. 平成 20 年度厚生労働科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業「薬物乱用・依存等の実態把握と「回復」に向けての対応策に関する研究」研究報告書, pp15-85, 2009.
- 8) 和田清, 小堀栄子, 嶋根卓也, ほか: 飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査. 平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業「薬物乱用・依存の実態把握と再乱用防止のための社会資源等の現状と課題に関する研究」研究報告書, pp17-87, 2011.
- 9) 和田清, 水野奈津美, 嶋根卓也, ほか: 飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査. 平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業「薬物乱用・依存等の実態把握と薬物依存症者に関する制度的社会資源の現状と課題に関する研究」研究報告書, pp17-83, 2013.
- 10) 和田清, 邱冬梅, 嶋根卓也, ほか: 飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査. 平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業「『脱法ドラッグ』を含む薬物乱用・依存の実態把握と薬物依存症者の「回復」とその家族に対する支援に関する研究」研究報告書, pp17-93, 2015.
- 11) 嶋根卓也, 大曲めぐみ, 北垣邦彦, ほか: 飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査. 平成 28 年度厚生労働科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業「危険ドラッグを含む薬物乱用・依存状況の実態把握と薬物依存症者の社会復帰に向けた支援に関する研究」総括: 分担研究報告書. pp15-74, 2017.

- 12) Wada, K., Fukui, S.: Prevalence of volatile solvent inhalation among junior high school students in Japan and background life style of users. *Addiction* 8 8: 89-100,1993.
- 13) 和田清：中学生における有機溶剤乱用の実態とその生活背景－1992 年千葉県調査より－. *学校保健研究* 43:26-38, 2001.
- 14) Wada, K.: Prevalence of Solvent Inhalation among Junior High School Students in Japan and Their Background Lifestyle: Result of Chiba Prefecture Survey 1994. *Japanese Journal of Alcohol Studies and Drug Dependence* 37: 41-56, 2002.
- 15) Wada, K., Fukui, S.: Demographic and Social Characteristics of Solvent Abuse Patients in Japan. *The American Journal on Addictions* 3:165-176, 1994.
- 16) 嶋根卓也, 三砂ちづる：青少年と薬物乱用・依存. *保健医療科学*. 54(2):119-126, 2005.
- 17) 加藤哲太、北垣邦彦、嶋根卓也、ほか：危険ドラッグ問題の表と裏、薬事日報社、2016.
- 18) 嶋根卓也, 邱冬梅, 和田清：薬物使用に関する全国住民調査 (2017 年) . 平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業「薬物乱用・依存状況等のモニタリング調査と薬物依存症者・家族に対する回復支援に関する研究」分担研究報告書, pp7-148, 2018.
- 19) 嶋根卓也：学校における薬物乱用防止教育. *精神科治療学*, 31(5) : 573-579, 2016.
- 20) 嶋根卓也, 今村顕史, 池田和子, ほか：薬物使用経験のある HIV 陽性者において危険ドラッグ使用が服薬アドヒアランスに与える影響、*日本エイズ学会雑誌* 20(1) : 32-40, 2018.
- 21) 佐々木真人, 堀岡広稔, 村岡謙行..., 嶋根卓也：薬局薬剤師を対象としたゲートキーパー研修会が知識・自己効力感・臨床行動に与える影響、*日本薬剤師会雑誌*, 70(7):849-857, 2018.
- 22) 嶋根卓也：日本における薬物乱用のモニタリング調査と回復支援プログラムについて. *龍谷法学* 50(3) : 1805-1812, 2018.
- 23) 嶋根卓也：【IV. 知っておきたい！生活サポート&性教育】40 薬物乱用. *小児科* 50 (5) 4 月臨時増刊号「思春期を診る！」: 774-780, 2018.
- 24) 嶋根卓也：薬物乱用防止の最前線：薬剤師に知ってほしいこと. *Excellent Pharmacy* 5 月 1 日号, pp11-13, 2018.
- 25) 嶋根卓也：薬物乱用防止における薬剤師の役割. *ファルマシア* 54(6) : 541-543, 2018.
- 26) 嶋根卓也：「NO」と言えない子どもたち－酒・タバコ・クスリと援助希求. *こころの科学* №202 : 47-51, 2018.
- 27) 嶋根卓也：薬物使用の最新動向：大麻からエナジードリンクまで、*KNOW NEWS LETTER* 99 号,p2-5,2018.
- 28) 嶋根卓也, 松本俊彦：2.評価尺度の解説 (2) 薬物使用障害の評価尺度. *新アルコール・薬物使用障害の診断治療ガイドライン*, 第 1 章 総論 II 診断総論, 新興医学出版社, 東京, pp11-13, 2018.
- 29) 嶋根卓也, 松本俊彦：2.薬物乱用・依存の疫学. *新アルコール・薬物使用障害の診断治療ガイドライン*, 第 1 章 総論 IV 疫学, 新興医学出版社, 東京, pp28-31, 2018.

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

- 1) 嶋根卓也：過量服薬に対する薬剤師の役割. *臨床精神薬理*. 22(3),293-299, 2019.
- 2) Tanibuchi Y, Matsumoto T, Funada D, Shimane T : The influence of tightening regulations on patients with new psychoactive substance-related disorders in Japan. *Neuropsychopharmacol Rep*. 38(4), 189-196, 2018.
- 3) Shimane T, Wada K, Qiu D : Prevalence of

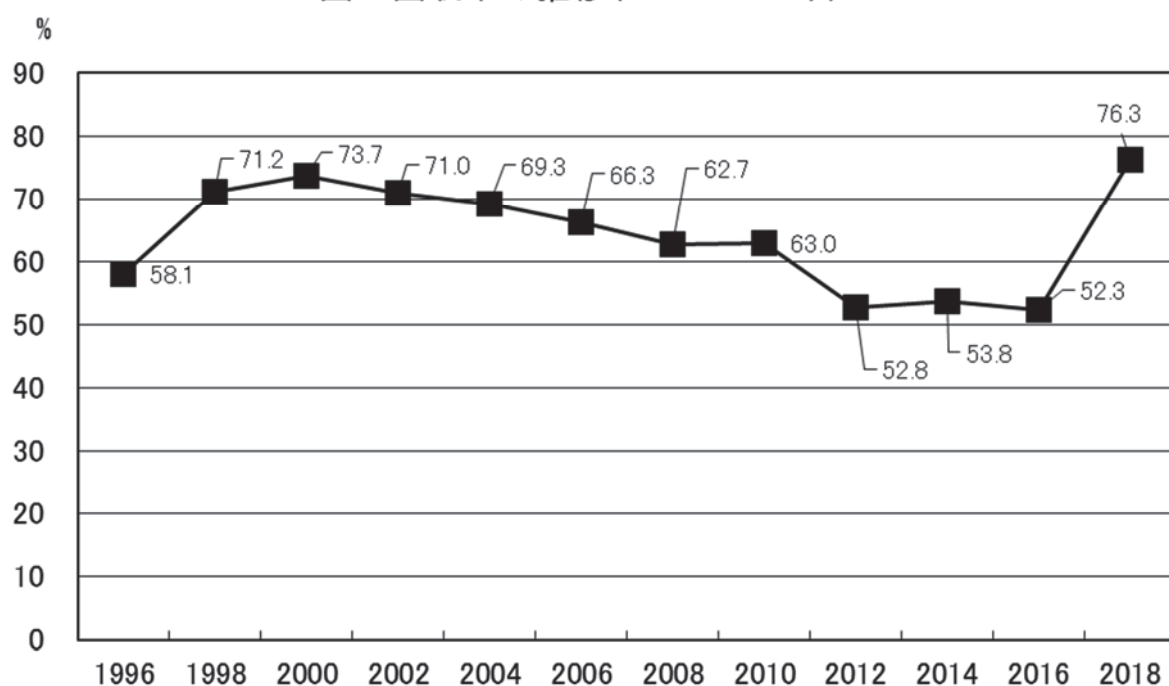
- binge drinking and association with substance use : A cross-sectional nationwide general population survey in Japan. 19th World Congress of International Society for Biomedical Research on Alcoholism(ISBRA2018), Kyoto, Japan, 2018.9.12
- 2) Shimane T, Tani M, Yamaki M, Kobayashi M, Kondo A, Takahashi M : Methamphetamine users in Japanese prisons : Comorbid hazardous alcohol consumption. 19th World Congress of International Society for Biomedical Research on Alcoholism(ISBRA2018), Kyoto, Japan, 2018.9.12
  - 3) Yamaki M, Takeshita Y, Takahashi M, Kondo A, Shimane T : Prevalence and correlates of adverse childhood experience(aces)among methamphetamine users in Japanese prison . 19th World Congress of International Society for Biomedical Research on Alcoholism(ISBRA2018), Kyoto, Japan, 2018.9.11
  - 4) Shimane T : Drug use and addiction in Japan: Increase and decrease with new psychoactive substances. The 20th International Society of Addiction Medicine Annual Meeting(ISAM BUSAN 2018), Busan, Republic of Korea, 2018.11.4.
  - 5) 嶋根卓也, 近藤あゆみ, 米澤雅子, 近藤恒夫, 松本俊彦 : 民間支援団体利用者のコホート調査と支援の課題に関する研究 (第二報). シンポジウム 33 刑の一部執行猶予制度施行後における薬物依存症地域支援の現状と課題. 第 114 回日本精神神経学会学術総会, 兵庫, 2018.6.21.
  - 6) 大西真由美, 尾崎敬子, 嶋根卓也 : 国際保健と疫学〜フィールドとアカデミアをつなぐために. 第 33 回日本国際保健医療学会学術大会シンポジウム, 東京, 2018.12.1.
  - 7) 嶋根卓也 : 危険ドラッグ問題の行方 : 全国住民調査 2015 年の結果より. 第 22 回埼玉県薬剤師会学術大会, 埼玉, 2016.11.6.
  - 8) 和田清, 合川勇三, 森田展彰, 嶋根卓也 : 薬物乱用・依存症者における HIV・HCV 等感染状況と感染ハイリスク行動に関する研究. 平成 29 年度日本アルコール・アディクション医学会学術総会, 神奈川, 2017.9.9.
  - 9) 嶋根卓也, 邱冬梅, 和田清 : 一般住民におけるカフェイン製剤使用状況と薬物使用との関連 : 薬物使用に関する全国住民調査より. 平成 30 年度日本アルコール・アディクション医学会学術総会, 京都, 2018.9.10.
  - 10) 嶋根卓也, 邱冬梅, 和田清 : 一般住民におけるエナジードリンク使用状況と薬物使用との関連 : 薬物使用に関する全国住民調査より. 平成 30 年度日本アルコール・アディクション医学会学術総会, 京都, 2018.9.10.
  - 11) 嶋根卓也, 邱冬梅, 和田清 : 一般住民における大麻使用の増加 : 薬物使用に関する全国住民調査より. 平成 30 年度日本アルコール・アディクション医学会学術総会, 京都, 2018.9.10.
  - 12) 引土絵未, 岡崎重人, 加藤隆, ...嶋根卓也 : 回復支援施設における TC エンカウンター・グループの適用に関する研究. 平成 30 年度日本アルコール・アディクション医学会学術総会, 京都, 2018.9.10.
  - 13) 嶋根卓也, 今村顕史, 池田和子, ほか : 薬物使用経験のある HIV 陽性者における亜硝酸エステル使用が服薬アドヒアランスに与える影響. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, 2018.12.4.
- H. 知的財産権の出願・登録状況  
該当なし



表1. 都道府県別にみた対象校数および実施校数（実施率）の状況

	対象校数	実施校数	実施率(%)		対象校数	実施校数	実施率(%)
北海道	9	5	55.6%	滋賀	3	3	100.0%
青森	3	2	66.7%	京都	5	4	80.0%
岩手	3	3	100.0%	大阪	15	11	73.3%
宮城	4	3	75.0%	兵庫	10	7	70.0%
秋田	2	2	100.0%	奈良	3	3	100.0%
山形	2	1	50.0%	和歌山	2	2	100.0%
福島	4	3	75.0%	鳥取	2	2	100.0%
茨城	6	3	50.0%	島根	2	2	100.0%
栃木	4	4	100.0%	岡山	4	2	50.0%
群馬	4	1	25.0%	広島	6	5	83.3%
埼玉	13	11	84.6%	山口	3	3	100.0%
千葉	11	9	81.8%	徳島	2	1	50.0%
東京	20	17	85.0%	香川	2	2	100.0%
神奈川	16	9	56.3%	愛媛	3	2	66.7%
新潟	4	4	100.0%	高知	2	2	100.0%
富山	2	2	100.0%	福岡	9	6	66.7%
石川	3	2	66.7%	佐賀	2	2	100.0%
福井	2	2	100.0%	長崎	3	2	66.7%
山梨	2	2	100.0%	熊本	4	4	100.0%
長野	4	4	100.0%	大分	2	2	100.0%
岐阜	4	3	75.0%	宮崎	2	2	100.0%
静岡	7	4	57.1%	鹿児島	3	3	100.0%
愛知	14	7	50.0%	沖縄	4	4	100.0%
三重	4	4	100.0%	全体	240	183	76.3%

図1. 回収率の推移(1996-2018年)



<図表に関する注意事項>

本研究の図表において、原則として「無回答・無効回答」を分母に含めた状況で割合を計算している。ただし、経年変化など一部のデータについては、「無回答・無効回答」を分母から除いた形で割合を計算しているものがあり、その場合は図表の下部に注釈を付けた。また、クロス集計における有意差検定は、無回答・無効回答を除外して計算した。  
 無回答：答えていない場合、無効回答：回答に不備がある場合

表2. 薬物乱用の生涯経験率の推移(1996-2018年) (%)

調査年	有機溶剤	大麻	覚せい剤	危険ドラッグ	いずれかの薬物
1996	1.1	0.6	0.4	-	1.5
1998	1.3	0.7	0.5	-	1.8
2000	1.3	0.4	0.4	-	1.5
2002	1.2	0.5	0.4	-	1.6
2004	1.1	0.5	0.5	-	1.4
2006	0.9	0.4	0.4	-	1.2
2008	0.8	0.3	0.3	-	1.0
2010	0.7	0.3	0.3	-	0.9
2012	0.5	0.2	0.2	0.2	0.8
2014	0.7	0.2	0.2	0.2	1.0
2016	0.4	0.3	0.3	0.2	0.5
2018	0.5	0.3	0.3	0.3	0.6

生涯経験率は無回答・無効回答を除いて計算した。

図2. 薬物乱用の生涯経験率の推移(1996-2018年)

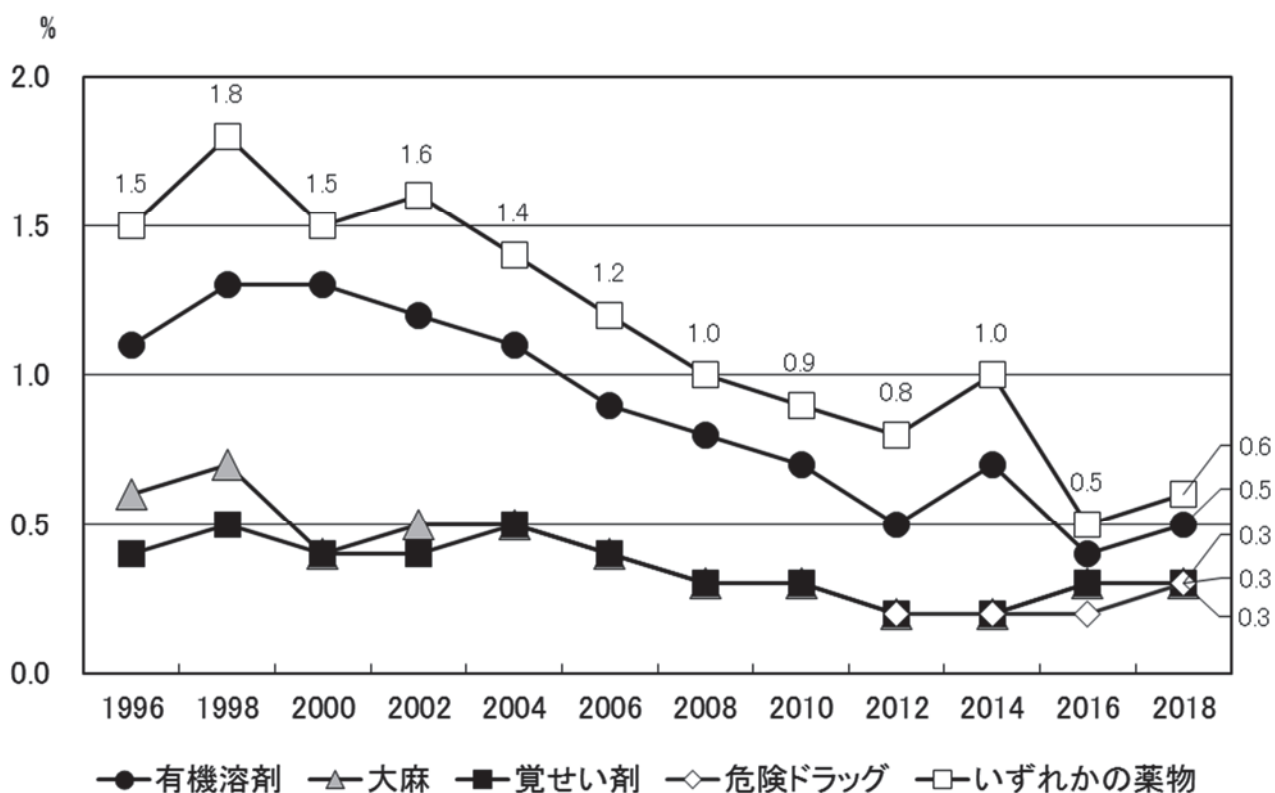


表3. いずれかの薬物乱用の生涯経験率の推移(1996-2018年)

(%)

調査年	男性	1年生	2年生	3年生	女性	1年生	2年生	3年生	全体	1年生	2年生	3年生	校数	回答生徒数
1996	1.8	1.5	1.8	2.2	1.0	0.9	1.0	1.0	1.5	1.3	1.5	1.7	108	54,136
1998	2.3	1.8	2.1	2.9	1.2	1.2	1.1	1.3	1.8	1.5	1.6	2.2	148	71,245
2000	2.0	1.7	2.0	2.3	1.1	1.0	1.0	1.2	1.5	1.4	1.5	1.8	140	61,481
2002	1.8	1.7	1.9	1.9	1.3	1.2	1.4	1.3	1.6	1.5	1.7	1.6	149	61,668
2004	1.7	1.4	1.5	1.9	1.2	1.1	1.2	1.2	1.4	1.2	1.3	1.6	147	64,314
2006	1.4	1.3	1.4	1.6	0.9	0.8	0.8	1.1	1.2	1.1	1.1	1.3	138	55,387
2008	1.3	1.0	1.2	1.7	0.8	0.7	0.6	1.0	1.0	0.8	0.9	1.4	133	51,515
2010	1.1	0.9	1.1	1.2	0.7	0.6	0.8	0.8	0.9	0.7	1.0	1.0	121	46,570
2012	1.0	0.9	0.9	1.2	0.6	0.4	0.5	0.7	0.8	0.7	0.7	1.0	124	53,462
2014	1.3	1.3	1.4	1.3	0.6	0.5	0.6	0.6	1.0	0.9	1.0	1.0	129	54,451
2016	0.7	0.5	0.6	1.0	0.3	0.4	0.2	0.3	0.5	0.4	0.4	0.7	126	52,185
2018	0.7	0.5	0.8	0.8	0.4	0.3	0.5	0.3	0.6	0.4	0.7	0.6	183	70,410

\*「全体」とは、男性、女性、性別不明の対象者全体を指す。生涯経験率は無回答・無効回答を除いて計算した。

図3. いずれかの薬物乱用の生涯経験率の推移  
(全体、男女、1996-2018年)

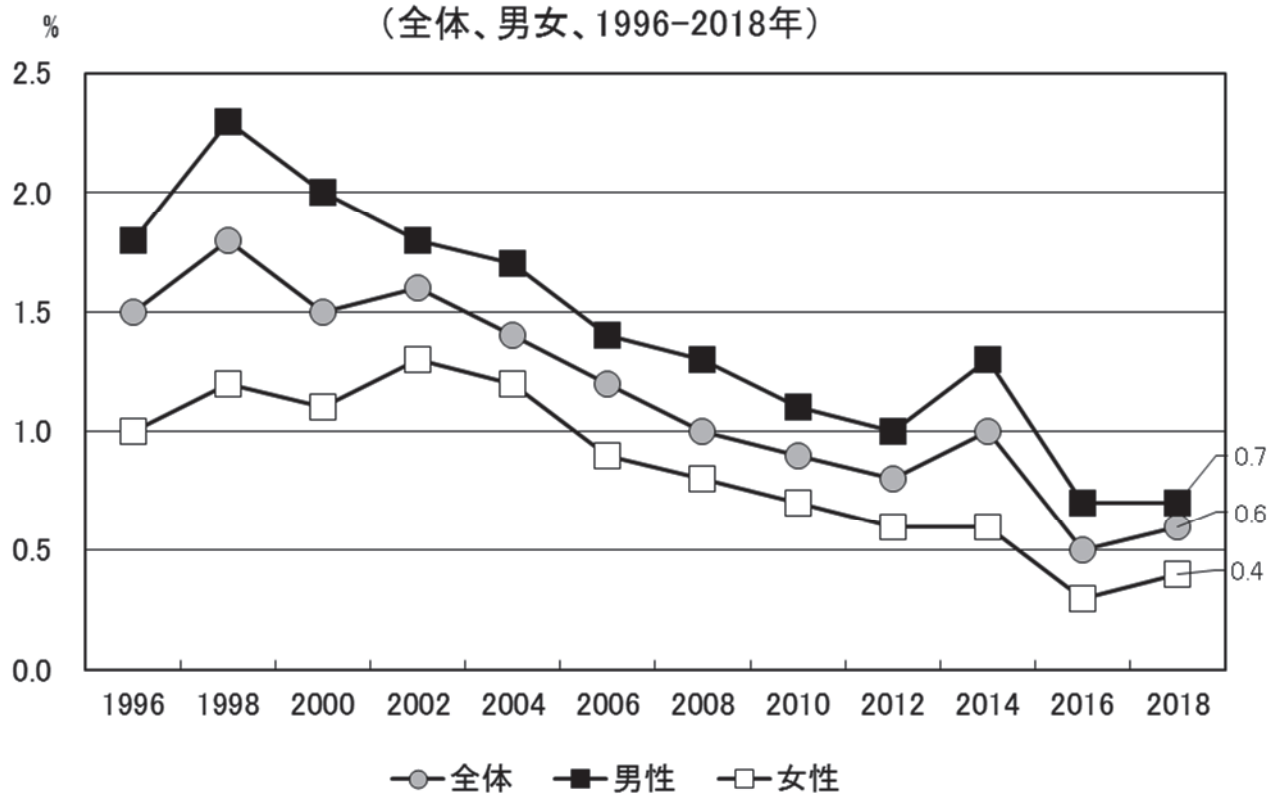


表4. 大麻または覚せい剤乱用の生涯経験率の推移(1996-2018年)

(%)

調査年	男性	1年生	2年生	3年生	女性	1年生	2年生	3年生	全体	1年生	2年生	3年生	校数	回答生徒数
1996	0.8	0.5	0.8	1.0	0.4	0.4	0.4	0.4	0.7	0.5	0.7	0.8	108	54,116
1998	1.0	0.9	1.0	1.2	0.5	0.5	0.5	0.6	0.8	0.7	0.8	0.9	148	71,245
2000	0.8	0.6	0.7	0.9	0.4	0.3	0.4	0.4	0.6	0.5	0.6	0.6	140	61,481
2002	0.8	0.6	0.9	0.8	0.5	0.4	0.6	0.6	0.7	0.5	0.8	0.7	149	61,668
2004	0.7	0.5	0.8	0.8	0.5	0.4	0.5	0.6	0.6	0.5	0.6	0.7	147	64,610
2006	0.7	0.6	0.7	0.8	0.4	0.3	0.3	0.6	0.6	0.5	0.5	0.7	138	55,627
2008	0.5	0.4	0.5	0.7	0.3	0.2	0.2	0.5	0.4	0.3	0.4	0.6	133	51,751
2010	0.6	0.4	0.6	0.7	0.3	0.2	0.3	0.4	0.4	0.3	0.5	0.5	121	46,760
2012	0.4	0.3	0.3	0.5	0.2	0.2	0.2	0.4	0.3	0.3	0.2	0.4	124	53,824
2014	0.4	0.3	0.4	0.4	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	0.3	129	54,943
2016	0.5	0.3	0.4	0.7	0.2	0.1	0.1	0.2	0.3	0.2	0.3	0.4	126	52,193
2018	0.5	0.4	0.5	0.6	0.3	0.1	0.4	0.2	0.4	0.3	0.5	0.4	128	70,433

\*「全体」とは、男性、女性、性別不明の対象者全体を指す。生涯経験率は無回答・無効回答を除いて計算した。

図4. 大麻または覚せい剤乱用の生涯経験率の推移  
(全体、男女、1996-2018年)

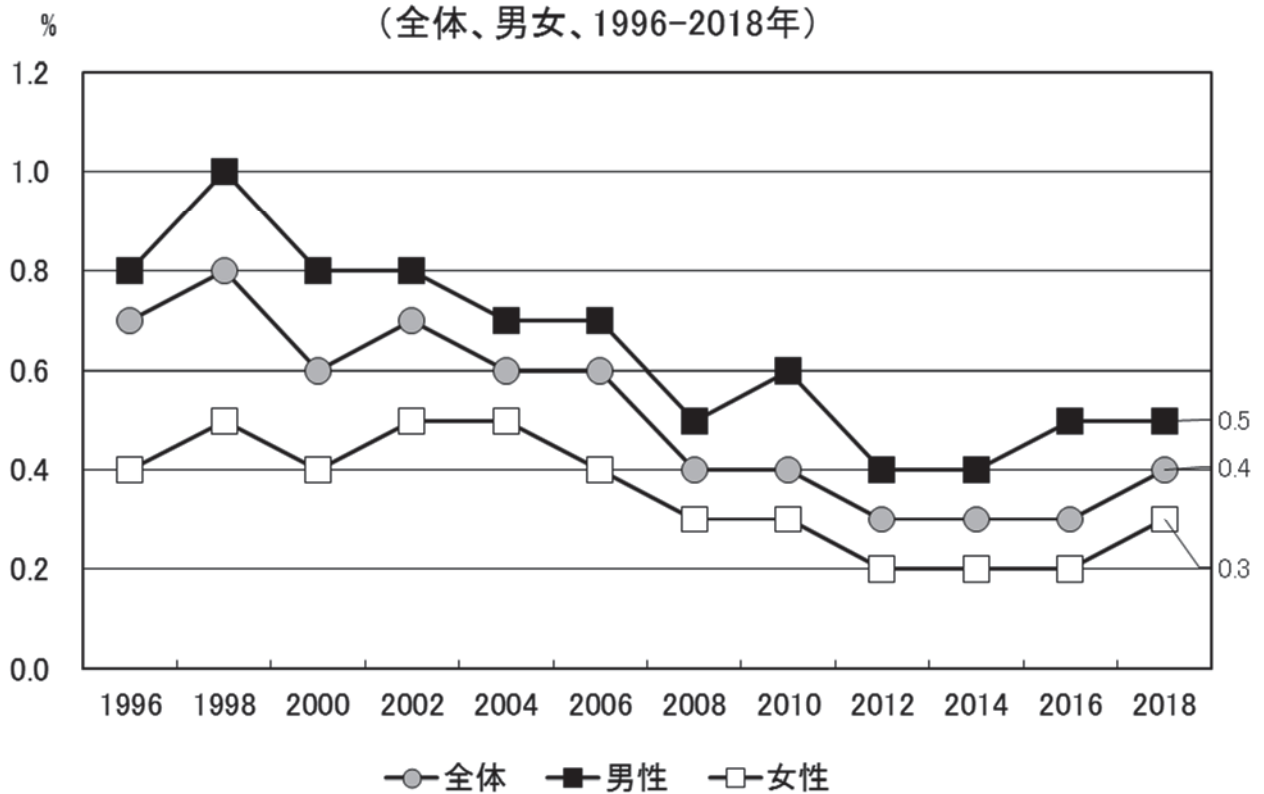




表5. 有機溶剤乱用の生涯経験率の推移(1996-2018年)

(%)

調査年	男性	1年生	2年生	3年生	女性	1年生	2年生	3年生	全体	1年生	2年生	3年生	校数	回答生徒数
1996	1.4	1.2	1.3	1.7	0.7	0.7	0.6	0.9	1.1	0.9	1.0	1.3	108	53,440
1998	1.7	1.2	1.6	2.3	0.9	0.9	0.8	1.1	1.3	1.1	1.2	1.7	148	71,299
2000	1.6	1.4	1.6	1.9	0.9	0.8	0.8	1.1	1.3	1.1	1.2	1.5	140	61,675
2002	1.4	1.3	1.4	1.5	1.0	1.0	1.1	1.0	1.2	1.2	1.3	1.3	149	62,413
2004	1.3	1.2	1.1	1.6	1.0	0.9	1.0	1.0	1.1	1.1	1.1	1.3	147	65,110
2006	1.0	1.0	1.0	1.1	0.7	0.6	0.7	0.8	0.9	0.8	0.8	1.0	138	56,421
2008	0.9	0.7	0.9	1.1	0.6	0.5	0.5	0.9	0.8	0.6	0.7	1.0	133	52,163
2010	0.8	0.7	0.7	0.9	0.6	0.5	0.6	0.7	0.7	0.6	0.7	0.8	121	47,475
2012	0.6	0.6	0.6	0.8	0.4	0.3	0.4	0.5	0.5	0.4	0.5	0.6	124	54,174
2014	1.0	1.0	1.0	1.0	0.4	0.4	0.5	0.5	0.7	0.7	0.7	0.8	129	55,270
2016	0.6	0.5	0.5	0.9	0.3	0.3	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.6	126	52,300
2018	0.6	0.5	0.5	0.7	0.3	0.3	0.4	0.3	0.5	0.4	0.6	0.5	183	70,585

\*「全体」とは、男性、女性、性別不明の対象者全体を指す。生涯経験率は無回答・無効回答を除いて計算した。

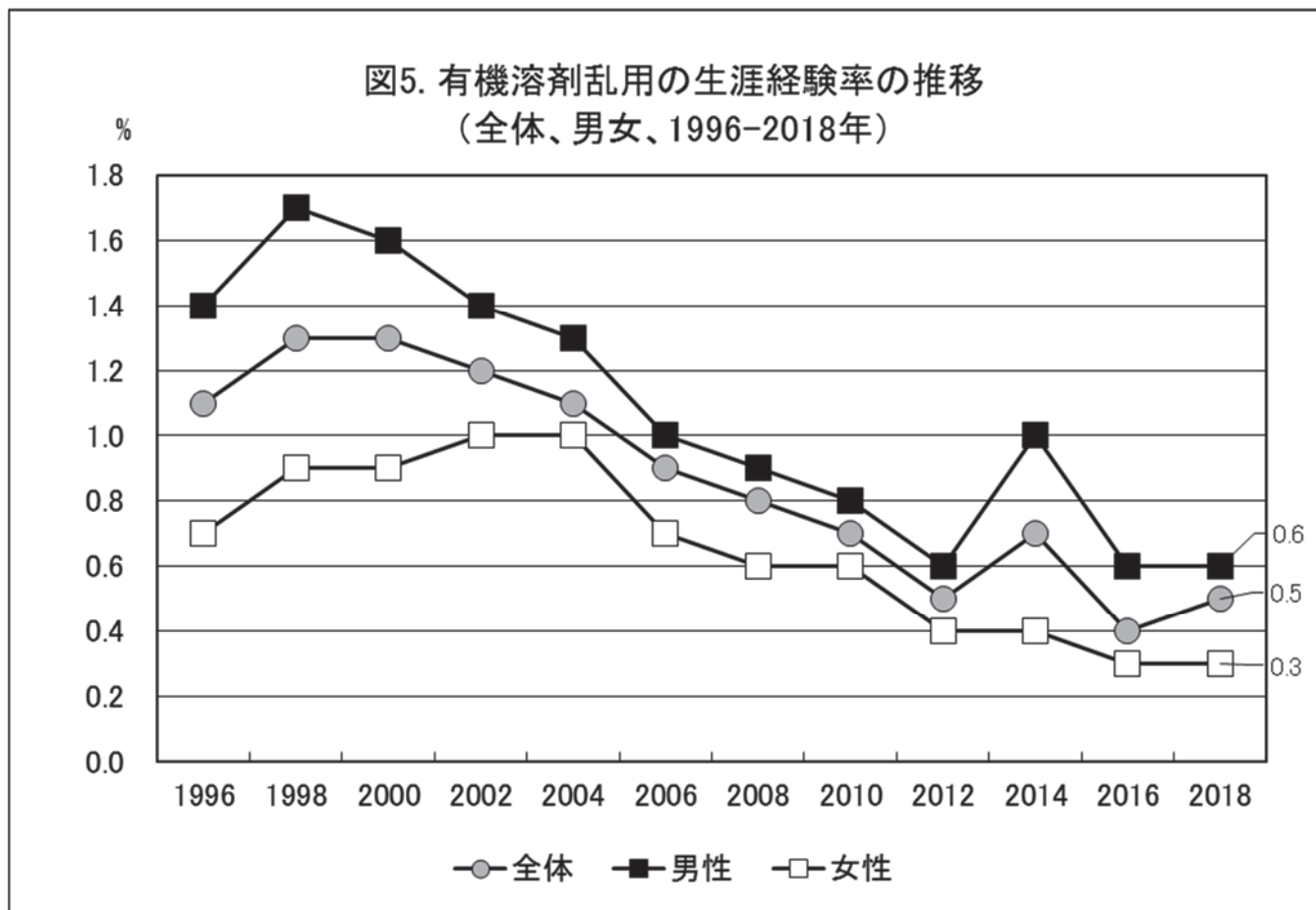


表6. 大麻乱用の生涯経験率の推移(1996-2018年)

(%)

調査年	男性	1年生	2年生	3年生	女性	1年生	2年生	3年生	全体	1年生	2年生	3年生	校数	回答生徒数
1996	0.7	0.4	0.8	0.9	0.3	0.3	0.3	0.3	0.6	0.4	0.5	0.6	108	53,271
1998	0.9	0.8	0.8	1.0	0.5	0.5	0.4	0.5	0.7	0.6	0.6	0.8	148	70,846
2000	0.6	0.4	0.6	0.7	0.3	0.2	0.4	0.3	0.4	0.3	0.5	0.5	140	61,477
2002	0.6	0.4	0.8	0.7	0.4	0.3	0.6	0.4	0.5	0.4	0.7	0.5	149	62,255
2004	0.6	0.4	0.7	0.7	0.4	0.3	0.4	0.5	0.5	0.4	0.5	0.6	147	64,875
2006	0.5	0.4	0.5	0.6	0.4	0.3	0.3	0.5	0.4	0.3	0.4	0.5	138	55,895
2008	0.4	0.3	0.4	0.6	0.2	0.1	0.2	0.4	0.3	0.2	0.3	0.5	133	51,979
2010	0.5	0.3	0.5	0.6	0.2	0.1	0.2	0.3	0.3	0.2	0.4	0.4	121	47,475
2012	0.3	0.3	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.4	124	54,073
2014	0.3	0.2	0.3	0.3	0.1	0.0	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	129	55,217
2016	0.4	0.3	0.4	0.6	0.2	0.1	0.1	0.2	0.3	0.2	0.2	0.4	126	52,215
2018	0.5	0.4	0.5	0.5	0.2	0.1	0.4	0.2	0.3	0.3	0.4	0.3	183	70,463

\*「全体」とは、男性、女性、性別不明の対象者全体を指す。生涯経験率は無回答・無効回答を除いて計算した。

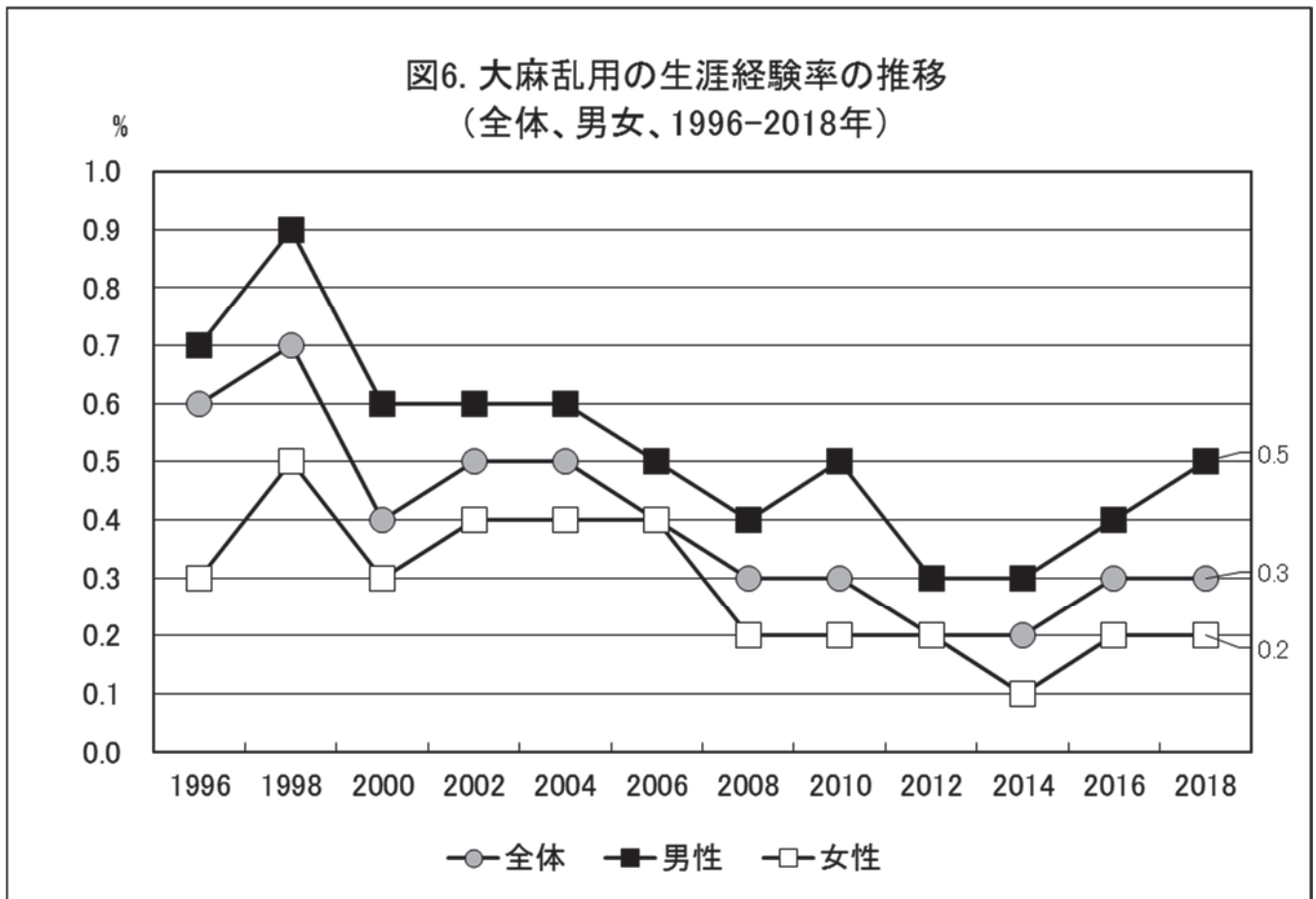


表7. 覚せい剤乱用の生涯経験率の推移(1996-2018年)

(%)

調査年	男性	1年生	2年生	3年生	女性	1年生	2年生	3年生	全体	1年生	2年生	3年生	校数	回答生徒数
1996	0.4	0.3	0.4	0.5	0.3	0.3	0.2	0.3	0.4	0.3	0.3	0.4	108	53,197
1998	0.7	0.5	0.7	0.8	0.3	0.2	0.3	0.4	0.5	0.4	0.5	0.6	148	70,819
2000	0.5	0.5	0.5	0.6	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.3	0.4	0.4	140	61,457
2002	0.5	0.4	0.6	0.5	0.4	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.5	0.5	149	62,181
2004	0.5	0.4	0.6	0.7	0.4	0.3	0.4	0.4	0.5	0.3	0.5	0.6	147	64,886
2006	0.5	0.4	0.6	0.6	0.3	0.2	0.2	0.5	0.4	0.3	0.4	0.5	138	55,841
2008	0.4	0.3	0.4	0.5	0.2	0.1	0.2	0.4	0.3	0.2	0.3	0.4	133	51,972
2010	0.4	0.2	0.4	0.5	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.4	0.4	121	47,475
2012	0.3	0.2	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3	124	53,908
2014	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	129	55,047
2016	0.4	0.3	0.3	0.6	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.2	0.2	0.4	126	52,270
2018	0.4	0.3	0.4	0.4	0.2	0.1	0.3	0.2	0.3	0.2	0.4	0.3	183	70,547

\*「全体」とは、男性、女性、性別不明の対象者全体を指す。生涯経験率は無回答・無効回答を除いて計算した。

図7. 覚せい剤乱用の生涯経験率の推移  
(全体、男女、1996-2018年)

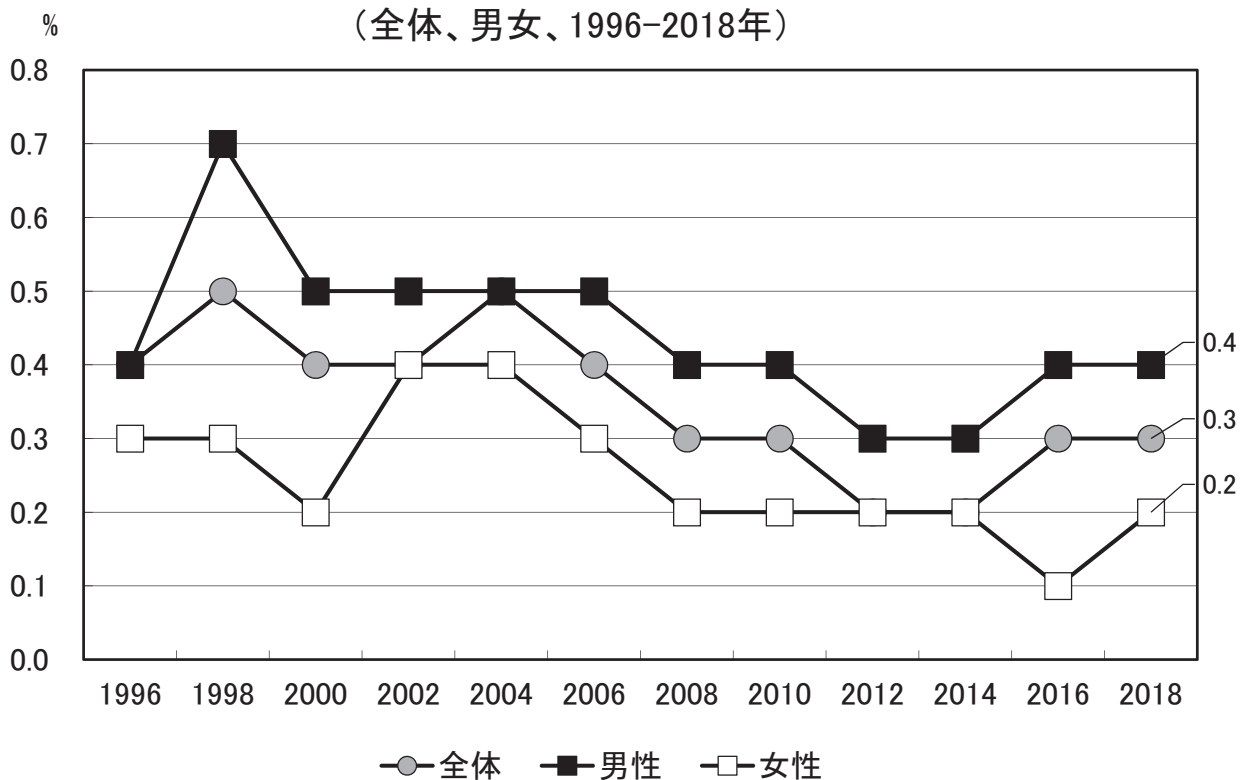


表8. 危険ドラッグ乱用の生涯経験率の推移(2012-2018年)

(%)

調査年	男性	1年生	2年生	3年生	女性	1年生	2年生	3年生	全体	1年生	2年生	3年生	校数	回答生徒数
2012	0.3	0.2	0.2	0.5	0.2	0.1	0.1	0.3	0.2	0.1	0.2	0.4	124	54,034
2014	0.3	0.2	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	129	55,177
2016	0.4	0.2	0.3	0.5	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	126	52,201
2018	0.4	0.4	0.4	0.4	0.2	0.1	0.3	0.2	0.3	0.2	0.4	0.3	183	70,431

※「全体」とは、男性、女性、性別不明の対象者全体をさす。生涯経験率は無回答・無効回答を除いて計算した。

図8. 危険ドラッグ乱用の生涯経験率の推移  
(全体、男女、2012-2018年)

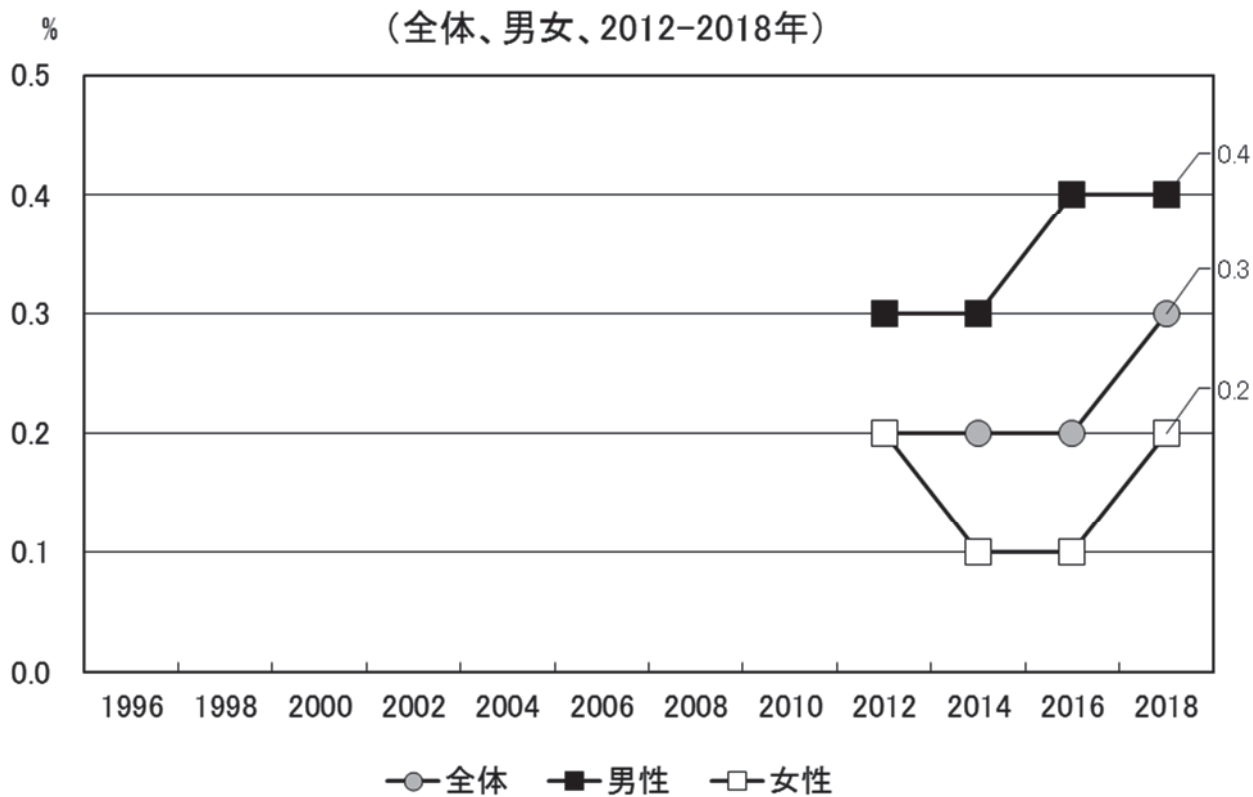




表9. 喫煙の生涯経験率の推移(1996-2018年)

(%)

調査年	男性	1年生	2年生	3年生	女性	1年生	2年生	3年生	全体	1年生	2年生	3年生	校数	回答生徒数
1996	29.6	23.6	30.1	34.9	16.9	12.7	17.9	19.9	23.3	18.2	24.1	27.6	108	53,528
1998	31.0	22.0	31.0	39.4	17.5	12.9	18.0	21.4	24.4	17.5	24.7	30.6	148	71,117
2000	27.2	19.4	27.2	34.2	16.5	11.7	15.9	21.6	21.9	15.6	21.7	27.9	140	61,535
2002	20.2	14.6	19.5	26.2	13.7	10.3	13.9	16.7	17.0	12.5	16.8	21.6	149	62,270
2004	14.9	10.0	14.6	20.0	11.2	7.4	11.5	14.3	13.1	8.8	13.1	17.2	147	64,956
2006	11.6	7.3	11.3	16.3	8.4	5.2	8.4	11.5	10.1	6.3	9.8	13.9	138	55,988
2008	9.8	6.7	9.6	13.0	6.9	4.1	7.4	9.3	8.4	5.4	8.5	11.2	133	52,128
2010	8.4	5.7	8.1	11.2	5.5	3.1	5.7	7.7	6.9	4.4	6.9	9.4	121	47,119
2012	6.5	3.6	6.2	9.8	3.5	2.0	3.3	5.2	5.1	2.8	4.8	7.5	124	54,257
2014	4.9	3.6	5.1	5.9	2.4	1.9	2.1	3.1	3.7	2.8	3.7	4.6	129	55,185
2016	2.7	1.7	2.6	3.9	1.5	1.2	1.5	1.9	2.1	1.4	2.0	2.9	126	52,201
2018	2.8	1.9	2.9	3.6	1.5	1.0	1.7	1.9	2.2	1.5	2.3	2.8	183	70,447

\*「全体」とは、男性、女性、性別不明の対象者全体を指す。生涯経験率は無回答・無効回答を除いて計算した。

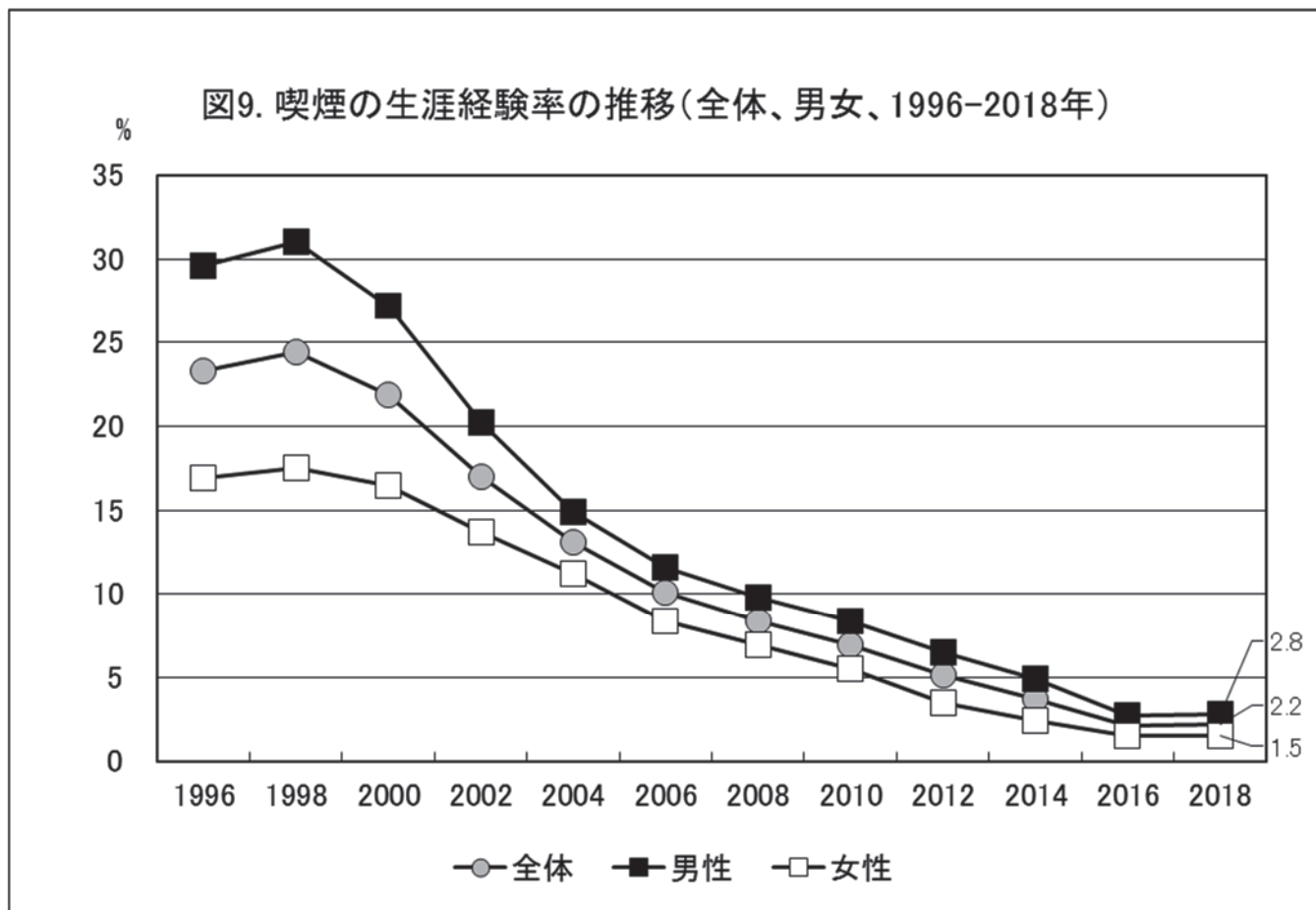


表10. 飲酒の生涯経験率の推移(1996-2018年)

(%)

調査年	男性	1年生	2年生	3年生	女性	1年生	2年生	3年生	全体	1年生	2年生	3年生	校数	回答生徒数
1996	74.2	70.5	73.7	78.3	66.3	60.6	66.8	71.4	70.3	65.6	70.4	74.9	108	53,724
1998	74.9	68.6	75.4	80.3	67.7	61.9	68.5	72.5	71.4	65.3	72.0	76.5	148	71,796
2000	72.9	67.1	72.8	78.2	66.3	59.2	66.1	72.9	69.6	63.2	69.5	75.6	140	61,828
2002	64.4	57.7	65.9	69.5	61.1	53.8	62.2	66.9	62.8	55.9	64.1	68.2	149	62,450
2004	58.3	51.6	58.3	65.0	56.6	49.1	57.6	62.8	57.5	50.4	57.9	63.9	147	65,284
2006	51.3	45.1	51.6	57.4	50.1	42.0	50.6	57.3	50.7	43.6	51.1	57.3	138	56,168
2008	45.7	40.4	45.6	51.0	44.0	35.6	45.7	50.7	44.9	38.0	45.7	50.9	133	52,297
2010	41.4	37.2	41.5	45.4	38.9	32.3	39.3	44.9	40.2	34.8	40.4	45.2	121	47,267
2012	36.5	31.0	35.9	42.6	32.6	26.4	33.1	38.0	34.6	28.8	34.5	40.3	124	54,282
2014	31.5	27.4	31.8	35.0	26.8	23.1	26.5	30.6	29.3	25.4	29.4	32.9	129	55,469
2016	28.6	25.6	27.4	32.8	24.8	21.1	24.5	28.6	26.7	23.3	25.9	30.7	126	52,227
2018	23.6	20.2	23.7	26.7	18.8	15.7	18.6	21.8	21.3	18.1	21.2	24.3	183	70,548

\*「全体」とは、男性、女性、性別不明の対象者全体を指す。生涯経験率は無回答・無効回答を除いて計算した。

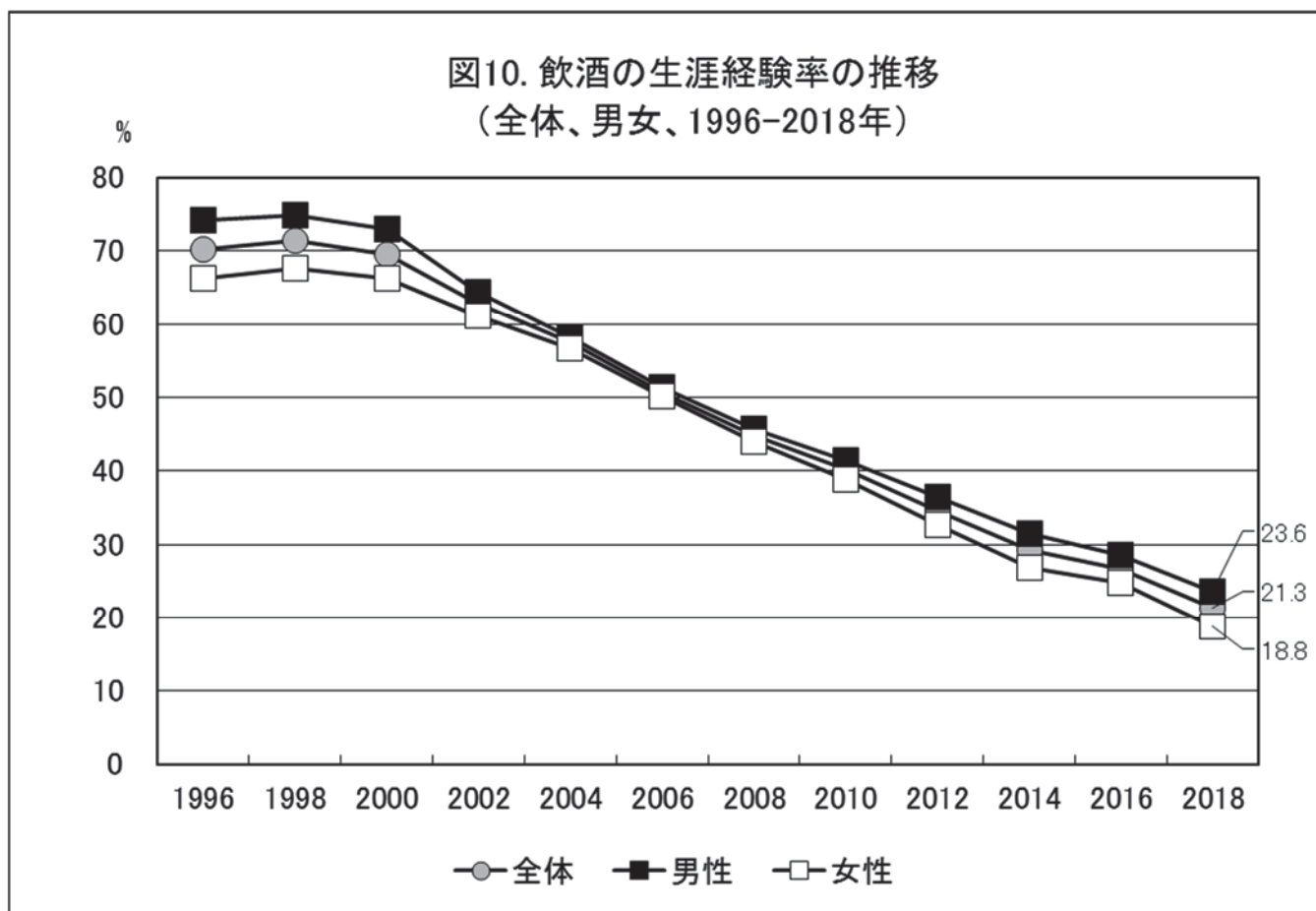


表11. 薬物乱用に誘われた経験の推移(1996-2018年) (%)

調査年	有機溶剤	大麻	覚せい剤	危険ドラッグ
1996	1.7	-	-	-
1998	1.7	-	-	-
2000	1.8	-	-	-
2002	1.6	-	-	-
2004	1.5	-	-	-
2006	1.2	-	-	-
2008	1.0	-	-	-
2010	0.9	-	-	-
2012	0.8	-	-	0.7
2014	0.8	-	-	0.6
2016	0.4	0.3	0.3	0.3
2018	0.3	0.3	0.3	0.3

※薬物乱用に誘われた経験は、無回答・無効回答を除いて計算した。

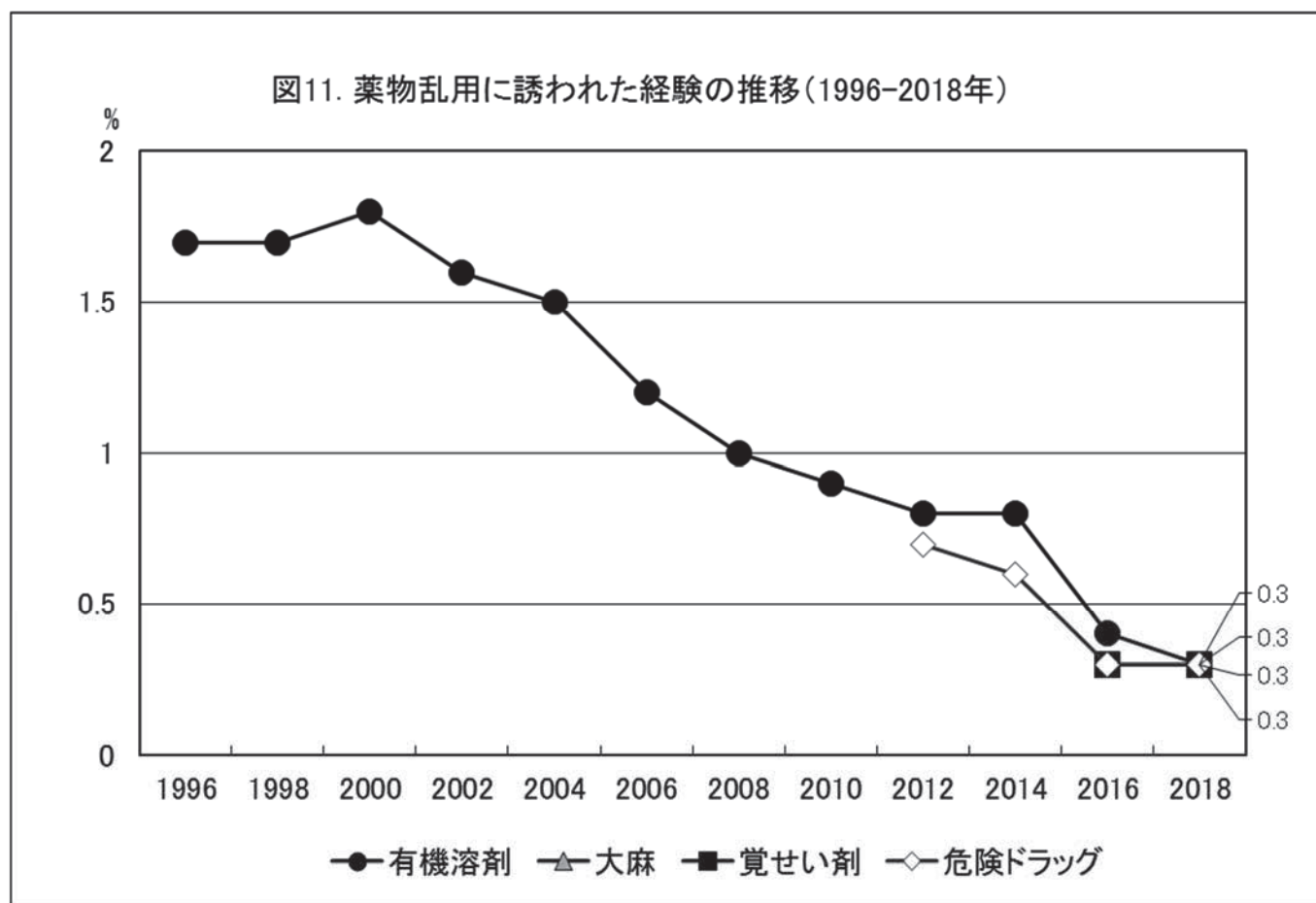


表12. 身近な薬物乱用者の推移(1996-2018年) (%)

調査年	有機溶剤	大麻	覚せい剤	危険ドラッグ
1996	5.2	-	-	-
1998	5.4	-	-	-
2000	4.9	-	-	-
2002	3.7	-	-	-
2004	3.3	-	-	-
2006	2.3	-	-	-
2008	1.9	-	-	-
2010	1.5	-	-	-
2012	1.2	-	-	1.2
2014	1.1	-	-	1.0
2016	0.9	0.7	0.7	0.6
2018	0.9	0.7	0.7	0.7

※身近な薬物乱用者は、無回答・無効回答を除いて計算した。

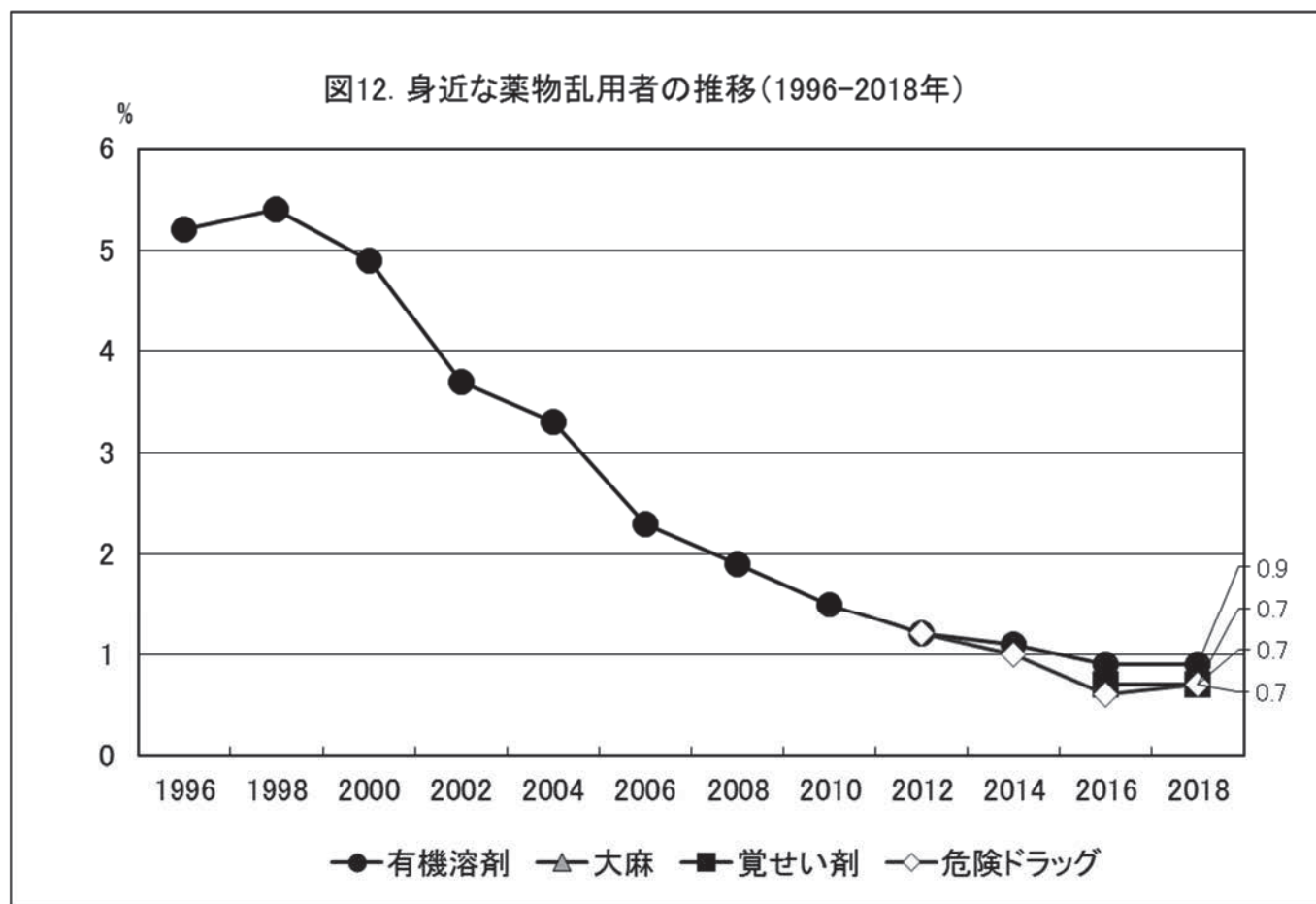


表13. 薬物の入手可能性の推移(1998-2018年) (%)

調査年	有機溶剤	大麻	覚せい剤	危険ドラッグ
1998	38.1	22.2	23.4	-
2000	38.4	23.9	24.9	-
2002	37.4	25.7	26.4	-
2004	24.4	18.0	18.3	-
2006	20.7	14.5	15.0	-
2008	21.1	15.9	15.8	-
2010	18.7	14.7	14.6	-
2012	-	12.5	12.4	15.6
2014	-	14.5	14.5	17.8
2016	12.2	8.8	9.2	9.4
2018	11.0	8.4	8.5	8.3

※「簡単に手に入る」「なんとか手に入る」と回答した者の全体

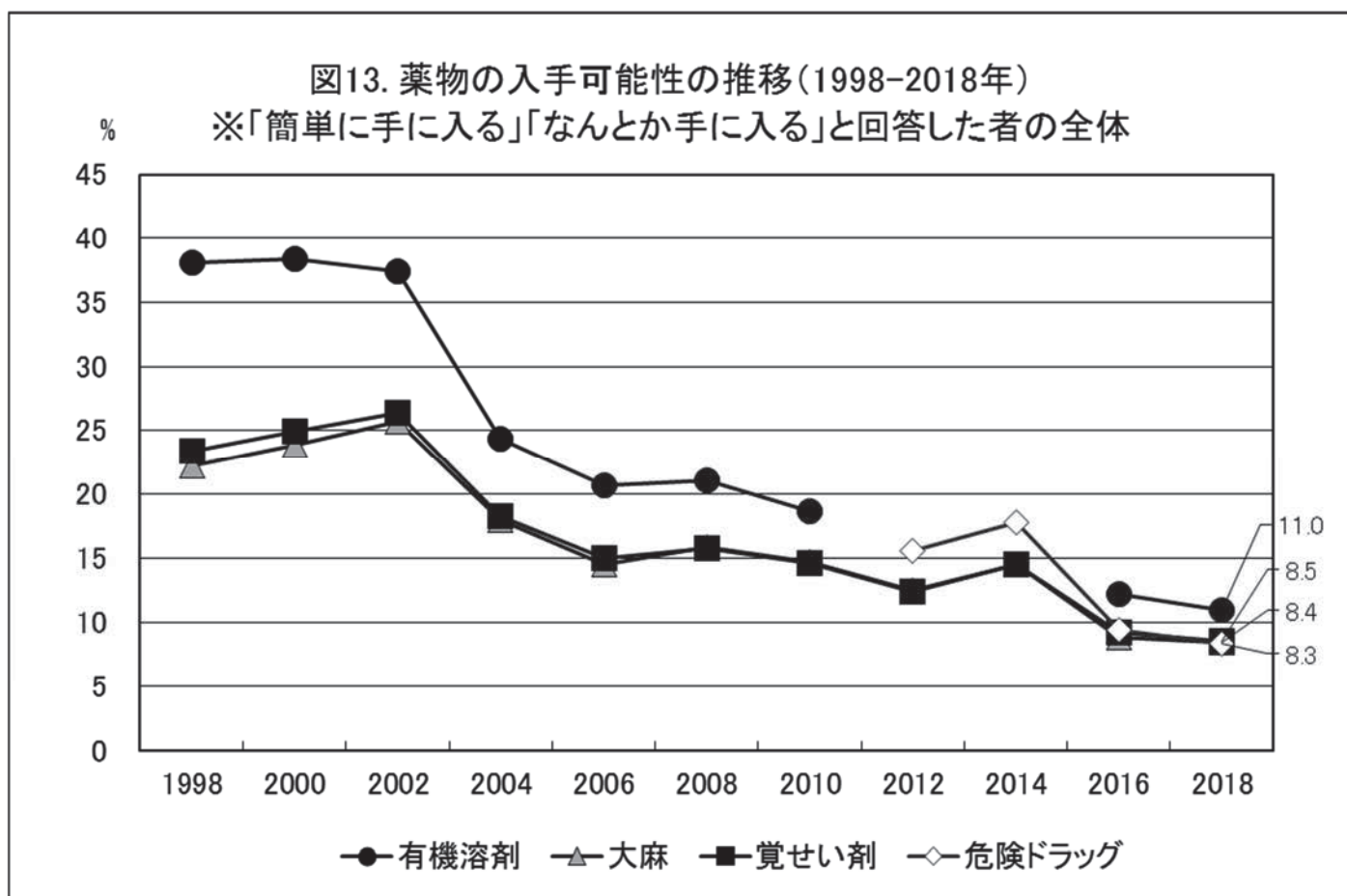




表14. 性別にみた基本属性・生活属性

	性別								p-value
	全体		男性		女性		無回答・無効回答		
	n=71,351		n=36,860		n=34,331		n=160		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
学年									0.056
1年生	22,647	(31.7)	11,711	(31.8)	10,886	(31.7)	50	(31.3)	
2年生	24,199	(33.9)	12,619	(34.2)	11,509	(33.5)	71	(44.4)	
3年生	24,505	(34.3)	12,530	(34.0)	11,936	(34.8)	39	(24.4)	
起床時間について									<0.001
ほぼ一定している	58,834	(82.5)	30,025	(81.5)	28,704	(83.6)	105	(65.6)	
一定していない	12,406	(17.4)	6,778	(18.4)	5,580	(16.3)	48	(30.0)	
無回答・無効回答	111	(.2)	57	(.2)	47	(.1)	7	(4.4)	
就寝時間について									<0.001
ほぼ一定している	42,157	(59.1)	22,139	(60.1)	19,947	(58.1)	71	(44.4)	
一定していない	29,052	(40.7)	14,645	(39.7)	14,324	(41.7)	83	(51.9)	
無回答・無効回答	142	(.2)	76	(.2)	60	(.2)	6	(3.8)	
朝食の摂食頻度									<0.001
ほとんど毎日食べている	62,788	(88.0)	32,313	(87.7)	30,351	(88.4)	124	(77.5)	
時々食べる	5,619	(7.9)	2,886	(7.8)	2,717	(7.9)	16	(10.0)	
ほとんど食べない	2,826	(4.0)	1,595	(4.3)	1,216	(3.5)	15	(9.4)	
無回答・無効回答	118	(.2)	66	(.2)	47	(.1)	5	(3.1)	
学校生活について									<0.001
とても楽しい	34,194	(47.9)	17,946	(48.7)	16,200	(47.2)	48	(30.0)	
どちらかといえば楽しい	29,443	(41.3)	15,137	(41.1)	14,242	(41.5)	64	(40.0)	
あまり楽しくない	5,909	(8.3)	2,778	(7.5)	3,104	(9.0)	27	(16.9)	
まったく楽しくない	1,576	(2.2)	885	(2.4)	679	(2.0)	12	(7.5)	
無回答・無効回答	229	(.3)	114	(.3)	106	(.3)	9	(5.6)	
クラブ活動(部活)への参加									<0.001
積極的に参加している	43,198	(60.5)	22,261	(60.4)	20,846	(60.7)	91	(56.9)	
消極的に参加している	6,099	(8.5)	3,516	(9.5)	2,553	(7.4)	30	(18.8)	
参加していない	4,767	(6.7)	2,680	(7.3)	2,076	(6.0)	11	(6.9)	
かつて参加していたが引退した	16,954	(23.8)	8,231	(22.3)	8,703	(25.4)	20	(12.5)	
無回答・無効回答	333	(.5)	172	(.5)	153	(.4)	8	(5.0)	
親しく遊べる友人									<0.001
いる	68,929	(96.6)	35,507	(96.3)	33,288	(97.0)	134	(83.8)	
いない	2,166	(3.0)	1,237	(3.4)	913	(2.7)	16	(10.0)	
無回答・無効回答	256	(.4)	116	(.3)	130	(.4)	10	(6.3)	
相談事のできる友人									<0.001
いる	64,290	(90.1)	32,731	(88.8)	31,443	(91.6)	116	(72.5)	
いない	6,603	(9.3)	3,908	(10.6)	2,666	(7.8)	29	(18.1)	
無回答・無効回答	458	(.6)	221	(.6)	222	(.6)	15	(9.4)	
家族全員での夕食頻度(週あたり)									<0.001
ほとんど毎日	31,910	(44.7)	16,909	(45.9)	14,945	(43.5)	56	(35.0)	
週5~6回	7,646	(10.7)	3,959	(10.7)	3,665	(10.7)	22	(13.8)	
週4回	7,542	(10.6)	3,884	(10.5)	3,635	(10.6)	23	(14.4)	
週3回	5,854	(8.2)	2,997	(8.1)	2,845	(8.3)	12	(7.5)	
週2回	9,953	(13.9)	4,876	(13.2)	5,063	(14.7)	14	(8.8)	
ほとんど食べない	8,165	(11.4)	4,084	(11.1)	4,054	(11.8)	27	(16.9)	
無回答・無効回答	281	(.4)	151	(.4)	124	(.4)	6	(3.8)	
大人不在の状態過ごす時間(1日あたり)									<0.001
なし、あるいは、ほとんどなし	19,615	(27.5)	9,391	(25.5)	10,192	(29.7)	32	(20.0)	
1時間未満	15,938	(22.3)	8,809	(23.9)	7,105	(20.7)	24	(15.0)	
1~2時間未満	16,789	(23.5)	8,966	(24.3)	7,782	(22.7)	41	(25.6)	
2~3時間未満	9,413	(13.2)	4,729	(12.8)	4,661	(13.6)	23	(14.4)	
3時間以上	9,042	(12.7)	4,651	(12.6)	4,359	(12.7)	32	(20.0)	
無回答・無効回答	554	(.8)	314	(.9)	232	(.7)	8	(5.0)	
悩み事の親への相談									<0.001
よく相談する	14,385	(20.2)	5,649	(15.3)	8,715	(25.4)	21	(13.1)	
どちらかと言えば相談する	23,127	(32.4)	11,308	(30.7)	11,779	(34.3)	40	(25.0)	
どちらかと言えば相談しない	16,372	(22.9)	9,242	(25.1)	7,099	(20.7)	31	(19.4)	
ほとんど相談しない	16,215	(22.7)	9,931	(26.9)	6,231	(18.1)	53	(33.1)	
親がいない	266	(.4)	142	(.4)	121	(.4)	3	(1.9)	
無回答・無効回答	986	(1.4)	588	(1.6)	386	(1.1)	12	(7.5)	

\*検定は、無回答・無効回答を除外して行った。

表15. 学年別にみた基本属性・生活属性

	学年						p-value
	1年生		2年生		3年生		
	n=22,647		n=24,199		n=24,505		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
性別							0.056
男性	11,711	(51.7)	12,619	(52.1)	12,530	(51.1)	
女性	10,886	(48.1)	11,509	(47.6)	11,936	(48.7)	
無回答・無効回答	50	(.2)	71	(.3)	39	(.2)	
起床時間について							<0.001
ほぼ一定している	18,987	(83.8)	19,828	(81.9)	20,019	(81.7)	
一定していない	3,627	(16.0)	4,321	(17.9)	4,458	(18.2)	
無回答・無効回答	33	(.1)	50	(.2)	28	(.1)	
就寝時間について							<0.001
ほぼ一定している	14,222	(62.8)	14,223	(58.8)	13,712	(56.0)	
一定していない	8,379	(37.0)	9,928	(41.0)	10,745	(43.8)	
無回答・無効回答	46	(.2)	48	(.2)	48	(.2)	
朝食の摂食頻度							<0.001
ほとんど毎日食べている	20,246	(89.4)	21,369	(88.3)	21,173	(86.4)	
時々食べる	1,665	(7.4)	1,817	(7.5)	2,137	(8.7)	
ほとんど食べない	703	(3.1)	969	(4.0)	1,154	(4.7)	
無回答・無効回答	33	(.1)	44	(.2)	41	(.2)	
学校生活について							<0.001
とても楽しい	11,523	(50.9)	10,910	(45.1)	11,761	(48.0)	
どちらかといえば楽しい	8,976	(39.6)	10,424	(43.1)	10,043	(41.0)	
あまり楽しくない	1,681	(7.4)	2,197	(9.1)	2,031	(8.3)	
まったく楽しくない	393	(1.7)	586	(2.4)	597	(2.4)	
無回答・無効回答	74	(.3)	82	(.3)	73	(.3)	
クラブ活動(部活)への参加							<0.001
積極的に参加している	18,673	(82.5)	18,924	(78.2)	5,601	(22.9)	
消極的に参加している	2,343	(10.3)	2,868	(11.9)	888	(3.6)	
参加していない	1,277	(5.6)	1,563	(6.5)	1,927	(7.9)	
かつて参加していたが引退した	254	(1.1)	731	(3.0)	15,969	(65.2)	
無回答・無効回答	100	(.4)	113	(.5)	120	(.5)	
親しく遊べる友人							<0.001
いる	21,957	(97.0)	23,374	(96.6)	23,598	(96.3)	
いない	613	(2.7)	734	(3.0)	819	(3.3)	
無回答・無効回答	77	(.3)	91	(.4)	88	(.4)	
相談事のできる友人							0.109
いる	20,385	(90.0)	21,742	(89.8)	22,163	(90.4)	
いない	2,105	(9.3)	2,301	(9.5)	2,197	(9.0)	
無回答・無効回答	157	(.7)	156	(.6)	145	(.6)	
家族全員での夕食頻度(週あたり)							<0.001
ほとんど毎日	10,696	(47.2)	11,136	(46.0)	10,078	(41.1)	
週5~6回	2,615	(11.5)	2,577	(10.6)	2,454	(10.0)	
週4回	2,351	(10.4)	2,598	(10.7)	2,593	(10.6)	
週3回	1,739	(7.7)	2,025	(8.4)	2,090	(8.5)	
週2回	2,891	(12.8)	3,218	(13.3)	3,844	(15.7)	
ほとんど食べない	2,261	(10.0)	2,558	(10.6)	3,346	(13.7)	
無回答・無効回答	94	(.4)	87	(.4)	100	(.4)	
大人不在の状態で過ごす時間(1日あたり)							<0.001
なし、あるいは、ほとんどなし	7,003	(30.9)	6,878	(28.4)	5,734	(23.4)	
1時間未満	5,254	(23.2)	5,752	(23.8)	4,932	(20.1)	
1~2時間未満	5,033	(22.2)	5,633	(23.3)	6,123	(25.0)	
2~3時間未満	2,511	(11.1)	2,973	(12.3)	3,929	(16.0)	
3時間以上	2,628	(11.6)	2,765	(11.4)	3,649	(14.9)	
無回答・無効回答	218	(1.0)	198	(.8)	138	(.6)	
悩み事の親への相談							<0.001
よく相談する	4,950	(21.9)	4,700	(19.4)	4,735	(19.3)	
どちらかと言えば相談する	7,605	(33.6)	7,662	(31.7)	7,860	(32.1)	
どちらかと言えば相談しない	5,115	(22.6)	5,630	(23.3)	5,627	(23.0)	
ほとんど相談しない	4,594	(20.3)	5,776	(23.9)	5,845	(23.9)	
親がいない	60	(.3)	102	(.4)	104	(.4)	
無回答・無効回答	323	(1.4)	329	(1.4)	334	(1.4)	

\*検定は、無回答・無効回答を除外して行った。

表16. いずれかの薬物乱用経験別にみた基本属性・生活属性

	いずれかの薬物乱用経験						p-value
	非経験群		経験群		無回答・無効回答		
	n=70,172		n=395		n=784		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
性別							<0.001
男性	36,027	(51.3)	257	(65.1)	576	(73.5)	
女性	33,993	(48.4)	133	(33.7)	205	(26.1)	
無回答・無効回答	152	(.2)	5	(1.3)	3	(.4)	
学年							0.001
1年生	22,287	(31.8)	94	(23.8)	266	(33.9)	
2年生	23,793	(33.9)	164	(41.5)	242	(30.9)	
3年生	24,092	(34.3)	137	(34.7)	276	(35.2)	
起床時間について							<0.001
ほぼ一定している	57,961	(82.6)	263	(66.6)	610	(77.8)	
一定していない	12,110	(17.3)	129	(32.7)	167	(21.3)	
無回答・無効回答	101	(.1)	3	(.8)	7	(.9)	
就寝時間について							0.001
ほぼ一定している	41,513	(59.2)	198	(50.1)	446	(56.9)	
一定していない	28,528	(40.7)	192	(48.6)	332	(42.3)	
無回答・無効回答	131	(.2)	5	(1.3)	6	(.8)	
朝食の摂食頻度							<0.001
ほとんど毎日食べている	61,845	(88.1)	286	(72.4)	657	(83.8)	
時々食べる	5,483	(7.8)	50	(12.7)	86	(11.0)	
ほとんど食べない	2,731	(3.9)	56	(14.2)	39	(5.0)	
無回答・無効回答	113	(.2)	3	(.8)	2	(.3)	
学校生活について							<0.001
とても楽しい	33,704	(48.0)	136	(34.4)	354	(45.2)	
どちらかといえば楽しい	28,973	(41.3)	155	(39.2)	315	(40.2)	
あまり楽しくない	5,792	(8.3)	42	(10.6)	75	(9.6)	
まったく楽しくない	1,485	(2.1)	58	(14.7)	33	(4.2)	
無回答・無効回答	218	(.3)	4	(1.0)	7	(.9)	
クラブ活動(部活)への参加							<0.001
積極的に参加している	42,535	(60.6)	207	(52.4)	456	(58.2)	
消極的に参加している	5,973	(8.5)	49	(12.4)	77	(9.8)	
参加していない	4,633	(6.6)	50	(12.7)	84	(10.7)	
かつて参加していたが引退した	16,707	(23.8)	86	(21.8)	161	(20.5)	
無回答・無効回答	324	(.5)	3	(.8)	6	(.8)	
親しく遊べる友人							<0.001
いる	67,850	(96.7)	334	(84.6)	745	(95.0)	
いない	2,075	(3.0)	58	(14.7)	33	(4.2)	
無回答・無効回答	247	(.4)	3	(.8)	6	(.8)	
相談事のできる友人							<0.001
いる	63,322	(90.2)	301	(76.2)	667	(85.1)	
いない	6,414	(9.1)	89	(22.5)	100	(12.8)	
無回答・無効回答	436	(.6)	5	(1.3)	17	(2.2)	
家族全員での夕食頻度(週あたり)							<0.001
ほとんど毎日	31,394	(44.7)	154	(39.0)	362	(46.2)	
週5~6回	7,538	(10.7)	34	(8.6)	74	(9.4)	
週4回	7,429	(10.6)	29	(7.3)	84	(10.7)	
週3回	5,763	(8.2)	28	(7.1)	63	(8.0)	
週2回	9,803	(14.0)	50	(12.7)	100	(12.8)	
ほとんど食べない	7,978	(11.4)	93	(23.5)	94	(12.0)	
無回答・無効回答	267	(.4)	7	(1.8)	7	(.9)	
大人不在の状態で過ごす時間(1日あたり)							<0.001
なし、あるいは、ほとんどなし	19,327	(27.5)	87	(22.0)	201	(25.6)	
1時間未満	15,683	(22.3)	89	(22.5)	166	(21.2)	
1~2時間未満	16,537	(23.6)	73	(18.5)	179	(22.8)	
2~3時間未満	9,270	(13.2)	43	(10.9)	100	(12.8)	
3時間以上	8,833	(12.6)	94	(23.8)	115	(14.7)	
無回答・無効回答	522	(.7)	9	(2.3)	23	(2.9)	
悩み事の親への相談							<0.001
よく相談する	14,187	(20.2)	60	(15.2)	138	(17.6)	
どちらかと言えば相談する	22,817	(32.5)	83	(21.0)	227	(29.0)	
どちらかと言えば相談しない	16,101	(22.9)	83	(21.0)	188	(24.0)	
ほとんど相談しない	15,893	(22.6)	125	(31.6)	197	(25.1)	
親がいない	228	(.3)	34	(8.6)	4	(.5)	
無回答・無効回答	946	(1.3)	10	(2.5)	30	(3.8)	

\*検定は、無回答・無効回答を除外して行った。

表17. 大麻の乱用経験別にみた基本属性・生活属性

	大麻の乱用経験						p-value
	非経験群		経験群		無回答・無効回答		
	n=70,371		n=249		n=731		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
性別							<0.001
男性	36,159	(51.4)	164	(65.9)	537	(73.5)	
女性	34,058	(48.4)	82	(32.9)	191	(26.1)	
無回答・無効回答	154	(.2)	3	(1.2)	3	(.4)	
学年							0.003
1年生	22,337	(31.7)	57	(22.9)	253	(34.6)	
2年生	23,870	(33.9)	106	(42.6)	223	(30.5)	
3年生	24,164	(34.3)	86	(34.5)	255	(34.9)	
起床時間について							<0.001
ほぼ一定している	58,108	(82.6)	166	(66.7)	560	(76.6)	
一定していない	12,161	(17.3)	81	(32.5)	164	(22.4)	
無回答・無効回答	102	(.1)	2	(.8)	7	(1.0)	
就寝時間について							0.002
ほぼ一定している	41,626	(59.2)	121	(48.6)	410	(56.1)	
一定していない	28,613	(40.7)	124	(49.8)	315	(43.1)	
無回答・無効回答	132	(.2)	4	(1.6)	6	(.8)	
朝食の摂食頻度							<0.001
ほとんど毎日食べている	62,005	(88.1)	176	(70.7)	607	(83.0)	
時々食べる	5,506	(7.8)	29	(11.6)	84	(11.5)	
ほとんど食べない	2,747	(3.9)	42	(16.9)	37	(5.1)	
無回答・無効回答	113	(.2)	2	(.8)	3	(.4)	
学校生活について							<0.001
とても楽しい	33,784	(48.0)	88	(35.3)	322	(44.0)	
どちらかといえば楽しい	29,049	(41.3)	94	(37.8)	300	(41.0)	
あまり楽しくない	5,813	(8.3)	24	(9.6)	72	(9.8)	
まったく楽しくない	1,505	(2.1)	40	(16.1)	31	(4.2)	
無回答・無効回答	220	(.3)	3	(1.2)	6	(.8)	
クラブ活動(部活)への参加							<0.001
積極的に参加している	42,650	(60.6)	125	(50.2)	423	(57.9)	
消極的に参加している	5,999	(8.5)	28	(11.2)	72	(9.8)	
参加していない	4,651	(6.6)	36	(14.5)	80	(10.9)	
かつて参加していたが引退した	16,745	(23.8)	59	(23.7)	150	(20.5)	
無回答・無効回答	326	(.5)	1	(.4)	6	(.8)	
親しく遊べる友人							<0.001
いる	68,027	(96.7)	207	(83.1)	695	(95.1)	
いない	2,095	(3.0)	40	(16.1)	31	(4.2)	
無回答・無効回答	249	(.4)	2	(.8)	5	(.7)	
相談事のできる友人							<0.001
いる	63,478	(90.2)	188	(75.5)	624	(85.4)	
いない	6,452	(9.2)	57	(22.9)	94	(12.9)	
無回答・無効回答	441	(.6)	4	(1.6)	13	(1.8)	
家族全員での夕食頻度(週あたり)							<0.001
ほとんど毎日	31,483	(44.7)	100	(40.2)	327	(44.7)	
週5~6回	7,552	(10.7)	20	(8.0)	74	(10.1)	
週4回	7,443	(10.6)	19	(7.6)	80	(10.9)	
週3回	5,778	(8.2)	17	(6.8)	59	(8.1)	
週2回	9,836	(14.0)	22	(8.8)	95	(13.0)	
ほとんど食べない	8,009	(11.4)	66	(26.5)	90	(12.3)	
無回答・無効回答	270	(.4)	5	(2.0)	6	(.8)	
大人不在の状態で過ごす時間(1日あたり)							<0.001
なし、あるいは、ほとんどなし	19,376	(27.5)	50	(20.1)	189	(25.9)	
1時間未満	15,723	(22.3)	58	(23.3)	157	(21.5)	
1~2時間未満	16,578	(23.6)	45	(18.1)	166	(22.7)	
2~3時間未満	9,295	(13.2)	29	(11.6)	89	(12.2)	
3時間以上	8,870	(12.6)	64	(25.7)	108	(14.8)	
無回答・無効回答	529	(.8)	3	(1.2)	22	(3.0)	
悩み事の親への相談							<0.001
よく相談する	14,220	(20.2)	38	(15.3)	127	(17.4)	
どちらかと言えば相談する	22,856	(32.5)	59	(23.7)	212	(29.0)	
どちらかと言えば相談しない	16,141	(22.9)	50	(20.1)	181	(24.8)	
ほとんど相談しない	15,966	(22.7)	68	(27.3)	181	(24.8)	
親がいない	237	(.3)	26	(10.4)	3	(.4)	
無回答・無効回答	951	(1.4)	8	(3.2)	27	(3.7)	

\*検定は、無回答・無効回答を除外して行った。

表18. 性別にみたインターネット使用状況

	性別								p-value
	全体		男性		女性		無回答・無効回答		
	n=71,351		n=36,860		n=34,331		n=160		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
インターネット使用時間(1日あたり)									<0.001
1時間未満	14,692	(20.6)	6,979	(18.9)	7,690	(22.4)	23	(14.4)	
1～2時間	20,779	(29.1)	10,743	(29.1)	9,993	(29.1)	43	(26.9)	
2～3時間	16,096	(22.6)	8,440	(22.9)	7,629	(22.2)	27	(16.9)	
3～4時間	8,788	(12.3)	4,622	(12.5)	4,140	(12.1)	26	(16.3)	
4～5時間	4,092	(5.7)	2,111	(5.7)	1,968	(5.7)	13	(8.1)	
5時間以上	5,691	(8.0)	3,140	(8.5)	2,530	(7.4)	21	(13.1)	
無回答・無効回答	1,213	(1.7)	825	(2.2)	381	(1.1)	7	(4.4)	
最も使用するインターネット機器									<0.001
携帯電話(スマートフォン)	45,101	(63.2)	20,370	(55.3)	24,648	(71.8)	83	(51.9)	
パソコン(タブレットを含む)	12,147	(17.0)	6,549	(17.8)	5,568	(16.2)	30	(18.8)	
インターネット接続できるゲーム機	7,509	(10.5)	6,274	(17.0)	1,215	(3.5)	20	(12.5)	
インターネット接続できる音楽端末	929	(1.3)	355	(1.0)	569	(1.7)	5	(3.1)	
その他の機器	692	(1.0)	419	(1.1)	269	(.8)	4	(2.5)	
遊び目的でインターネットは使わない	2,647	(3.7)	1,379	(3.7)	1,265	(3.7)	3	(1.9)	
無回答・無効回答	2,326	(3.3)	1,514	(4.1)	797	(2.3)	15	(9.4)	

\*検定は、無回答・無効回答を除外して行った。

表19. 学年別にみたインターネット使用状況

	学年						p-value
	1年生		2年生		3年生		
	n=22,647		n=24,199		n=24,505		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
インターネット使用時間(1日あたり)							<0.001
1時間未満	5,736	(25.3)	4,266	(17.6)	4,690	(19.1)	
1～2時間	6,824	(30.1)	6,899	(28.5)	7,056	(28.8)	
2～3時間	4,599	(20.3)	5,777	(23.9)	5,720	(23.3)	
3～4時間	2,373	(10.5)	3,226	(13.3)	3,189	(13.0)	
4～5時間	1,123	(5.0)	1,533	(6.3)	1,436	(5.9)	
5時間以上	1,519	(6.7)	2,114	(8.7)	2,058	(8.4)	
無回答・無効回答	473	(2.1)	384	(1.6)	356	(1.5)	
最も使用するインターネット機器							<0.001
携帯電話(スマートフォン)	12,859	(56.8)	15,625	(64.6)	16,617	(67.8)	
パソコン(タブレットを含む)	4,152	(18.3)	4,021	(16.6)	3,974	(16.2)	
インターネット接続できるゲーム機	3,173	(14.0)	2,542	(10.5)	1,794	(7.3)	
インターネット接続できる音楽端末	223	(1.0)	277	(1.1)	429	(1.8)	
その他の機器	267	(1.2)	218	(.9)	207	(.8)	
遊び目的でインターネットは使わない	1,190	(5.3)	749	(3.1)	708	(2.9)	
無回答・無効回答	783	(3.5)	767	(3.2)	776	(3.2)	

\*検定は、無回答・無効回答を除外して行った。



表20. いずれかの薬物乱用経験別にみたインターネット使用状況

	いずれかの薬物乱用経験						p-value
	非経験群		経験群		無回答・無効回答		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
インターネット使用時間(1日あたり)							<0.001
1時間未満	14,547	(20.7)	71	(18.0)	74	(9.4)	
1～2時間	20,606	(29.4)	87	(22.0)	86	(11.0)	
2～3時間	15,971	(22.8)	51	(12.9)	74	(9.4)	
3～4時間	8,691	(12.4)	46	(11.6)	51	(6.5)	
4～5時間	4,041	(5.8)	31	(7.8)	20	(2.6)	
5時間以上	5,551	(7.9)	103	(26.1)	37	(4.7)	
無回答・無効回答	765	(1.1)	6	(1.5)	442	(56.4)	
最も使用するインターネット機器							0.001
携帯電話(スマートフォン)	44,660	(63.6)	222	(56.2)	219	(27.9)	
パソコン(タブレットを含む)	12,021	(17.1)	77	(19.5)	49	(6.3)	
インターネット接続できるゲーム機	7,431	(10.6)	37	(9.4)	41	(5.2)	
インターネット接続できる音楽端末	916	(1.3)	7	(1.8)	6	(.8)	
その他の機器	679	(1.0)	7	(1.8)	6	(.8)	
遊び目的でインターネットは使わない	2,599	(3.7)	28	(7.1)	20	(2.6)	
無回答・無効回答	1,866	(2.7)	17	(4.3)	443	(56.5)	

\*検定は、無回答・無効回答を除外して行った。

表21. 大麻の乱用経験別にみたインターネット使用状況

	大麻の乱用経験						p-value
	非経験群		経験群		無回答・無効回答		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
インターネット使用時間(1日あたり)							<0.001
1時間未満	14,577	(20.7)	48	(19.3)	67	(9.2)	
1～2時間	20,656	(29.4)	54	(21.7)	69	(9.4)	
2～3時間	15,998	(22.7)	35	(14.1)	63	(8.6)	
3～4時間	8,717	(12.4)	27	(10.8)	44	(6.0)	
4～5時間	4,053	(5.8)	22	(8.8)	17	(2.3)	
5時間以上	5,601	(8.0)	59	(23.7)	31	(4.2)	
無回答・無効回答	769	(1.1)	4	(1.6)	440	(60.2)	
最も使用するインターネット機器							0.001
携帯電話(スマートフォン)	44,777	(63.6)	136	(54.6)	188	(25.7)	
パソコン(タブレットを含む)	12,052	(17.1)	52	(20.9)	43	(5.9)	
インターネット接続できるゲーム機	7,454	(10.6)	20	(8.0)	35	(4.8)	
インターネット接続できる音楽端末	921	(1.3)	3	(1.2)	5	(.7)	
その他の機器	681	(1.0)	6	(2.4)	5	(.7)	
遊び目的でインターネットは使わない	2,613	(3.7)	18	(7.2)	16	(2.2)	
無回答・無効回答	1,873	(2.7)	14	(5.6)	439	(60.1)	

\*検定は、無回答・無効回答を除外して行った。

表22. 性別にみた飲酒・喫煙状況

	性別								p-value
	全体		男性		女性		無回答・無効回答		
	n=71,351		n=36,860		n=34,331		n=160		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
生涯飲酒経験									
あり	15,069	(21.1)	8,598	(23.3)	6,413	(18.7)	58	(36.3)	<0.001
飲酒場面(複数回答)									
飲酒経験なし	55,155	(77.3)	27,466	(74.5)	27,588	(80.4)	101	(63.1)	<0.001
冠婚葬祭	8,838	(12.4)	4,953	(13.4)	3,851	(11.2)	34	(21.3)	<0.001
家族と一緒に	6,262	(8.8)	3,455	(9.4)	2,786	(8.1)	21	(13.1)	<0.001
パーティーの時に	427	(.6)	294	(.8)	133	(.4)	0	(.0)	<0.001
居酒屋などで	249	(.3)	152	(.4)	96	(.3)	1	(.6)	0.002
自分や誰かの部屋で	474	(.7)	264	(.7)	208	(.6)	2	(1.3)	0.052
一人で	1,054	(1.5)	700	(1.9)	345	(1.0)	9	(5.6)	<0.001
その他の機会に	230	(.3)	156	(.4)	73	(.2)	1	(.6)	-
無回答・無効回答	1,262	(1.8)	872	(2.4)	387	(1.1)	3	(1.9)	-
初回飲酒年齢									<0.001
飲酒経験なし	55,639	(78.0)	27,807	(75.4)	27,730	(80.8)	102	(63.8)	
10歳以下	4,834	(6.8)	2,921	(7.9)	1,887	(5.5)	26	(16.3)	
11歳	1,447	(2.0)	877	(2.4)	566	(1.6)	4	(2.5)	
12歳	1,490	(2.1)	902	(2.4)	586	(1.7)	2	(1.3)	
13歳	985	(1.4)	596	(1.6)	385	(1.1)	4	(2.5)	
14歳	661	(.9)	412	(1.1)	248	(.7)	1	(.6)	
15歳以上	179	(.3)	116	(.3)	63	(.2)	0	(.0)	
年齢は覚えていない	5,473	(7.7)	2,774	(7.5)	2,678	(7.8)	21	(13.1)	
無回答・無効回答	643	(.9)	455	(1.2)	188	(.5)	0	(.0)	
過去1年間の飲酒経験									
あり	8,052	(11.3)	4,749	(12.9)	3,267	(9.5)	36	(22.5)	<0.001
過去1年間の飲酒頻度									<0.001
1度も飲んでいない	61,713	(86.5)	31,159	(84.5)	30,436	(88.7)	118	(73.8)	
1年間で数回	7,329	(10.3)	4,292	(11.6)	3,010	(8.8)	27	(16.9)	
月に数回	514	(.7)	330	(.9)	179	(.5)	5	(3.1)	
週に数回	89	(.1)	53	(.1)	36	(.1)	0	(.0)	
ほとんど毎日	120	(.2)	74	(.2)	42	(.1)	4	(2.5)	
無回答・無効回答	1,586	(2.2)	952	(2.6)	628	(1.8)	6	(3.8)	
未成年者の飲酒が禁止されていることに対する考え									<0.001
飲むべきではないと思う	58,950	(82.6)	29,490	(80.0)	29,364	(85.5)	96	(60.0)	
時と場合に応じては構わない	10,173	(14.3)	5,817	(15.8)	4,310	(12.6)	46	(28.8)	
全然構わない	1,359	(1.9)	943	(2.6)	404	(1.2)	12	(7.5)	
無回答・無効回答	869	(1.2)	610	(1.7)	253	(.7)	6	(3.8)	
生涯喫煙経験									
あり	1,562	(2.2)	1,026	(2.8)	526	(1.5)	10	(6.3)	<0.001
初めて喫煙した年齢									<0.001
吸ったことがない	69,045	(96.8)	35,297	(95.8)	33,598	(97.9)	150	(93.8)	
10歳以下	413	(.6)	252	(.7)	156	(.5)	5	(3.1)	
11歳	125	(.2)	84	(.2)	41	(.1)	0	(.0)	
12歳	174	(.2)	128	(.3)	46	(.1)	0	(.0)	
13歳	185	(.3)	138	(.4)	47	(.1)	0	(.0)	
14歳	159	(.2)	109	(.3)	50	(.1)	0	(.0)	
15歳以上	40	(.1)	29	(.1)	11	(.0)	0	(.0)	
年齢は覚えていない	466	(.7)	286	(.8)	175	(.5)	5	(3.1)	
無回答・無効回答	744	(1.0)	537	(1.5)	207	(.6)	0	(.0)	
過去1年間の喫煙経験									
あり	726	(1.0)	498	(1.4)	224	(.7)	4	(2.5)	<0.001
過去1年間の喫煙頻度									<0.001
1度も吸っていない	70,007	(98.1)	35,911	(97.4)	33,940	(98.9)	156	(97.5)	
1年間で数回	454	(.6)	309	(.8)	144	(.4)	1	(.6)	
月に数回	90	(.1)	66	(.2)	24	(.1)	0	(.0)	
週に数回	67	(.1)	47	(.1)	20	(.1)	0	(.0)	
ほとんど毎日	115	(.2)	76	(.2)	36	(.1)	3	(1.9)	
無回答・無効回答	618	(.9)	451	(1.2)	167	(.5)	0	(.0)	
未成年者の喫煙が禁止されていることに対する考え									<0.001
吸うべきでないと思う	68,243	(95.6)	34,837	(94.5)	33,263	(96.9)	143	(89.4)	
少々なら構わない	1,516	(2.1)	898	(2.4)	610	(1.8)	8	(5.0)	
全然構わない	873	(1.2)	621	(1.7)	244	(.7)	8	(5.0)	
無回答・無効回答	719	(1.0)	504	(1.4)	214	(.6)	1	(.6)	

\*検定は、無回答・無効回答を除外して行った。

表23. 学年別にみた飲酒・喫煙状況

	学年						p-value
	1年生		2年生		3年生		
	n=22,647		n=24,199		n=24,505		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
生涯飲酒経験							
あり	4,056	(17.9)	5,107	(21.1)	5,906	(24.1)	<0.001
飲酒場面(複数回答)							
飲酒経験なし	18,201	(80.4)	18,709	(77.3)	18,245	(74.5)	<0.001
冠婚葬祭	2,398	(10.6)	3,005	(12.4)	3,435	(14.0)	<0.001
家族と一緒に	1,546	(6.8)	2,122	(8.8)	2,594	(10.6)	<0.001
パーティーの時に	110	(.5)	133	(.5)	184	(.8)	<0.001
居酒屋などで	48	(.2)	80	(.3)	121	(.5)	<0.001
自分や誰かの部屋で	69	(.3)	126	(.5)	279	(1.1)	<0.001
一人で	265	(1.2)	346	(1.4)	443	(1.8)	<0.001
その他の機会に	71	(.3)	85	(.4)	74	(.3)	-
無回答・無効回答	427	(1.9)	426	(1.8)	409	(1.7)	-
初回飲酒年齢							<0.001
飲酒経験なし	18,398	(81.2)	18,872	(78.0)	18,369	(75.0)	
10歳以下	1,662	(7.3)	1,626	(6.7)	1,546	(6.3)	
11歳	562	(2.5)	509	(2.1)	376	(1.5)	
12歳	487	(2.2)	533	(2.2)	470	(1.9)	
13歳	92	(.4)	444	(1.8)	449	(1.8)	
14歳	0	(.0)	142	(.6)	519	(2.1)	
15歳以上	1	(.0)	2	(.0)	176	(.7)	
年齢は覚えていない	1,252	(5.5)	1,851	(7.6)	2,370	(9.7)	
無回答・無効回答	193	(.9)	220	(.9)	230	(.9)	
過去1年間の飲酒経験							
あり	2,147	(9.5)	2,711	(11.2)	3,194	(13.0)	<0.001
過去1年間の飲酒頻度							<0.001
1度も飲んでいない	20,043	(88.5)	20,952	(86.6)	20,718	(84.5)	
1年間で数回	2,017	(8.9)	2,464	(10.2)	2,848	(11.6)	
月に数回	100	(.4)	173	(.7)	241	(1.0)	
週に数回	15	(.1)	25	(.1)	49	(.2)	
ほとんど毎日	15	(.1)	49	(.2)	56	(.2)	
無回答・無効回答	457	(2.0)	536	(2.2)	593	(2.4)	
未成年者の飲酒が禁止されていることに対する考え							<0.001
飲むべきではないと思う	19,349	(85.4)	19,674	(81.3)	19,927	(81.3)	
時と場合に応じては構わない	2,781	(12.3)	3,725	(15.4)	3,667	(15.0)	
全然構わない	240	(1.1)	504	(2.1)	615	(2.5)	
無回答・無効回答	277	(1.2)	296	(1.2)	296	(1.2)	
生涯喫煙経験							
あり	327	(1.4)	556	(2.3)	679	(2.8)	<0.001
初めて喫煙した年齢							<0.001
吸ったことがない	22,085	(97.5)	23,397	(96.7)	23,563	(96.2)	
10歳以下	106	(.5)	158	(.7)	149	(.6)	
11歳	38	(.2)	41	(.2)	46	(.2)	
12歳	63	(.3)	57	(.2)	54	(.2)	
13歳	16	(.1)	94	(.4)	75	(.3)	
14歳	0	(.0)	39	(.2)	120	(.5)	
15歳以上	1	(.0)	3	(.0)	36	(.1)	
年齢は覚えていない	103	(.5)	164	(.7)	199	(.8)	
無回答・無効回答	235	(1.0)	246	(1.0)	263	(1.1)	
過去1年間の喫煙経験							
あり	147	(.6)	252	(1.0)	327	(1.3)	<0.001
過去1年間の喫煙頻度							<0.001
一度も吸っていない	22,312	(98.5)	23,750	(98.1)	23,945	(97.7)	
1年間で数回	126	(.6)	153	(.6)	175	(.7)	
月に数回	7	(.0)	33	(.1)	50	(.2)	
週に数回	5	(.0)	26	(.1)	36	(.1)	
ほとんど毎日	9	(.0)	40	(.2)	66	(.3)	
無回答・無効回答	188	(.8)	197	(.8)	233	(1.0)	
未成年者の喫煙が禁止されていることに対する考え							<0.001
吸うべきでないと思う	21,891	(96.7)	23,050	(95.3)	23,302	(95.1)	
少々なら構わない	365	(1.6)	570	(2.4)	581	(2.4)	
全然構わない	175	(.8)	338	(1.4)	360	(1.5)	
無回答・無効回答	216	(1.0)	241	(1.0)	262	(1.1)	

\*検定は、無回答・無効回答を除外して行った。

表24. いずれかの薬物乱用経験別にみた飲酒・喫煙状況

	いずれかの薬物乱用経験						p-value
	非経験群		経験群		無回答・無効回答		
	n=70,172		n=395		n=784		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
生涯飲酒経験							
あり	14,759	(21.0)	220	(55.7)	90	(11.5)	<0.001
飲酒場面(複数回答)							
飲酒経験なし	54,740	(78.0)	170	(43.0)	245	(31.3)	<0.001
冠婚葬祭	8,693	(12.4)	96	(24.3)	49	(6.3)	<0.001
家族と一緒に	6,143	(8.8)	84	(21.3)	35	(4.5)	<0.001
パーティーの時に	393	(.6)	31	(7.8)	3	(.4)	<0.001
居酒屋などで	214	(.3)	33	(8.4)	2	(.3)	<0.001
自分や誰かの部屋で	434	(.6)	38	(9.6)	2	(.3)	<0.001
一人で	969	(1.4)	74	(18.7)	11	(1.4)	<0.001
その他の機会に	219	(.3)	6	(1.5)	5	(.6)	-
無回答・無効回答	805	(1.1)	6	(1.5)	451	(57.5)	-
初回飲酒年齢							<0.001
飲酒経験なし	55,215	(78.7)	172	(43.5)	252	(32.1)	
10歳以下	4,708	(6.7)	103	(26.1)	23	(2.9)	
11歳	1,408	(2.0)	21	(5.3)	18	(2.3)	
12歳	1,463	(2.1)	18	(4.6)	9	(1.1)	
13歳	969	(1.4)	8	(2.0)	8	(1.0)	
14歳	647	(.9)	12	(3.0)	2	(.3)	
15歳以上	173	(.2)	5	(1.3)	1	(.1)	
年齢は覚えていない	5,391	(7.7)	53	(13.4)	29	(3.7)	
無回答・無効回答	198	(.3)	3	(.8)	442	(56.4)	
過去1年間の飲酒経験							
あり	7,841	(11.2)	160	(40.5)	51	(6.5)	<0.001
過去1年間の飲酒頻度							<0.001
1度も飲んでいない	61,221	(87.2)	229	(58.0)	263	(33.5)	
1年間で数回	7,202	(10.3)	84	(21.3)	43	(5.5)	
月に数回	493	(.7)	16	(4.1)	5	(.6)	
週に数回	81	(.1)	7	(1.8)	1	(.1)	
ほとんど毎日	65	(.1)	53	(13.4)	2	(.3)	
無回答・無効回答	1,110	(1.6)	6	(1.5)	470	(59.9)	
未成年者の飲酒が禁止されていることに対する考え							<0.001
飲むべきではないと思う	58,501	(83.4)	207	(52.4)	242	(30.9)	
時と場合に応じては構わない	10,006	(14.3)	110	(27.8)	57	(7.3)	
全然構わない	1,261	(1.8)	74	(18.7)	24	(3.1)	
無回答・無効回答	404	(.6)	4	(1.0)	461	(58.8)	
生涯喫煙経験							
あり	1,427	(2.0)	111	(28.1)	24	(3.1)	<0.001
初めて喫煙した年齢							<0.001
吸ったことがない	68,464	(97.6)	280	(70.9)	301	(38.4)	
10歳以下	364	(.5)	42	(10.6)	7	(.9)	
11歳	109	(.2)	14	(3.5)	2	(.3)	
12歳	161	(.2)	8	(2.0)	5	(.6)	
13歳	177	(.3)	6	(1.5)	2	(.3)	
14歳	152	(.2)	5	(1.3)	2	(.3)	
15歳以上	34	(.0)	4	(1.0)	2	(.3)	
年齢は覚えていない	430	(.6)	32	(8.1)	4	(.5)	
無回答・無効回答	281	(.4)	4	(1.0)	459	(58.5)	
過去1年間の喫煙経験							
あり	621	(.9)	96	(24.3)	9	(1.1)	<0.001
過去1年間の喫煙頻度							<0.001
一度も吸っていない	69,394	(98.9)	297	(75.2)	316	(40.3)	
1年間で数回	428	(.6)	22	(5.6)	4	(.5)	
月に数回	77	(.1)	12	(3.0)	1	(.1)	
週に数回	55	(.1)	11	(2.8)	1	(.1)	
ほとんど毎日	61	(.1)	51	(12.9)	3	(.4)	
無回答・無効回答	157	(.2)	2	(.5)	459	(58.5)	
未成年者の喫煙が禁止されていることに対する考え							<0.001
吸うべきでないと思う	67,676	(96.4)	279	(70.6)	288	(36.7)	
少々なら構わない	1,459	(2.1)	42	(10.6)	15	(1.9)	
全然構わない	788	(1.1)	68	(17.2)	17	(2.2)	
無回答・無効回答	249	(.4)	6	(1.5)	464	(59.2)	

\*検定は、無回答・無効回答を除外して行った。

表25. 大麻の乱用経験別にみた飲酒・喫煙状況

	大麻の乱用経験						p-value
	非経験群		経験群		無回答・無効回答		
	n=70,371	n=249	n=731	n (%)	n (%)	n (%)	
生涯飲酒経験							
あり	14,854	(21.1)	136	(54.6)	79	(10.8)	<0.001
飲酒場面(複数回答)							
飲酒経験なし	54,842	(77.9)	109	(43.8)	204	(27.9)	<0.001
冠婚葬祭	8,739	(12.4)	59	(23.7)	40	(5.5)	<0.001
家族と一緒に	6,175	(8.8)	54	(21.7)	33	(4.5)	<0.001
パーティーの時に	402	(.6)	21	(8.4)	4	(.5)	<0.001
居酒屋などで	219	(.3)	27	(10.8)	3	(.4)	<0.001
自分や誰かの部屋で	446	(.6)	26	(10.4)	2	(.3)	<0.001
一人で	996	(1.4)	48	(19.3)	10	(1.4)	<0.001
その他の機会に	223	(.3)	3	(1.2)	4	(.5)	-
無回答・無効回答	807	(1.1)	5	(2.0)	450	(61.6)	-
初回飲酒年齢							<0.001
飲酒経験なし	55,318	(78.6)	111	(44.6)	210	(28.7)	
10歳以下	4,746	(6.7)	67	(26.9)	21	(2.9)	
11歳	1,421	(2.0)	10	(4.0)	16	(2.2)	
12歳	1,472	(2.1)	11	(4.4)	7	(1.0)	
13歳	975	(1.4)	4	(1.6)	6	(.8)	
14歳	652	(.9)	5	(2.0)	4	(.5)	
15歳以上	176	(.3)	2	(.8)	1	(.1)	
年齢は覚えていない	5,412	(7.7)	37	(14.9)	24	(3.3)	
無回答・無効回答	199	(.3)	2	(.8)	442	(60.5)	
過去1年間の飲酒経験							
あり	7,900	(11.2)	106	(42.6)	46	(6.3)	<0.001
過去1年間の飲酒頻度							<0.001
1度も飲んでいない	61,358	(87.2)	140	(56.2)	215	(29.4)	
1年間で数回	7,244	(10.3)	48	(19.3)	37	(5.1)	
月に数回	500	(.7)	8	(3.2)	6	(.8)	
週に数回	82	(.1)	5	(2.0)	2	(.3)	
ほとんど毎日	74	(.1)	45	(18.1)	1	(.1)	
無回答・無効回答	1,113	(1.6)	3	(1.2)	470	(64.3)	
未成年者の飲酒が禁止されていることに対する考え							<0.001
飲むべきではないと思う	58,624	(83.3)	130	(52.2)	196	(26.8)	
時と場合に応じては構わない	10,062	(14.3)	58	(23.3)	53	(7.3)	
全然構わない	1,281	(1.8)	57	(22.9)	21	(2.9)	
無回答・無効回答	404	(.6)	4	(1.6)	461	(63.1)	
生涯喫煙経験							
あり	1,459	(2.1)	79	(31.7)	24	(3.3)	<0.001
初めて喫煙した年齢							<0.001
吸ったことがない	68,630	(97.5)	167	(67.1)	248	(33.9)	
10歳以下	372	(.5)	34	(13.7)	7	(1.0)	
11歳	115	(.2)	8	(3.2)	2	(.3)	
12歳	163	(.2)	7	(2.8)	4	(.5)	
13歳	180	(.3)	2	(.8)	3	(.4)	
14歳	153	(.2)	3	(1.2)	3	(.4)	
15歳以上	35	(.0)	3	(1.2)	2	(.3)	
年齢は覚えていない	441	(.6)	22	(8.8)	3	(.4)	
無回答・無効回答	282	(.4)	3	(1.2)	459	(62.8)	
過去1年間の喫煙経験							
あり	644	(.9)	72	(28.9)	10	(1.4)	<0.001
過去1年間の喫煙頻度							<0.001
一度も吸っていない	69,570	(98.9)	175	(70.3)	262	(35.8)	
1年間で数回	437	(.6)	13	(5.2)	4	(.5)	
月に数回	80	(.1)	9	(3.6)	1	(.1)	
週に数回	57	(.1)	8	(3.2)	2	(.3)	
ほとんど毎日	70	(.1)	42	(16.9)	3	(.4)	
無回答・無効回答	157	(.2)	2	(.8)	459	(62.8)	
未成年者の喫煙が禁止されていることに対する考え							<0.001
吸うべきでないとと思う	67,833	(96.4)	171	(68.7)	239	(32.7)	
少々なら構わない	1,479	(2.1)	22	(8.8)	15	(2.1)	
全然構わない	806	(1.1)	52	(20.9)	15	(2.1)	
無回答・無効回答	253	(.4)	4	(1.6)	462	(63.2)	

\*検定は、無回答・無効回答を除外して行った。



表26. 性別にみた薬物乱用の生涯経験・誘われた経験・身近な使用者・入手可能性・考え

	性別								p-value
	全体		男性		女性		無回答・無効回答		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
薬物乱用の生涯経験									
有機溶剤	346	(5)	228	(6)	114	(3)	4	(2.5)	<0.001
大麻	249	(3)	164	(4)	82	(2)	3	(1.9)	<0.001
覚せい剤	231	(3)	150	(4)	77	(2)	4	(2.5)	<0.001
危険ドラッグ	215	(3)	140	(4)	72	(2)	3	(1.9)	<0.001
大麻または覚せい剤	274	(4)	179	(5)	91	(3)	4	(2.5)	<0.001
いずれかの薬物	395	(6)	257	(7)	133	(4)	5	(3.1)	<0.001
薬物乱用に誘われた経験									
有機溶剤	234	(3)	144	(4)	88	(3)	2	(1.3)	0.002
大麻	239	(3)	157	(4)	78	(2)	4	(2.5)	<0.001
覚せい剤	233	(3)	148	(4)	83	(2)	2	(1.3)	<0.001
危険ドラッグ	214	(3)	133	(4)	78	(2)	3	(1.9)	0.001
大麻または覚せい剤	300	(4)	198	(5)	98	(3)	4	(2.5)	<0.001
いずれかの薬物	382	(5)	251	(7)	127	(4)	4	(2.5)	<0.001
身近に使っている人がいると答えた者の割合									
有機溶剤	614	(9)	385	(10)	224	(7)	5	(3.1)	<0.001
大麻	529	(7)	334	(9)	192	(6)	3	(1.9)	<0.001
覚せい剤	488	(7)	308	(8)	175	(5)	5	(3.1)	<0.001
危険ドラッグ	463	(6)	296	(8)	163	(5)	4	(2.5)	<0.001
薬物の入手可能性									
<有機溶剤>									<0.001
絶対不可能	53,780	(75.4)	26,222	(71.1)	27,472	(80.0)	86	(53.8)	
ほとんど不可能	8,514	(11.9)	4,949	(13.4)	3,536	(10.3)	29	(18.1)	
なんとか手に入る	4,597	(6.4)	2,725	(7.4)	1,851	(5.4)	21	(13.1)	
簡単に手に入る	3,227	(4.5)	2,218	(6.0)	992	(2.9)	17	(10.6)	
無回答・無効回答	1,233	(1.7)	746	(2.0)	480	(1.4)	7	(4.4)	
<大麻>									<0.001
絶対不可能	55,478	(77.8)	27,289	(74.0)	28,095	(81.8)	94	(58.8)	
ほとんど不可能	8,580	(12.0)	5,026	(13.6)	3,527	(10.3)	27	(16.9)	
なんとか手に入る	4,042	(5.7)	2,423	(6.6)	1,595	(4.6)	24	(15.0)	
簡単に手に入る	1,920	(2.7)	1,303	(3.5)	609	(1.8)	8	(5.0)	
無回答・無効回答	1,331	(1.9)	819	(2.2)	505	(1.5)	7	(4.4)	
<覚せい剤>									<0.001
絶対不可能	55,500	(77.8)	27,486	(74.6)	27,920	(81.3)	94	(58.8)	
ほとんど不可能	8,549	(12.0)	4,981	(13.5)	3,539	(10.3)	29	(18.1)	
なんとか手に入る	4,099	(5.7)	2,363	(6.4)	1,715	(5.0)	21	(13.1)	
簡単に手に入る	1,942	(2.7)	1,260	(3.4)	674	(2.0)	8	(5.0)	
無回答・無効回答	1,261	(1.8)	770	(2.1)	483	(1.4)	8	(5.0)	
<危険ドラッグ>									<0.001
絶対不可能	55,641	(78.0)	27,464	(74.5)	28,082	(81.8)	95	(59.4)	
ほとんど不可能	8,420	(11.8)	4,904	(13.3)	3,488	(10.2)	28	(17.5)	
なんとか手に入る	4,005	(5.6)	2,347	(6.4)	1,636	(4.8)	22	(13.8)	
簡単に手に入る	1,929	(2.7)	1,309	(3.6)	612	(1.8)	8	(5.0)	
無回答・無効回答	1,356	(1.9)	836	(2.3)	513	(1.5)	7	(4.4)	
薬物乱用に対する考え									
<有機溶剤>									<0.001
使うべきではない	69,607	(97.6)	35,613	(96.6)	33,851	(98.6)	143	(89.4)	
少々なら構わない	589	(8)	386	(1.0)	196	(6)	7	(4.4)	
まったく構わない	571	(8)	436	(1.2)	129	(4)	6	(3.8)	
無回答・無効回答	584	(8)	425	(1.2)	155	(5)	4	(2.5)	
<大麻>									<0.001
使うべきではない	69,366	(97.2)	35,393	(96.0)	33,833	(98.5)	140	(87.5)	
少々なら構わない	756	(1.1)	544	(1.5)	202	(6)	10	(6.3)	
まったく構わない	625	(9)	483	(1.3)	136	(4)	6	(3.8)	
無回答・無効回答	604	(8)	440	(1.2)	160	(5)	4	(2.5)	
<覚せい剤>									<0.001
使うべきではない	69,689	(97.7)	35,665	(96.8)	33,881	(98.7)	143	(89.4)	
少々なら構わない	518	(7)	342	(9)	170	(5)	6	(3.8)	
まったく構わない	551	(8)	420	(1.1)	124	(4)	7	(4.4)	
無回答・無効回答	593	(8)	433	(1.2)	156	(5)	4	(2.5)	
<危険ドラッグ>									<0.001
使うべきではない	69,796	(97.8)	35,723	(96.9)	33,929	(98.8)	144	(90.0)	
少々なら構わない	390	(5)	270	(7)	114	(3)	6	(3.8)	
まったく構わない	551	(8)	419	(1.1)	126	(4)	6	(3.8)	
無回答・無効回答	614	(9)	448	(1.2)	162	(5)	4	(2.5)	

\*検定は、無回答・無効回答を除外して行った。

表27. 学年別にみた薬物乱用の生涯経験・誘われた経験・身近な使用者・入手可能性・考え

	学年						p-value
	1年生		2年生		3年生		
	n=22,647		n=24,199		n=24,505		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
<b>薬物乱用の生涯経験</b>							
有機溶剤	85	(.4)	143	(.6)	118	(.5)	0.004
大麻	57	(.3)	106	(.4)	86	(.4)	0.003
覚せい剤	53	(.2)	96	(.4)	82	(.3)	0.008
危険ドラッグ	53	(.2)	91	(.4)	71	(.3)	0.019
大麻または覚せい剤	60	(.3)	116	(.5)	98	(.4)	0.001
いずれかの薬物	94	(.4)	164	(.7)	137	(.6)	0.001
<b>薬物乱用に誘われた経験</b>							
有機溶剤	47	(.2)	94	(.4)	93	(.4)	0.001
大麻	41	(.2)	96	(.4)	102	(.4)	<0.001
覚せい剤	43	(.2)	99	(.4)	91	(.4)	<0.001
危険ドラッグ	36	(.2)	95	(.4)	83	(.3)	<0.001
大麻または覚せい剤	56	(.2)	118	(.5)	126	(.5)	<0.001
いずれかの薬物	75	(.3)	149	(.6)	158	(.6)	<0.001
<b>身近に使っている人がいると答えた者の割合</b>							
有機溶剤	160	(.7)	215	(.9)	239	(1.0)	0.006
大麻	124	(.5)	192	(.8)	213	(.9)	<0.001
覚せい剤	130	(.6)	176	(.7)	182	(.7)	0.051
危険ドラッグ	115	(.5)	166	(.7)	182	(.7)	0.004
<b>薬物の入手可能性</b>							
<有機溶剤>							<0.001
絶対不可能	17,285	(76.3)	18,534	(76.6)	17,961	(73.3)	
ほとんど不可能	2,734	(12.1)	2,863	(11.8)	2,917	(11.9)	
なんとか手に入る	1,328	(5.9)	1,446	(6.0)	1,823	(7.4)	
簡単に手に入る	865	(3.8)	971	(4.0)	1,391	(5.7)	
無回答・無効回答	435	(1.9)	385	(1.6)	413	(1.7)	
<大麻>							<0.001
絶対不可能	17,747	(78.4)	19,039	(78.7)	18,692	(76.3)	
ほとんど不可能	2,677	(11.8)	2,869	(11.9)	3,034	(12.4)	
なんとか手に入る	1,213	(5.4)	1,267	(5.2)	1,562	(6.4)	
簡単に手に入る	540	(2.4)	597	(2.5)	783	(3.2)	
無回答・無効回答	470	(2.1)	427	(1.8)	434	(1.8)	
<覚せい剤>							<0.001
絶対不可能	17,714	(78.2)	19,033	(78.7)	18,753	(76.5)	
ほとんど不可能	2,693	(11.9)	2,864	(11.8)	2,992	(12.2)	
なんとか手に入る	1,233	(5.4)	1,295	(5.4)	1,571	(6.4)	
簡単に手に入る	566	(2.5)	610	(2.5)	766	(3.1)	
無回答・無効回答	441	(1.9)	397	(1.6)	423	(1.7)	
<危険ドラッグ>							<0.001
絶対不可能	17,831	(78.7)	19,081	(78.9)	18,729	(76.4)	
ほとんど不可能	2,618	(11.6)	2,837	(11.7)	2,965	(12.1)	
なんとか手に入る	1,182	(5.2)	1,231	(5.1)	1,592	(6.5)	
簡単に手に入る	540	(2.4)	617	(2.5)	772	(3.2)	
無回答・無効回答	476	(2.1)	433	(1.8)	447	(1.8)	
<b>薬物乱用に対する考え</b>							
<有機溶剤>							<0.001
使うべきではない	22,169	(97.9)	23,574	(97.4)	23,864	(97.4)	
少々なら構わない	151	(.7)	222	(.9)	216	(.9)	
まったく構わない	135	(.6)	223	(.9)	213	(.9)	
無回答・無効回答	192	(.8)	180	(.7)	212	(.9)	
<大麻>							<0.001
使うべきではない	22,125	(97.7)	23,510	(97.2)	23,731	(96.8)	
少々なら構わない	184	(.8)	260	(1.1)	312	(1.3)	
まったく構わない	138	(.6)	243	(1.0)	244	(1.0)	
無回答・無効回答	200	(.9)	186	(.8)	218	(.9)	
<覚せい剤>							0.001
使うべきではない	22,172	(97.9)	23,603	(97.5)	23,914	(97.6)	
少々なら構わない	144	(.6)	196	(.8)	178	(.7)	
まったく構わない	135	(.6)	219	(.9)	197	(.8)	
無回答・無効回答	196	(.9)	181	(.7)	216	(.9)	
<危険ドラッグ>							<0.001
使うべきではない	22,212	(98.1)	23,636	(97.7)	23,948	(97.7)	
少々なら構わない	97	(.4)	155	(.6)	138	(.6)	
まったく構わない	134	(.6)	218	(.9)	199	(.8)	
無回答・無効回答	204	(.9)	190	(.8)	220	(.9)	

\*検定は、無回答・無効回答を除外して行った。

表28. いずれかの薬物乱用経験別にみた薬物乱用の生涯経験・誘われた経験・身近な使用者・入手可能性・考え

	いずれかの薬物乱用経験						p-value
	非経験群		経験群		無回答・無効回答		
	n=70,172		n=395		n=784		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
<b>薬物乱用の生涯経験</b>							
有機溶剤	0	(.0)	346	(87.6)	0	(.0)	<0.001
大麻	0	(.0)	249	(63.0)	0	(.0)	<0.001
覚せい剤	0	(.0)	231	(58.5)	0	(.0)	<0.001
危険ドラッグ	0	(.0)	215	(54.4)	0	(.0)	<0.001
大麻または覚せい剤	0	(.0)	274	(69.4)	0	(.0)	<0.001
<b>薬物乱用に誘われた経験</b>							
有機溶剤	144	(.2)	89	(22.5)	1	(.1)	<0.001
大麻	152	(.2)	87	(22.0)	0	(.0)	<0.001
覚せい剤	146	(.2)	85	(21.5)	2	(.3)	<0.001
危険ドラッグ	135	(.2)	78	(19.7)	1	(.1)	<0.001
大麻または覚せい剤	199	(.3)	99	(25.1)	2	(.3)	<0.001
いずれかの薬物	268	(.4)	112	(28.4)	2	(.3)	<0.001
<b>身近に使っている人がいると答えた者の割合</b>							
有機溶剤	486	(.7)	126	(31.9)	2	(.3)	<0.001
大麻	434	(.6)	94	(23.8)	1	(.1)	<0.001
覚せい剤	401	(.6)	85	(21.5)	2	(.3)	<0.001
危険ドラッグ	378	(.5)	85	(21.5)	0	(.0)	<0.001
<b>薬物の入手可能性</b>							
<有機溶剤>							<0.001
絶対不可能	53,482	(76.2)	121	(30.6)	177	(22.6)	
ほとんど不可能	8,447	(12.0)	47	(11.9)	20	(2.6)	
なんとか手に入る	4,525	(6.4)	59	(14.9)	13	(1.7)	
簡単に手に入る	3,044	(4.3)	164	(41.5)	19	(2.4)	
無回答・無効回答	674	(1.0)	4	(1.0)	555	(70.8)	
<大麻>							<0.001
絶対不可能	55,149	(78.6)	161	(40.8)	168	(21.4)	
ほとんど不可能	8,491	(12.1)	69	(17.5)	20	(2.6)	
なんとか手に入る	3,964	(5.6)	71	(18.0)	7	(.9)	
簡単に手に入る	1,823	(2.6)	86	(21.8)	11	(1.4)	
無回答・無効回答	745	(1.1)	8	(2.0)	578	(73.7)	
<覚せい剤>							<0.001
絶対不可能	55,163	(78.6)	165	(41.8)	172	(21.9)	
ほとんど不可能	8,452	(12.0)	77	(19.5)	20	(2.6)	
なんとか手に入る	4,028	(5.7)	62	(15.7)	9	(1.1)	
簡単に手に入る	1,850	(2.6)	81	(20.5)	11	(1.4)	
無回答・無効回答	679	(1.0)	10	(2.5)	572	(73.0)	
<危険ドラッグ>							<0.001
絶対不可能	55,309	(78.8)	168	(42.5)	164	(20.9)	
ほとんど不可能	8,332	(11.9)	67	(17.0)	21	(2.7)	
なんとか手に入る	3,929	(5.6)	69	(17.5)	7	(.9)	
簡単に手に入る	1,841	(2.6)	79	(20.0)	9	(1.1)	
無回答・無効回答	761	(1.1)	12	(3.0)	583	(74.4)	
<b>薬物乱用に対する考え</b>							
<有機溶剤>							<0.001
使うべきではない	69,101	(98.5)	258	(65.3)	248	(31.6)	
少々なら構わない	526	(.7)	58	(14.7)	5	(.6)	
まったく構わない	482	(.7)	77	(19.5)	12	(1.5)	
無回答・無効回答	63	(.1)	2	(.5)	519	(66.2)	
<大麻>							<0.001
使うべきではない	68,842	(98.1)	284	(71.9)	240	(30.6)	
少々なら構わない	720	(1.0)	33	(8.4)	3	(.4)	
まったく構わない	538	(.8)	74	(18.7)	13	(1.7)	
無回答・無効回答	72	(.1)	4	(1.0)	528	(67.3)	
<覚せい剤>							<0.001
使うべきではない	69,154	(98.5)	292	(73.9)	243	(31.0)	
少々なら構わない	480	(.7)	35	(8.9)	3	(.4)	
まったく構わない	475	(.7)	65	(16.5)	11	(1.4)	
無回答・無効回答	63	(.1)	3	(.8)	527	(67.2)	
<危険ドラッグ>							<0.001
使うべきではない	69,257	(98.7)	295	(74.7)	244	(31.1)	
少々なら構わない	360	(.5)	28	(7.1)	2	(.3)	
まったく構わない	471	(.7)	69	(17.5)	11	(1.4)	
無回答・無効回答	84	(.1)	3	(.8)	527	(67.2)	

\*検定は、無回答・無効回答を除外して行った。

表29. 大麻の乱用経験別にみた薬物乱用の生涯経験・誘われた経験・身近な使用者・入手可能性・考え

	大麻の乱用経験						p-value
	非経験群		経験群		無回答・無効回答		
	n=70,371		n=249		n=731		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
<b>薬物乱用の生涯経験</b>							
有機溶剤	119	(.2)	222	(89.2)	5	(.7)	<0.001
覚せい剤	22	(.0)	206	(82.7)	3	(.4)	<0.001
危険ドラッグ	10	(.0)	204	(81.9)	1	(.1)	<0.001
大麻または覚せい剤	22	(.0)	249	(100.0)	3	(.4)	<0.001
いずれかの薬物	139	(.2)	249	(100.0)	7	(1.0)	<0.001
<b>薬物乱用に誘われた経験</b>							
有機溶剤	158	(.2)	73	(29.3)	3	(.4)	<0.001
大麻	159	(.2)	79	(31.7)	1	(.1)	<0.001
覚せい剤	157	(.2)	72	(28.9)	4	(.5)	<0.001
危険ドラッグ	144	(.2)	67	(26.9)	3	(.4)	<0.001
大麻または覚せい剤	213	(.3)	83	(33.3)	4	(.5)	<0.001
いずれかの薬物	294	(.4)	83	(33.3)	5	(.7)	<0.001
<b>身近に使っている人がいると答えた者の割合</b>							
有機溶剤	525	(.7)	83	(33.3)	6	(.8)	<0.001
大麻	440	(.6)	87	(34.9)	2	(.3)	<0.001
覚せい剤	410	(.6)	76	(30.5)	2	(.3)	<0.001
危険ドラッグ	383	(.5)	78	(31.3)	2	(.3)	<0.001
<b>薬物の入手可能性</b>							
<有機溶剤>							<0.001
絶対不可能	53,548	(76.1)	91	(36.5)	141	(19.3)	
ほとんど不可能	8,464	(12.0)	38	(15.3)	12	(1.6)	
なんとか手に入る	4,552	(6.5)	34	(13.7)	11	(1.5)	
簡単に手に入る	3,131	(4.4)	82	(32.9)	14	(1.9)	
無回答・無効回答	676	(1.0)	4	(1.6)	553	(75.6)	
<大麻>							<0.001
絶対不可能	55,255	(78.5)	98	(39.4)	125	(17.1)	
ほとんど不可能	8,528	(12.1)	39	(15.7)	13	(1.8)	
なんとか手に入る	3,998	(5.7)	39	(15.7)	5	(.7)	
簡単に手に入る	1,843	(2.6)	69	(27.7)	8	(1.1)	
無回答・無効回答	747	(1.1)	4	(1.6)	580	(79.3)	
<覚せい剤>							<0.001
絶対不可能	55,261	(78.5)	100	(40.2)	139	(19.0)	
ほとんど不可能	8,489	(12.1)	47	(18.9)	13	(1.8)	
なんとか手に入る	4,057	(5.8)	34	(13.7)	8	(1.1)	
簡単に手に入る	1,873	(2.7)	62	(24.9)	7	(1.0)	
無回答・無効回答	691	(1.0)	6	(2.4)	564	(77.2)	
<危険ドラッグ>							<0.001
絶対不可能	55,409	(78.7)	102	(41.0)	130	(17.8)	
ほとんど不可能	8,367	(11.9)	38	(15.3)	15	(2.1)	
なんとか手に入る	3,958	(5.6)	43	(17.3)	4	(.5)	
簡単に手に入る	1,863	(2.6)	60	(24.1)	6	(.8)	
無回答・無効回答	774	(1.1)	6	(2.4)	576	(78.8)	
<b>薬物乱用に対する考え</b>							
<有機溶剤>							<0.001
使うべきではない	69,242	(98.4)	170	(68.3)	195	(26.7)	
少々なら構わない	564	(.8)	19	(7.6)	6	(.8)	
まったく構わない	501	(.7)	59	(23.7)	11	(1.5)	
無回答・無効回答	64	(.1)	1	(.4)	519	(71.0)	
<大麻>							<0.001
使うべきではない	69,014	(98.1)	165	(66.3)	187	(25.6)	
少々なら構わない	733	(1.0)	20	(8.0)	3	(.4)	
まったく構わない	551	(.8)	62	(24.9)	12	(1.6)	
無回答・無効回答	73	(.1)	2	(.8)	529	(72.4)	
<覚せい剤>							<0.001
使うべきではない	69,327	(98.5)	174	(69.9)	188	(25.7)	
少々なら構わない	494	(.7)	19	(7.6)	5	(.7)	
まったく構わない	485	(.7)	55	(22.1)	11	(1.5)	
無回答・無効回答	65	(.1)	1	(.4)	527	(72.1)	
<危険ドラッグ>							<0.001
使うべきではない	69,439	(98.7)	167	(67.1)	190	(26.0)	
少々なら構わない	367	(.5)	20	(8.0)	3	(.4)	
まったく構わない	480	(.7)	61	(24.5)	10	(1.4)	
無回答・無効回答	85	(.1)	1	(.4)	528	(72.2)	

\*検定は、無回答・無効回答を除外して行った。

表30. 性別にみた薬物乱用の害知識の周知状況

	性別								p-value
	全体		男性		女性		無回答・無効回答		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
薬物乱用による薬物依存									<0.001
知っている	68,164	(95.5)	34,789	(94.4)	33,230	(96.8)	145	(90.6)	
知らない	2,296	(3.2)	1,523	(4.1)	764	(2.2)	9	(5.6)	
無回答・無効回答	891	(1.2)	548	(1.5)	337	(1.0)	6	(3.8)	
薬物乱用による精神病状態									<0.001
知っている	33,138	(89.9)	31,866	(92.8)	144	(90.0)	65,148	(91.3)	
知らない	3,107	(8.4)	2,050	(6.0)	12	(7.5)	5,169	(7.2)	
無回答・無効回答	615	(1.7)	415	(1.2)	4	(2.5)	1,034	(1.4)	
薬物乱用によるフラッシュバック									<0.001
知っている	50,843	(71.3)	25,756	(69.9)	24,965	(72.7)	122	(76.3)	
知らない	19,551	(27.4)	10,520	(28.5)	8,997	(26.2)	34	(21.3)	
無回答・無効回答	957	(1.3)	584	(1.6)	369	(1.1)	4	(2.5)	
有機溶剤乱用による急性中毒死									<0.001
知っている	52,206	(73.2)	26,603	(72.2)	25,482	(74.2)	121	(75.6)	
知らない	18,285	(25.6)	9,744	(26.4)	8,506	(24.8)	35	(21.9)	
無回答・無効回答	860	(1.2)	513	(1.4)	343	(1.0)	4	(2.5)	
有機溶剤乱用による歯の腐食									<0.001
知っている	49,476	(69.3)	24,876	(67.5)	24,479	(71.3)	121	(75.6)	
知らない	20,988	(29.4)	11,440	(31.0)	9,513	(27.7)	35	(21.9)	
無回答・無効回答	887	(1.2)	544	(1.5)	339	(1.0)	4	(2.5)	
有機溶剤乱用による多発神経炎									<0.001
知っている	44,796	(62.8)	22,323	(60.6)	22,360	(65.1)	113	(70.6)	
知らない	25,604	(35.9)	13,965	(37.9)	11,596	(33.8)	43	(26.9)	
無回答・無効回答	951	(1.3)	572	(1.6)	375	(1.1)	4	(2.5)	
大麻や有機溶剤の乱用による無動機症候群									<0.001
知っている	46,667	(65.4)	22,825	(61.9)	23,729	(69.1)	113	(70.6)	
知らない	23,816	(33.4)	13,517	(36.7)	10,257	(29.9)	42	(26.3)	
無回答・無効回答	868	(1.2)	518	(1.4)	345	(1.0)	5	(3.1)	
危険ドラッグ乱用による身体症状および精神症状									0.105
知っている	51,096	(71.6)	26,246	(71.2)	24,737	(72.1)	113	(70.6)	
知らない	19,399	(27.2)	10,097	(27.4)	9,259	(27.0)	43	(26.9)	
無回答・無効回答	856	(1.2)	517	(1.4)	335	(1.0)	4	(2.5)	
危険ドラッグの中には麻薬や覚せい剤よりも脳や体に与える害が強いものがある									<0.001
知っている	45,877	(64.3)	24,008	(65.1)	21,760	(63.4)	109	(68.1)	
知らない	24,669	(34.6)	12,363	(33.5)	12,259	(35.7)	47	(29.4)	
無回答・無効回答	805	(1.1)	489	(1.3)	312	(.9)	4	(2.5)	
薬物乱用の誘いを断る自信									<0.001
大変ある	56,717	(79.5)	29,491	(80.0)	27,117	(79.0)	109	(68.1)	
どちらかと言えばある	10,490	(14.7)	4,894	(13.3)	5,571	(16.2)	25	(15.6)	
どちらかと言えない	1,428	(2.0)	665	(1.8)	753	(2.2)	10	(6.3)	
まったくない	1,844	(2.6)	1,288	(3.5)	546	(1.6)	10	(6.3)	
無回答・無効回答	872	(1.2)	522	(1.4)	344	(1.0)	6	(3.8)	

\*検定は、無回答・無効回答を除外して行った。



表31. 学年別にみた薬物乱用の害知識の周知状況

	学年						p-value
	1年生		2年生		3年生		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
薬物乱用による薬物依存							<0.001
知っている	21,570	(95.2)	23,025	(95.1)	23,569	(96.2)	
知らない	832	(3.7)	893	(3.7)	571	(2.3)	
無回答・無効回答	245	(1.1)	281	(1.2)	365	(1.5)	
薬物乱用による精神病状態							<0.001
知っている	20,252	(89.4)	21,898	(90.5)	22,998	(93.9)	
知らない	2,088	(9.2)	1,982	(8.2)	1,099	(4.5)	
無回答・無効回答	307	(1.4)	319	(1.3)	408	(1.7)	
薬物乱用によるフラッシュバック							<0.001
知っている	14,509	(64.1)	16,614	(68.7)	19,720	(80.5)	
知らない	7,881	(34.8)	7,293	(30.1)	4,377	(17.9)	
無回答・無効回答	257	(1.1)	292	(1.2)	408	(1.7)	
有機溶剤乱用による急性中毒死							<0.001
知っている	16,244	(71.7)	16,648	(68.8)	19,314	(78.8)	
知らない	6,180	(27.3)	7,274	(30.1)	4,831	(19.7)	
無回答・無効回答	223	(1.0)	277	(1.1)	360	(1.5)	
有機溶剤乱用による歯の腐食							<0.001
知っている	16,403	(72.4)	16,388	(67.7)	16,685	(68.1)	
知らない	6,011	(26.5)	7,527	(31.1)	7,450	(30.4)	
無回答・無効回答	233	(1.0)	284	(1.2)	370	(1.5)	
有機溶剤乱用による多発神経炎							<0.001
知っている	14,321	(63.2)	14,366	(59.4)	16,109	(65.7)	
知らない	8,072	(35.6)	9,524	(39.4)	8,008	(32.7)	
無回答・無効回答	254	(1.1)	309	(1.3)	388	(1.6)	
大麻や有機溶剤の乱用による無動機症候群							<0.001
知っている	14,213	(62.8)	15,047	(62.2)	17,407	(71.0)	
知らない	8,206	(36.2)	8,884	(36.7)	6,726	(27.4)	
無回答・無効回答	228	(1.0)	268	(1.1)	372	(1.5)	
危険ドラッグ乱用による身体症状および精神症状							<0.001
知っている	15,686	(69.3)	16,509	(68.2)	18,901	(77.1)	
知らない	6,743	(29.8)	7,420	(30.7)	5,236	(21.4)	
無回答・無効回答	218	(1.0)	270	(1.1)	368	(1.5)	
危険ドラッグの中には麻薬や覚せい剤よりも脳や体に与える害が強いものがある							<0.001
知っている	14,148	(62.5)	14,911	(61.6)	16,818	(68.6)	
知らない	8,296	(36.6)	9,029	(37.3)	7,344	(30.0)	
無回答・無効回答	203	(.9)	259	(1.1)	343	(1.4)	
薬物乱用の誘いを断る自信							<0.001
大変ある	17,904	(79.1)	19,321	(79.8)	19,492	(79.5)	
どちらかと言えばある	3,346	(14.8)	3,481	(14.4)	3,663	(14.9)	
どちらかと言えばない	487	(2.2)	472	(2.0)	469	(1.9)	
まったくない	668	(2.9)	661	(2.7)	515	(2.1)	
無回答・無効回答	242	(1.1)	264	(1.1)	366	(1.5)	

\*検定は、無回答・無効回答を除外して行った。

表32. いずれかの薬物乱用経験別に見た薬物乱用の害知識の周知状況

	いずれかの薬物乱用経験						p-value
	非経験群		経験群		無回答・無効回答		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
薬物乱用による薬物依存							<0.001
知っている	67,154	(95.7)	329	(83.3)	681	(86.9)	
知らない	2,161	(3.1)	57	(14.4)	78	(9.9)	
無回答・無効回答	857	(1.2)	9	(2.3)	25	(3.2)	
薬物乱用による精神病状態							<0.001
知っている	64,217	(91.5)	318	(80.5)	613	(78.2)	
知らない	4,952	(7.1)	66	(16.7)	151	(19.3)	
無回答・無効回答	1,003	(1.4)	11	(2.8)	20	(2.6)	
薬物乱用によるフラッシュバック							0.650
知っている	50,112	(71.4)	274	(69.4)	457	(58.3)	
知らない	19,139	(27.3)	110	(27.8)	302	(38.5)	
無回答・無効回答	921	(1.3)	11	(2.8)	25	(3.2)	
有機溶剤乱用による急性中毒死							0.321
知っている	51,442	(73.3)	277	(70.1)	487	(62.1)	
知らない	17,901	(25.5)	108	(27.3)	276	(35.2)	
無回答・無効回答	829	(1.2)	10	(2.5)	21	(2.7)	
有機溶剤乱用による歯の腐食							0.782
知っている	48,741	(69.5)	268	(67.8)	467	(59.6)	
知らない	20,575	(29.3)	117	(29.6)	296	(37.8)	
無回答・無効回答	856	(1.2)	10	(2.5)	21	(2.7)	
有機溶剤乱用による多発神経炎							0.597
知っている	44,158	(62.9)	241	(61.0)	397	(50.6)	
知らない	25,095	(35.8)	145	(36.7)	364	(46.4)	
無回答・無効回答	919	(1.3)	9	(2.3)	23	(2.9)	
大麻や有機溶剤の乱用による無動機症候群							0.668
知っている	46,011	(65.6)	252	(63.8)	404	(51.5)	
知らない	23,323	(33.2)	134	(33.9)	359	(45.8)	
無回答・無効回答	838	(1.2)	9	(2.3)	21	(2.7)	
危険ドラッグ乱用による身体症状および精神症状							0.050
知っている	50,317	(71.7)	262	(66.3)	517	(65.9)	
知らない	19,031	(27.1)	123	(31.1)	245	(31.3)	
無回答・無効回答	824	(1.2)	10	(2.5)	22	(2.8)	
危険ドラッグの中には麻薬や覚せい剤よりも脳や体に与える害が強いものがある							0.135
知っている	45,145	(64.3)	266	(67.3)	466	(59.4)	
知らない	24,251	(34.6)	121	(30.6)	297	(37.9)	
無回答・無効回答	776	(1.1)	8	(2.0)	21	(2.7)	
薬物乱用の誘いを断る自信							<0.001
大変ある	55,941	(79.7)	230	(58.2)	546	(69.6)	
どちらかと言えばある	10,296	(14.7)	65	(16.5)	129	(16.5)	
どちらかと言えばない	1,381	(2.0)	27	(6.8)	20	(2.6)	
まったくない	1,723	(2.5)	65	(16.5)	56	(7.1)	
無回答・無効回答	831	(1.2)	8	(2.0)	33	(4.2)	

\*検定は、無回答・無効回答を除外して行った。

表33. 大麻の乱用経験別にみた薬物乱用の害知識の周知状況

	大麻の乱用経験						p-value
	非経験群		経験群		無回答・無効回答		
	n=70,371		n=249		n=731		
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	
薬物乱用による薬物依存							<0.001
知っている	67,325	(95.7)	200	(80.3)	639	(87.4)	
知らない	2,179	(3.1)	45	(18.1)	72	(9.8)	
無回答・無効回答	867	(1.2)	4	(1.6)	20	(2.7)	
薬物乱用による精神病状態							<0.001
知っている	64,376	(91.5)	200	(80.3)	572	(78.2)	
知らない	4,982	(7.1)	44	(17.7)	143	(19.6)	
無回答・無効回答	1,013	(1.4)	5	(2.0)	16	(2.2)	
薬物乱用によるフラッシュバック							0.072
知っている	50,257	(71.4)	164	(65.9)	422	(57.7)	
知らない	19,183	(27.3)	80	(32.1)	288	(39.4)	
無回答・無効回答	931	(1.3)	5	(2.0)	21	(2.9)	
有機溶剤乱用による急性中毒死							0.272
知っている	51,581	(73.3)	174	(69.9)	451	(61.7)	
知らない	17,952	(25.5)	71	(28.5)	262	(35.8)	
無回答・無効回答	838	(1.2)	4	(1.6)	18	(2.5)	
有機溶剤乱用による歯の腐食							0.264
知っている	48,879	(69.5)	165	(66.3)	432	(59.1)	
知らない	20,625	(29.3)	81	(32.5)	282	(38.6)	
無回答・無効回答	867	(1.2)	3	(1.2)	17	(2.3)	
有機溶剤乱用による多発神経炎							0.352
知っている	44,281	(62.9)	149	(59.8)	366	(50.1)	
知らない	25,162	(35.8)	96	(38.6)	346	(47.3)	
無回答・無効回答	928	(1.3)	4	(1.6)	19	(2.6)	
大麻や有機溶剤の乱用による無動機症候群							0.223
知っている	46,138	(65.6)	154	(61.8)	375	(51.3)	
知らない	23,386	(33.2)	92	(36.9)	338	(46.2)	
無回答・無効回答	847	(1.2)	3	(1.2)	18	(2.5)	
危険ドラッグ乱用による身体症状および精神症状							0.009
知っている	50,457	(71.7)	159	(63.9)	480	(65.7)	
知らない	19,081	(27.1)	86	(34.5)	232	(31.7)	
無回答・無効回答	833	(1.2)	4	(1.6)	19	(2.6)	
危険ドラッグの中には麻薬や覚せい剤よりも脳や体に与える害が強いものがある							0.690
知っている	45,292	(64.4)	157	(63.1)	428	(58.5)	
知らない	24,294	(34.5)	89	(35.7)	286	(39.1)	
無回答・無効回答	785	(1.1)	3	(1.2)	17	(2.3)	
薬物乱用の誘いを断る自信							<0.001
大変ある	56,063	(79.7)	147	(59.0)	507	(69.4)	
どちらかと言えばある	10,328	(14.7)	36	(14.5)	126	(17.2)	
どちらかと言えない	1,396	(2.0)	12	(4.8)	20	(2.7)	
まったくない	1,743	(2.5)	51	(20.5)	50	(6.8)	
無回答・無効回答	841	(1.2)	3	(1.2)	28	(3.8)	

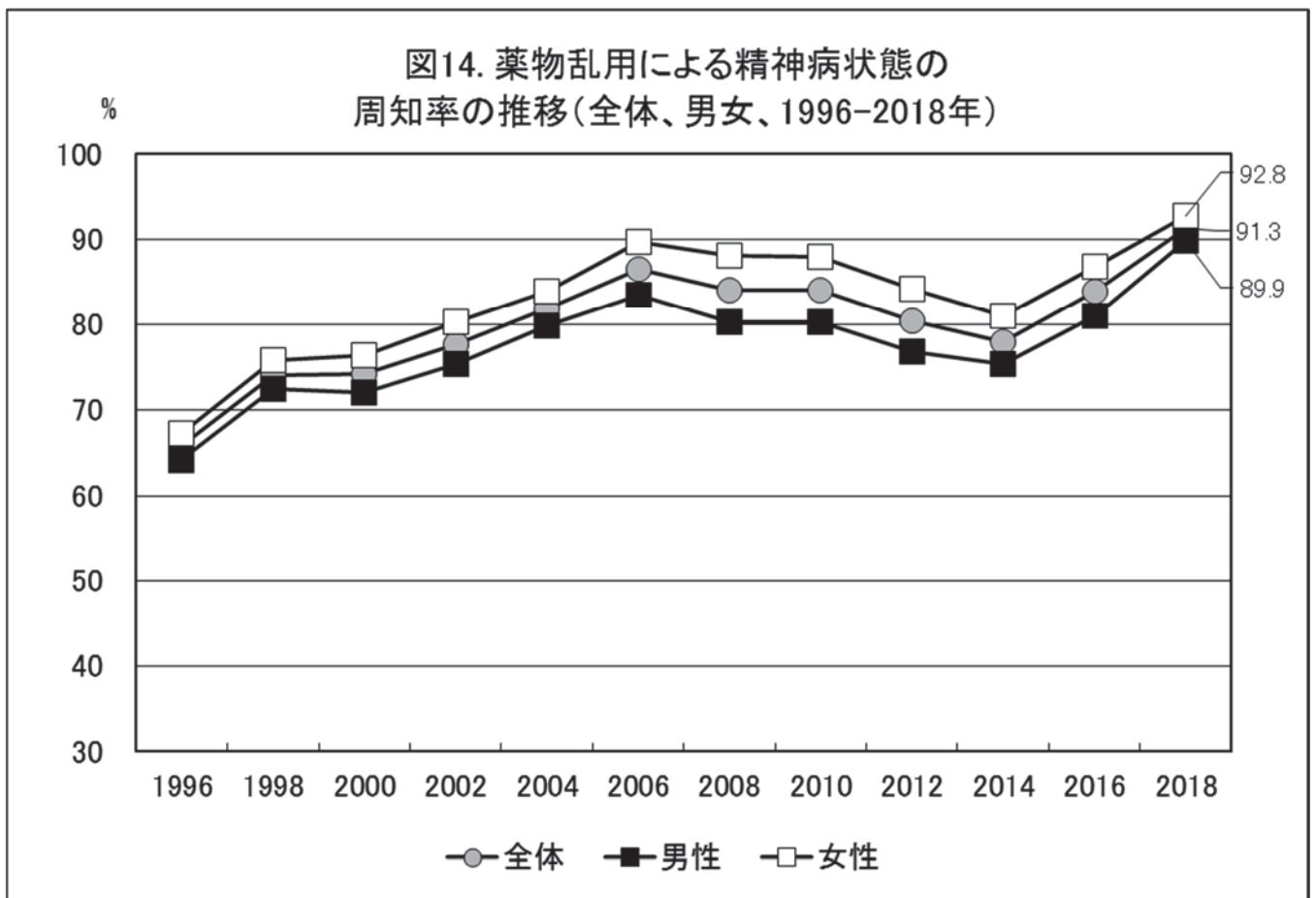
\*検定は、無回答・無効回答を除外して行った。

表34. 薬物乱用による精神病状態の周知率の推移(1996-2018年)(%)

調査年	男性	女性	全体
1996	64.1	67.2	65.7
1998	72.5	75.8	74.1
2000	72.0	76.4	74.2
2002	75.3	80.3	77.7
2004	79.8	84.0	81.9
2006	83.5	89.8	86.6
2008	80.3	88.1	84.1
2010	80.3	88.0	84.1
2012	76.8	84.2	80.4
2014	75.3	81.0	78.0
2016	81.1	86.8	84.0
2018	89.9	92.8	91.3

※「全体」とは、男性、女性、性別不明の対象者全体を指す。

※2016年調査までは、有機溶剤の乱用に限定して尋ねていた。



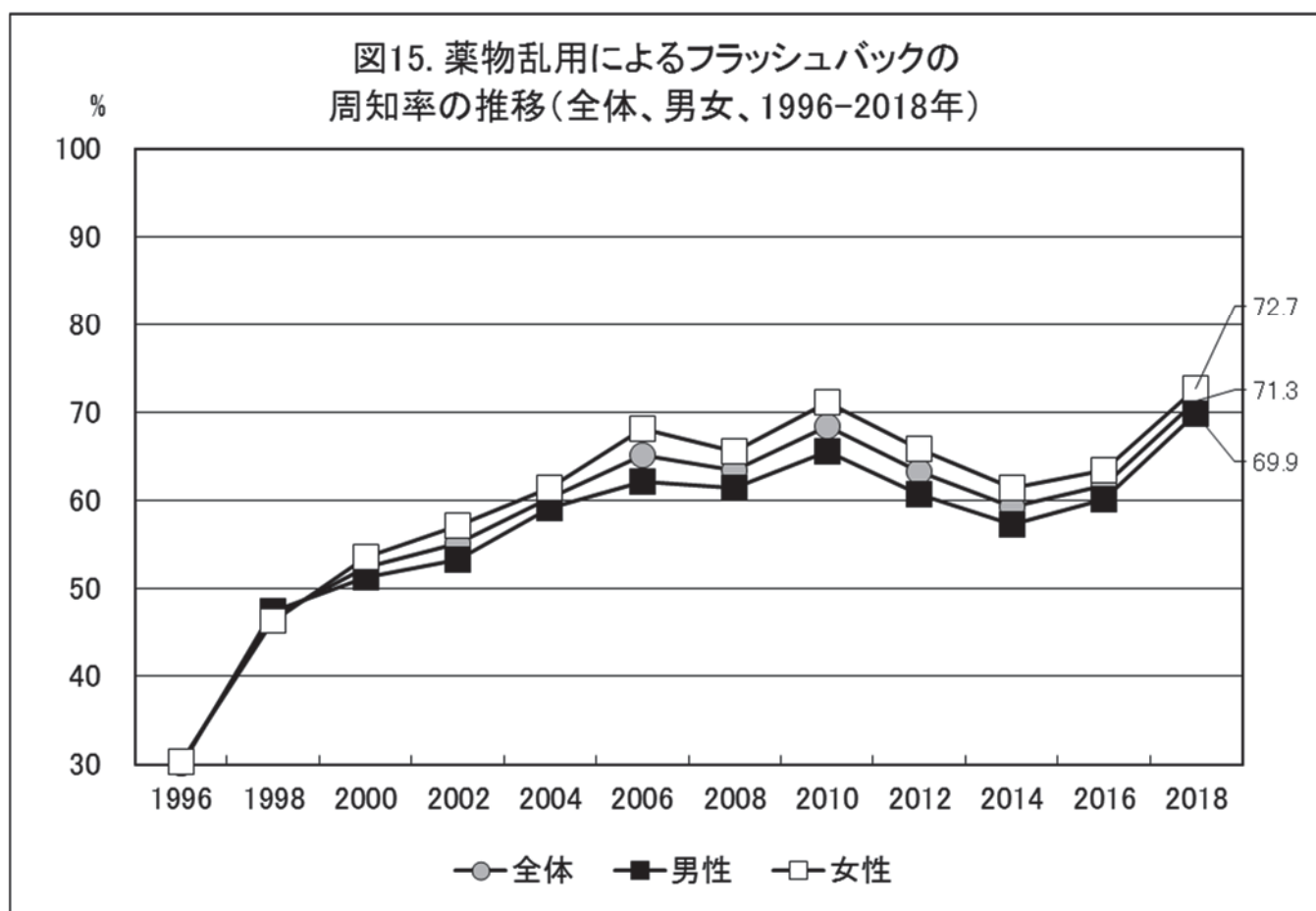
※2016年調査までは、有機溶剤の乱用に限定して尋ねていた。

表35. 薬物乱用によるフラッシュバックの周知率の推移(1996-2018年)(%)

調査年	男性	女性	全体
1996	29.9	30.3	30.1
1998	47.5	46.3	46.9
2000	51.3	53.6	52.5
2002	53.3	57.1	55.1
2004	59.2	61.5	60.3
2006	62.1	68.2	65.1
2008	61.4	65.6	63.4
2010	65.6	71.1	68.4
2012	60.8	65.9	63.3
2014	57.3	61.5	59.3
2016	60.2	63.5	61.8
2018	69.9	72.7	71.3

※「全体」とは、男性、女性、性別不明の対象者全体を指す。

※2016年調査までは、有機溶剤の乱用に限定して尋ねていた。



※2016年調査までは、有機溶剤の乱用に限定して尋ねていた。

表36. 有機溶剤乱用による急性中毒死の周知率の推移(1996-2018年)(%)

調査年	男性	女性	全体
1996	59.9	64.6	62.2
1998	65.3	70.1	67.6
2000	60.5	66.8	63.6
2002	61.2	65.8	63.4
2004	63.1	66.4	64.7
2006	64.1	70.3	67.4
2008	58.6	63.9	61.2
2010	58.0	64.0	61.0
2012	55.5	61.0	58.2
2014	56.6	59.1	57.8
2016	70.4	74.2	72.3
2018	72.2	74.2	73.2

※「全体」とは、男性、女性、性別不明の対象者全体を指す。

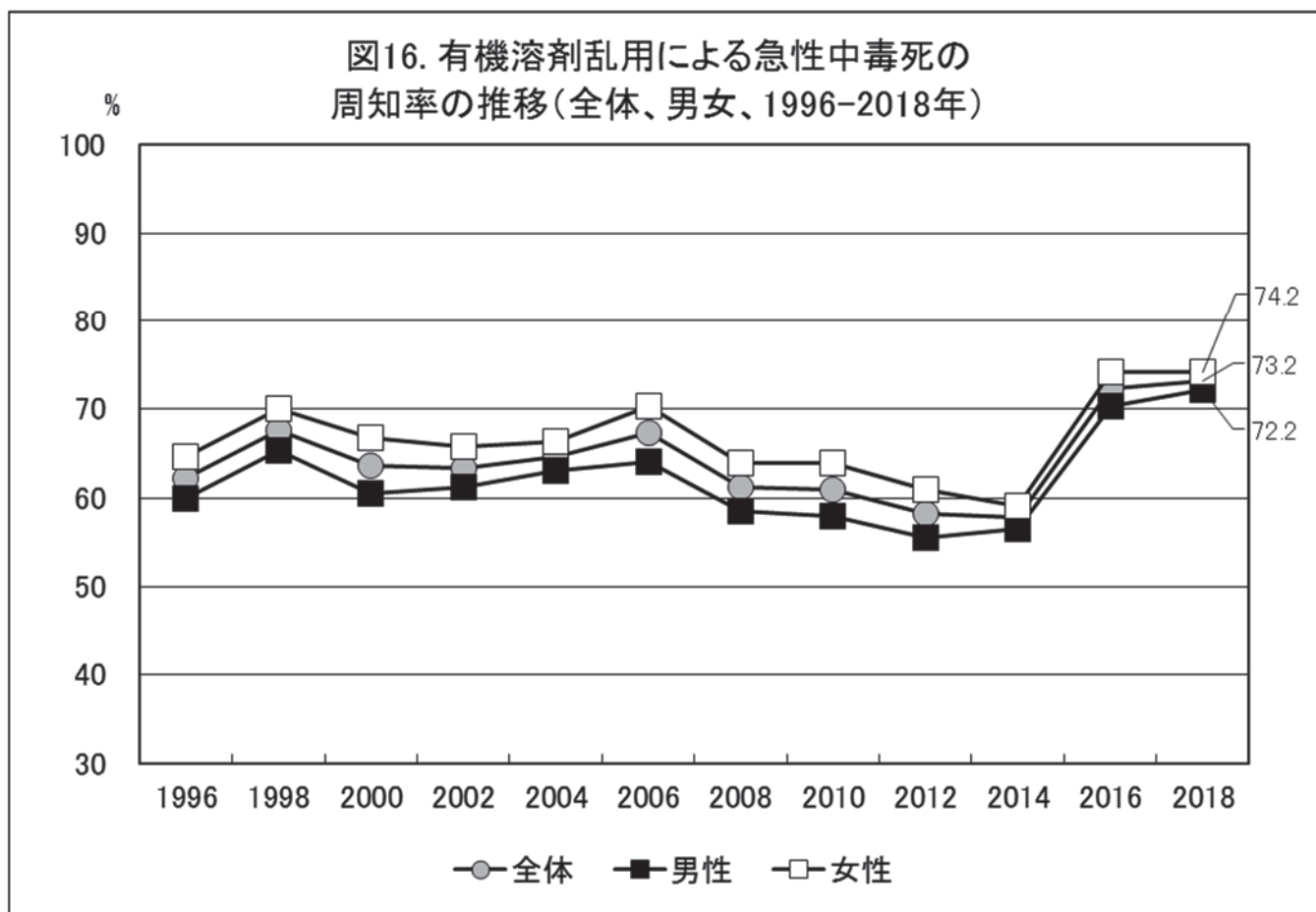




表37. 有機溶剤乱用による歯の腐食の周知率の推移(1996-2018年)(%)

調査年	男性	女性	全体
1996	55.4	52.2	53.8
1998	53.2	51.0	52.2
2000	55.8	55.8	55.8
2002	60.9	62.2	61.5
2004	68.9	69.4	69.2
2006	73.6	76.9	75.2
2008	71.3	75.3	73.3
2010	71.5	76.2	73.8
2012	66.2	72.1	69.2
2014	60.5	65.2	62.7
2016	64.9	70.4	67.7
2018	67.5	71.3	69.3

\*「全体」とは、男性、女性、性別不明の対象者全体を指す。

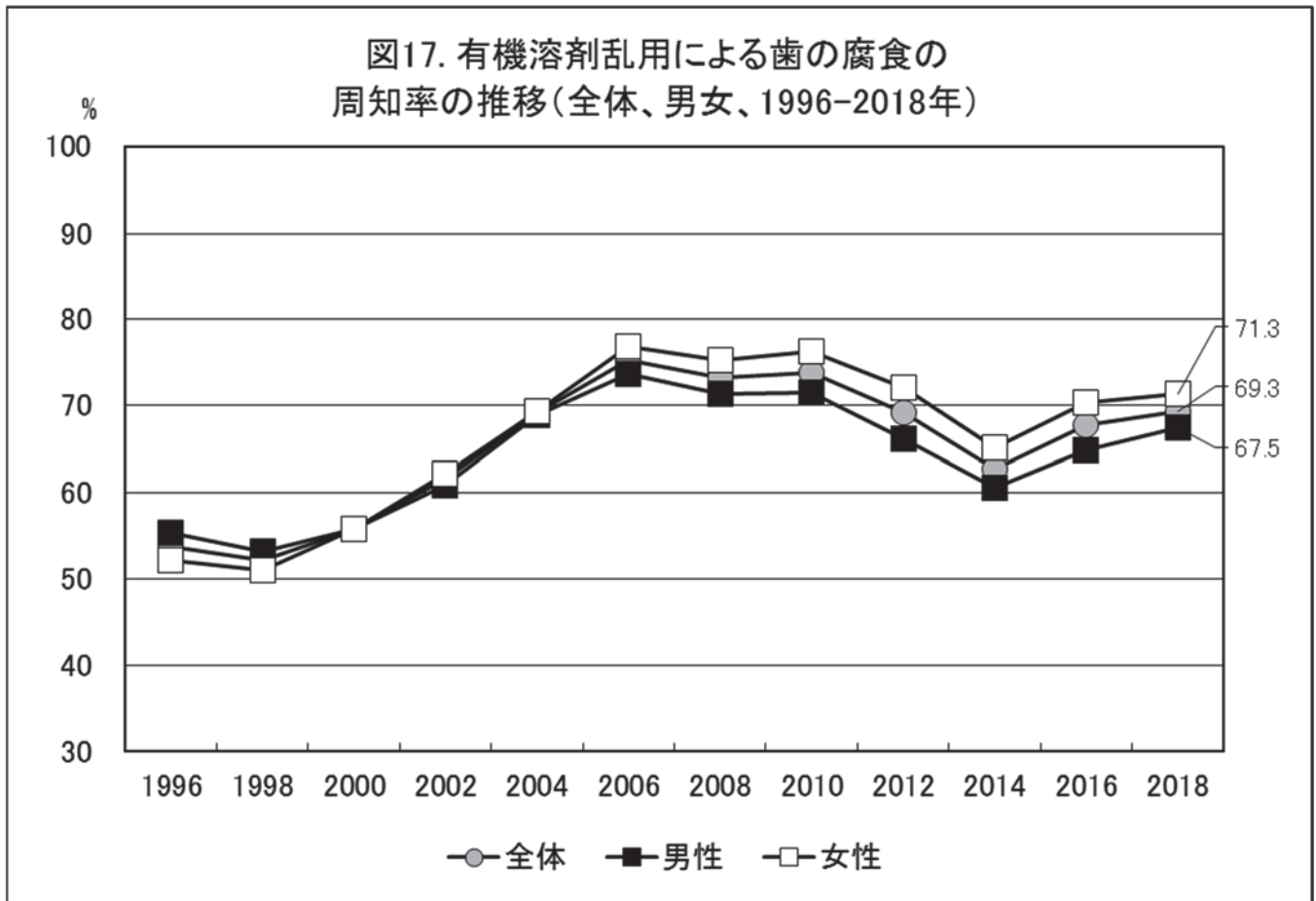


表38. 有機溶剤乱用による多発神経炎の周知率の推移(1996-2018年)

調査年	男性	女性	全体
1996	55.9	60.3	58.1
1998	60.4	65.9	63.0
2000	53.1	60.1	56.6
2002	56.2	62.1	59.1
2004	59.4	64.7	62.0
2006	61.0	69.0	64.9
2008	56.8	65.1	60.8
2010	53.3	59.8	56.6
2012	59.3	64.5	61.9
2014	58.1	62.9	60.3
2016	66.2	72.2	69.3
2018	60.6	65.1	62.8

\*「全体」とは、男性、女性、性別不明の対象者全体を指す。

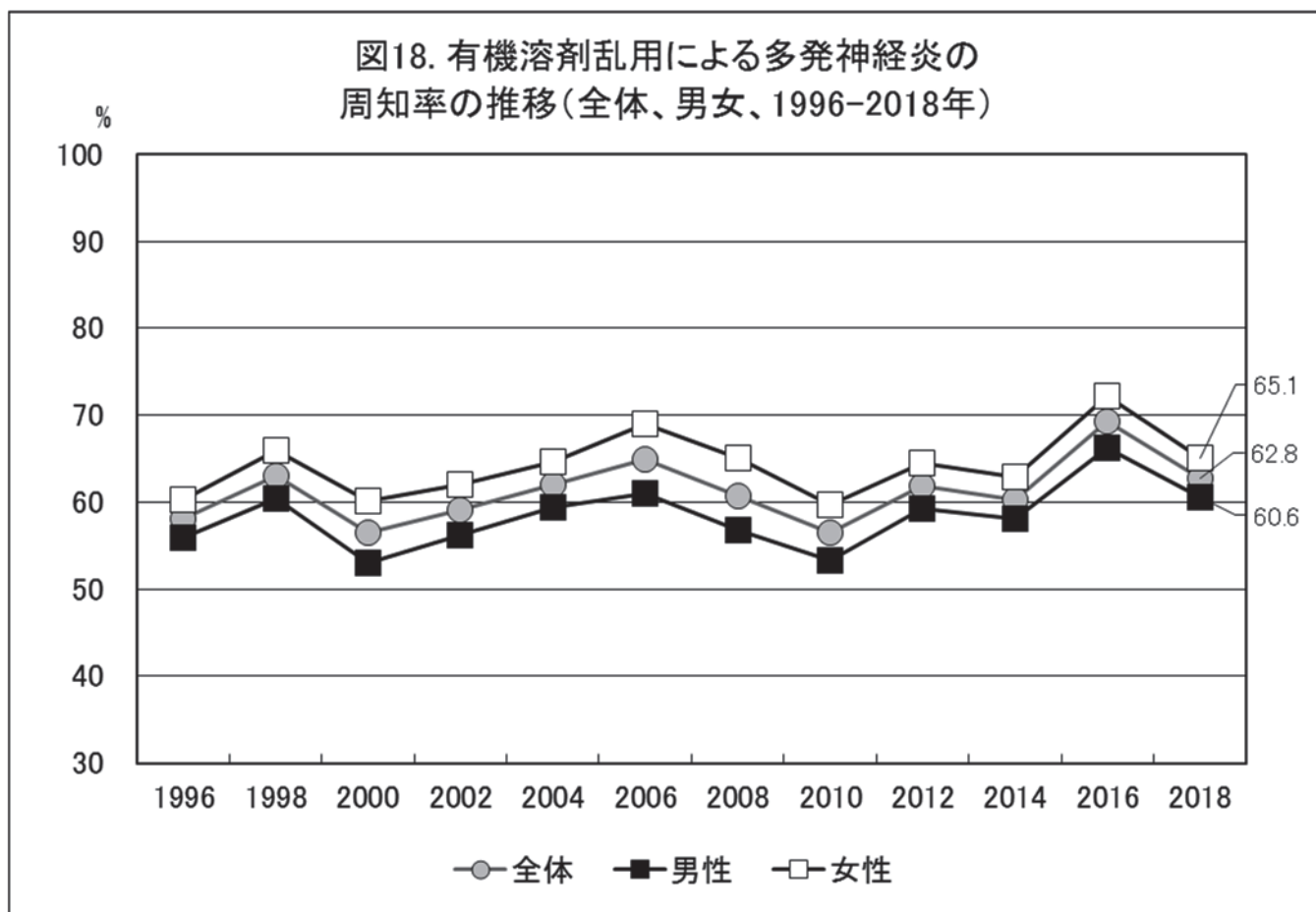
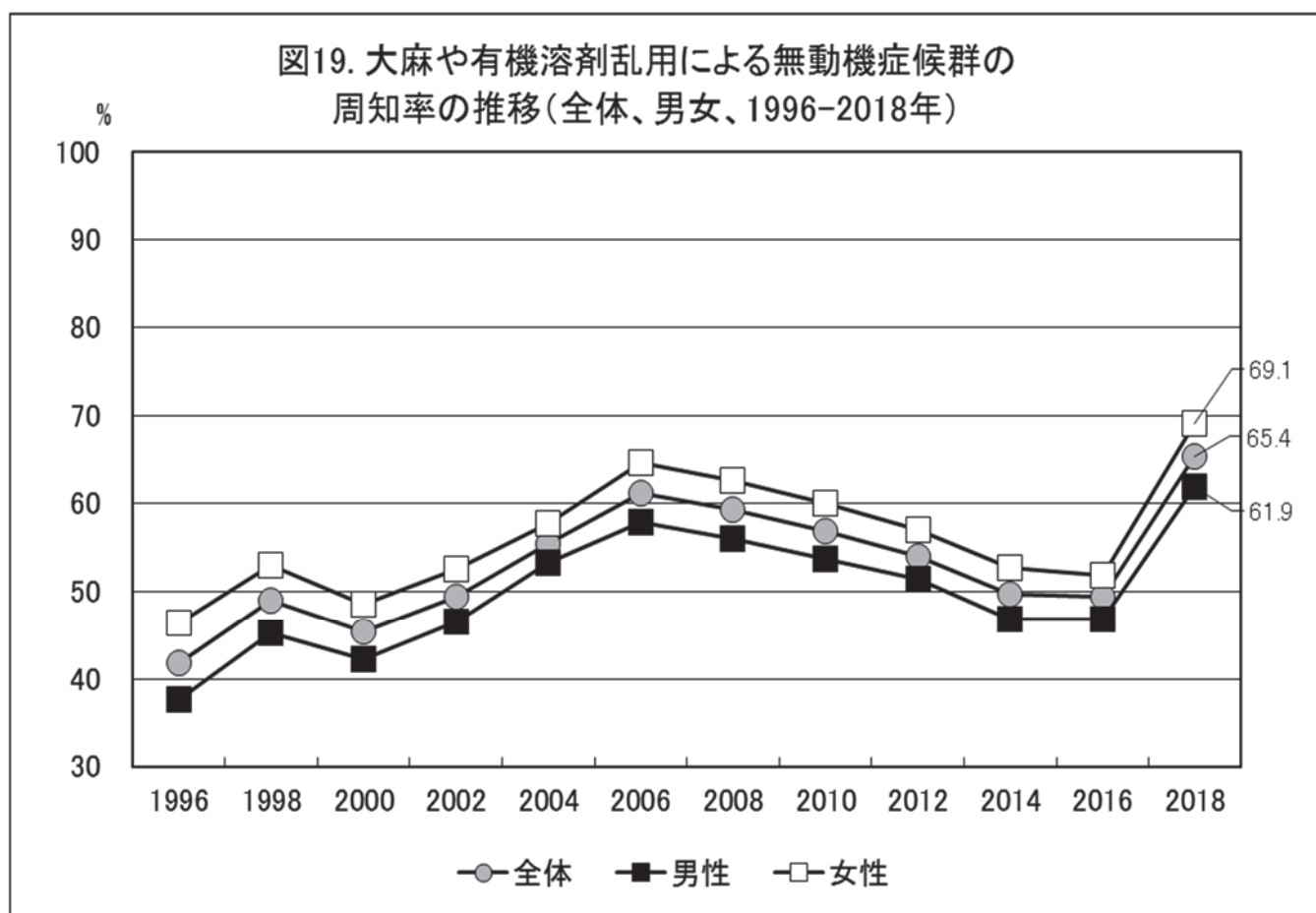


表39. 大麻や有機溶剤乱用による無動機症候群の周知率の推移(1996-2018年)(%)

調査年	男性	女性	全体
1996	37.6	46.4	41.9
1998	45.3	53.0	49.0
2000	42.3	48.6	45.4
2002	46.6	52.6	49.5
2004	53.3	57.8	55.5
2006	57.9	64.7	61.2
2008	56.1	62.7	59.3
2010	53.7	60.1	56.9
2012	51.4	57.0	54.1
2014	46.9	52.8	49.7
2016	46.8	51.9	49.4
2018	61.9	69.1	65.4

\*「全体」とは、男性、女性、性別不明の対象者全体を指す。

※2016年調査までは、有機溶剤の乱用に限定して尋ねていた。



※2016年調査までは、有機溶剤の乱用に限定して尋ねていた。

表40. 危険ドラッグ乱用による身体症状および精神症状の周知率の推移(2012-2018年)(%)

調査年	男性	女性	全体
2012	62.2	61.5	61.9
2014	75.0	74.9	75.0
2016	67.6	70.1	68.9
2018	71.2	72.1	71.6

\*「全体」とは、男性、女性、性別不明の対象者全体を指す。

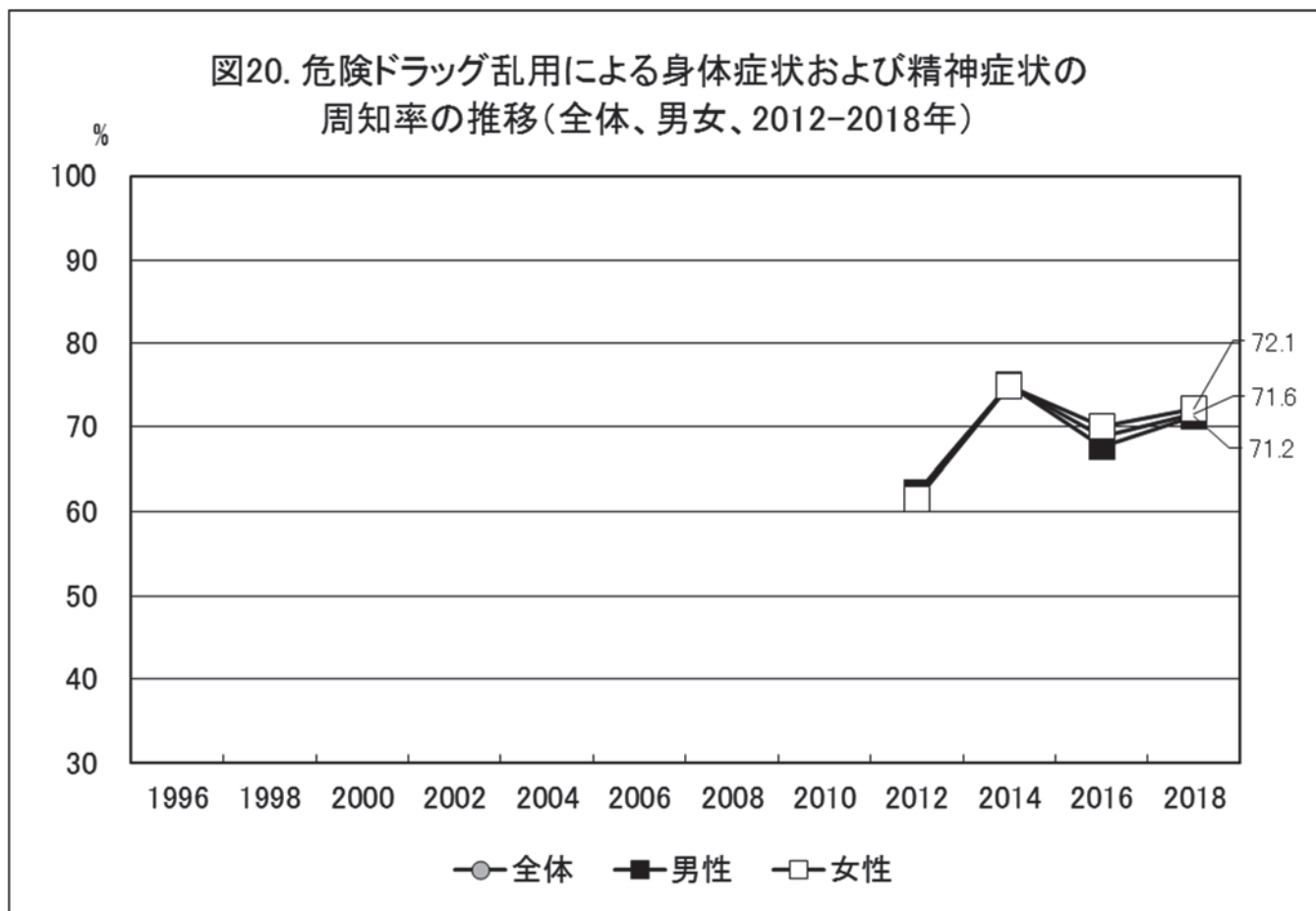


表41. 危険ドラッグの中には麻薬や覚せい剤よりも脳や体に与える害が強いものがあることの周知率の推移(2014-2018年)

調査年	男性	女性	全体
2014	65.3	61.0	63.2
2016	62.4	62.5	62.4
2018	65.1	63.4	64.3

\*「全体」とは、男性、女性、性別不明の対象者全体を指す。

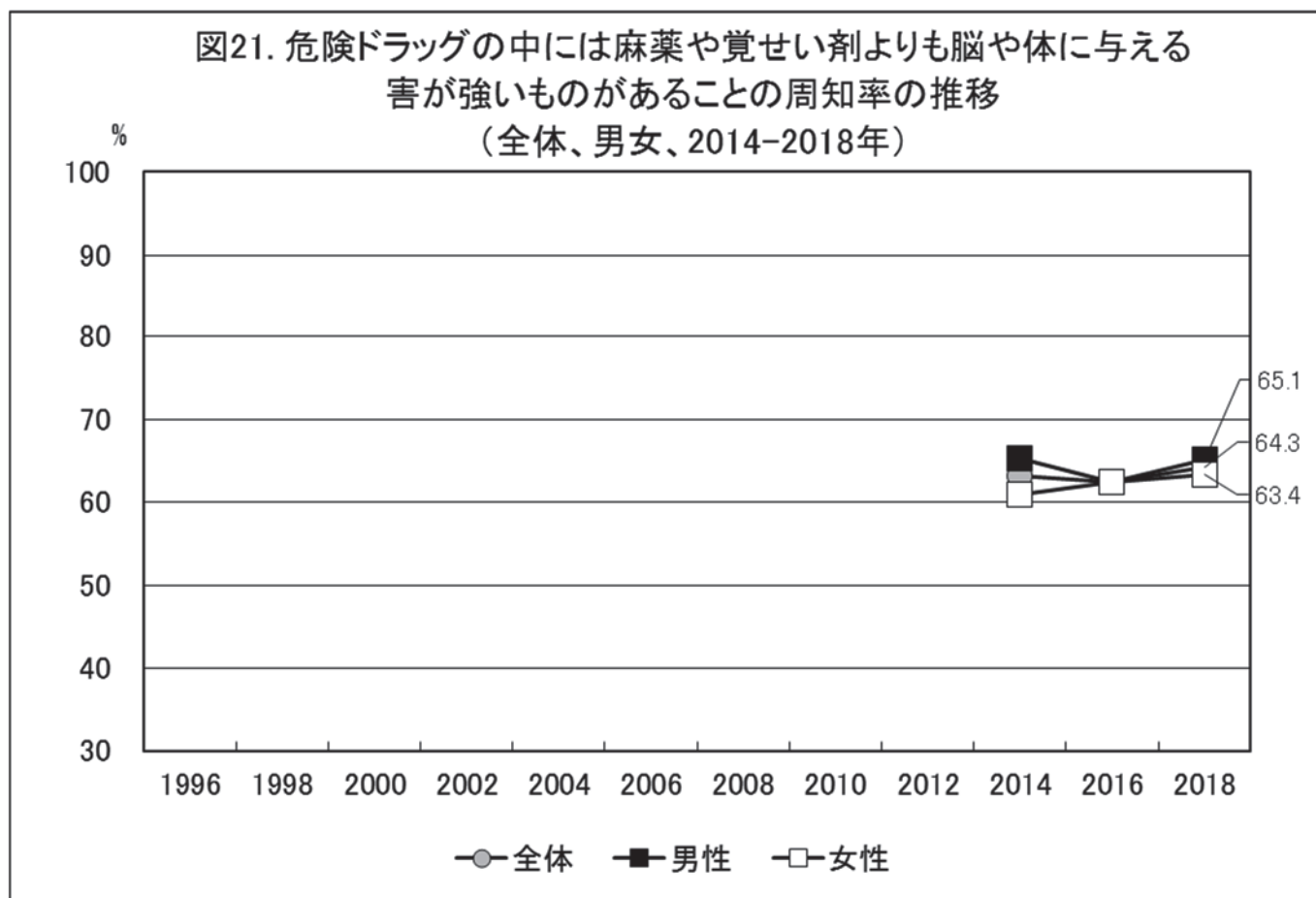
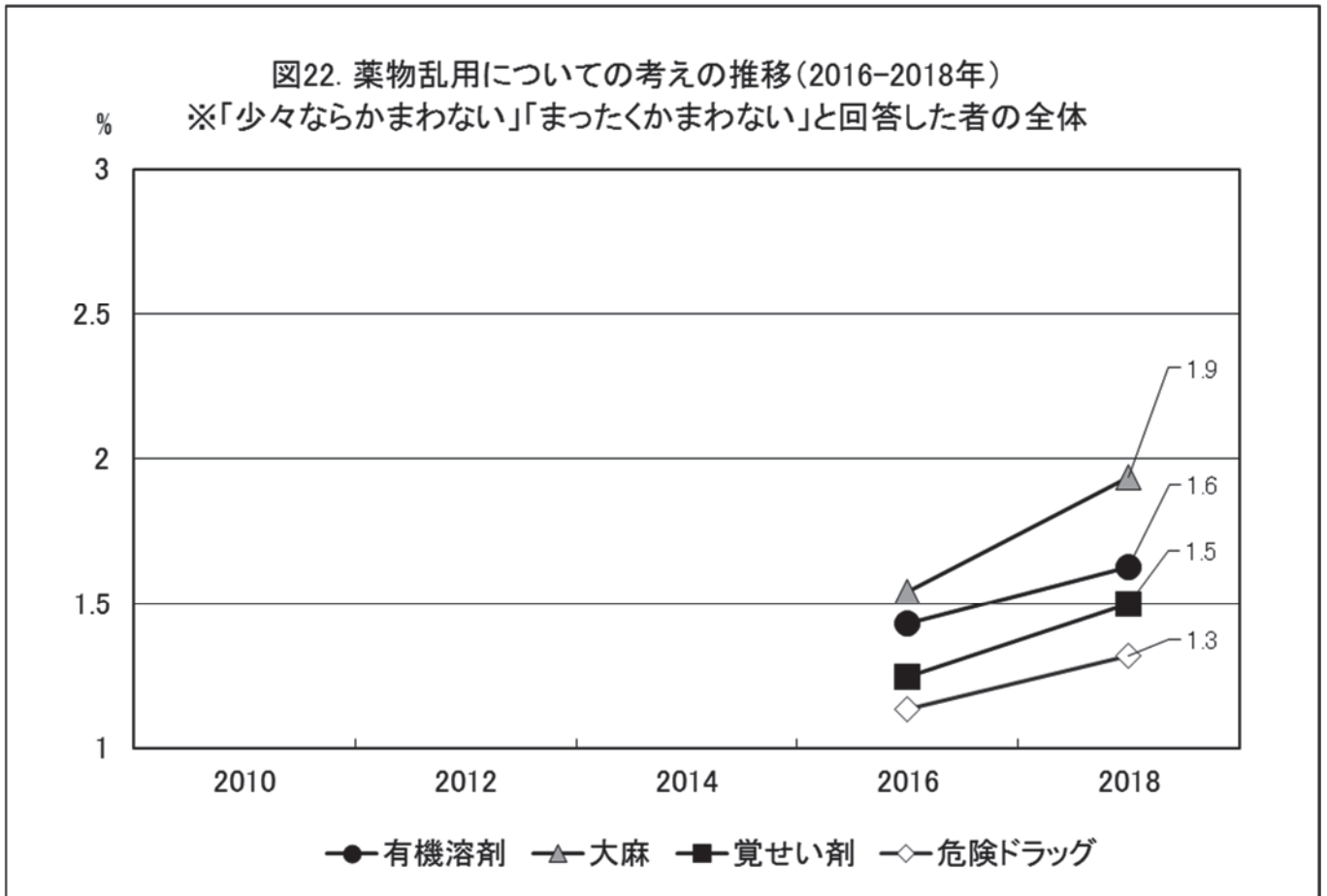


表42. 薬物乱用についての考えの推移(2016-2018年) (%)

調査年	有機溶剤	大麻	覚せい剤	危険ドラッグ
2016	1.4	1.5	1.2	1.1
2018	1.6	1.9	1.5	1.3

※「少々ならかまわない」「まったくかまわない」と回答した者の全体





# 飲酒・喫煙・薬物乱用についての意識・実態調査 (第12版-18)

このアンケートは、飲酒・喫煙・薬物乱用に対する中学生の考えや、実際にどのくらいの方が経験しているのかを調べ、今後の中学生に向けた対策の参考にします。あなたのプライバシーを守るために、次の項目をご覧ください。

- あなたの名前、住所などの個人情報は記入しないでください。 ● 調査結果は全体をまとめて処理しますので、個人・学校が特定されることはありません。
- 答えたくない質問には答えなくても結構です。 ● アンケートが終わったら、一緒に配られた封筒にアンケート用紙を入れて、シールをしてください。
- アンケートの開封は学校では行いません。下記の研究室に運ばれ、開封され、その後は厳重に保管されます。

各質問に対する回答は、ことわりがない限り、自分の場合に最も近いものの数字を1つだけ、丸で囲んでください。

【実施機関】 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 東京都小平市小川東町4-1-1

あなたのプロフィールや生活についておたずねします

質問1

あなたの性別はどちらに当てはまりますか？ 1. 男性 2. 女性

質問2

あなたは中学何年生ですか？ 1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生

質問3

起床時間は、ほぼ一定していますか？ 1. はい 2. いいえ

質問4

就寝時間は、ほぼ一定していますか？ 1. はい 2. いいえ

質問5

毎朝、朝食を食べていますか？ 1. ほとんど毎日食べている 2. 時々食べる 3. ほとんど食べない

質問6

学校生活は次のどれですか？  
1. とても楽しい 2. どちらかといえば楽しい  
3. あまり楽しくない 4. まったく楽しくない

質問7

クラブ活動(部活)に参加していますか？  
1. 積極的に参加している 2. 消極的に参加している  
3. 参加していない 4. かつて参加していたが引退した

質問8

夕食を週何回くらい家族全員で食べますか？ 1. ほとんど毎日 2. 5～6回 3. 4回前後  
※ここでいう家族とは、現在、一緒に住んでいる家族とします。 4. 3回前後 5. 2回前後 6. ほとんど食べない

質問9

学校・塾・習い事・運動での時間以外、大人が不在の状態で、毎日平均どの程度の時間を過ごしますか？  
1. なし、あるいは、ほとんどなし 2. 1時間未満 3. 1時間以上2時間未満  
4. 2時間以上3時間未満 5. 3時間以上

質問10

あなたは、親しく遊べる友人がいますか？ 1. いる 2. いない

質問11

あなたは、相談事のできる友人がいますか？ 1. いる 2. いない

質問12

あなたは、悩みごとがある時、親に相談する方だと思いますか？  
1. よく相談する方である 2. どちらかと言えば相談する方である 3. どちらかと言えば相談しない方である  
4. ほとんど相談しない方である 5. 親がいない(単身赴任・死別・別居・離婚など)

**質問13-1**

あなたは、1日に何時間くらい遊び目的でインターネットを使用しますか？

ここでいう、遊び目的とは、情報検索、動画視聴、音楽試聴、オンラインゲーム、SNS (TwitterやLINEなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス) などのインターネット使用を指します。学校でのパソコンを使った学習や、自宅などでの勉強目的でのインターネット使用は含めないでください。

1. 1時間未満      2. 1～2時間      3. 2～3時間      4. 3～4時間      5. 4～5時間      6. 5時間以上

**質問13-2**

あなたが遊び目的でインターネットを利用する時に、一番よく使う機器を一つだけ選んでください。

1. 携帯電話(スマートフォン)      2. パソコン(タブレットを含む)      3. インターネット接続できるゲーム機  
4. インターネット接続できる音楽端末      5. その他の機器      6. 遊び目的でインターネットは使わない

あなたの飲酒・喫煙の経験や考えについておたずねします

**質問14**

これまでに、一回でも、アルコールを飲んだことがありますか？(当てはまる項目すべてに○を)

※アルコールとは、ビール、日本酒、ワイン、焼酎、ウイスキーなどを指します。このアンケートにおいて、飲酒とは、アルコールを一口以上飲み込むことを指します。「なめただけ」の場合は、「飲酒」には含めないでください。

1. 飲んだことがない  
2. <sup>かんこんそうさい</sup>冠婚葬祭(結婚式・祭り・<sup>そうしき</sup>葬式・<sup>ほうじ</sup>法事・<sup>ぼん</sup>盆・正月など)の時に飲んだことがある  
3. 家族での食事などの時に、家族といっしょに飲んだことがある  
4. クラス会、打ち上げ、友達とのパーティーの時に、仲間と飲んだことがある  
5. カラオケボックス、居酒屋、飲み屋などで、仲間と飲んだことがある  
6. 自分や誰かの部屋で、仲間と飲んだことがある  
7. 一人で飲んだことがある

**質問15**

上記のいずれかの機会で、初めてアルコールを飲んだのは、何歳の時ですか？

1. 飲んだことがない      2. 10歳以下      3. 11歳      4. 12歳      5. 13歳  
6. 14歳      7. 15歳以上      8. 飲んだことはあるが、年齢はおぼえていない

**質問16**

この1年間に、どのくらいの頻度でアルコールを飲みましたか？

1. 一度も飲まなかった      2. 1年間で1～数回飲んだ      3. 月に数回飲んだ  
4. 週に数回飲んだ      5. ほとんど毎日飲んだ

**質問17**

未成年者の飲酒は禁止されていますが、あなたは、未成年者の飲酒をどう思いますか？

1. 法律で禁止されているから、飲むべきではないと思う  
2. 法律で禁止されてはいるが、時と場合に応じては、かまわないと思う  
3. 法律で禁止されてはいるが、全然かまわないと思う

**質問18**

これまで一回でも、タバコを吸ったことがありますか？(ある場合は、初めて吸った時の年齢を選んでください。)

※ここでいうタバコとは、紙巻きタバコのみならず、電子タバコ、加熱式タバコも含めます。

1. 吸ったことがない      2. 10歳以下      3. 11歳      4. 12歳      5. 13歳  
6. 14歳      7. 15歳以上      8. 吸ったことはあるが、年齢はおぼえていない

**質問19**

この1年間で、タバコを吸ったことがありますか？

1. 一度も吸わなかった      2. 1年間で1～数回吸った      3. 月に数回吸った  
4. 週に数回吸った      5. ほとんど毎日吸った

**質問20**

未成年者の喫煙は法律で禁じられていますが、あなたは未成年者の喫煙をどう思いますか？

1. 法律で禁じられているから、吸うべきでないと思う  
2. 法律で禁じられてはいるが、少々ならかまわないと思う  
3. 法律で禁じられてはいるが、全然かまわないと思う

**質問21** あなたの身近に、次の薬物を使っている人がいますか？

シンナー (有機溶剤)	1. いない    2. いる	覚せい剤	1. いない    2. いる
大麻 (マリファナ)	1. いない    2. いる	危険ドラッグ	1. いない    2. いる

**質問22** あなたは、次の薬物の使用に誘われたことがありますか？

シンナー (有機溶剤)	1. ない    2. ある	覚せい剤	1. ない    2. ある
大麻 (マリファナ)	1. ない    2. ある	危険ドラッグ	1. ない    2. ある

**質問23** あなたが次の薬物を手に入れようとした場合、それはどの程度むずかしいですか？

シンナー (有機溶剤)	1. 絶対不可能だ    2. ほとんど不可能だ 3. なんとか手に入る    4. 簡単に手に入る	覚せい剤	1. 絶対不可能だ    2. ほとんど不可能だ 3. なんとか手に入る    4. 簡単に手に入る
大麻 (マリファナ)	1. 絶対不可能だ    2. ほとんど不可能だ 3. なんとか手に入る    4. 簡単に手に入る	危険ドラッグ	1. 絶対不可能だ    2. ほとんど不可能だ 3. なんとか手に入る    4. 簡単に手に入る

**質問24** あなたは、これまでに一回でも、次の薬物を使ったことがありますか？  
個人は特定されませんので、正直にお答えください。

シンナー (有機溶剤)	1. 経験がない    2. 経験がある	覚せい剤	1. 経験がない    2. 経験がある
大麻 (マリファナ)	1. 経験がない    2. 経験がある	危険ドラッグ	1. 経験がない    2. 経験がある

**質問25** 薬物乱用は法律で禁止されていますが、あなたは、次の薬物を使うことについて、どう思いますか？

シンナー (有機溶剤)	1. 使うべきではない    2. 少々ならかまわない    3. まったくかまわない
大麻 (マリファナ)	1. 使うべきではない    2. 少々ならかまわない    3. まったくかまわない
覚せい剤	1. 使うべきではない    2. 少々ならかまわない    3. まったくかまわない
危険ドラッグ	1. 使うべきではない    2. 少々ならかまわない    3. まったくかまわない

質問26

薬物乱用を繰り返すと、薬物依存（やくぶついぞん）（やめたくても、やめられない状態）になることを知っていますか？

1. 知っている                      2. 知らない

質問27

薬物乱用を繰り返すと、何もないのに物が見えたり（幻視）、実際には何も聞こえないのに声が聞こえたり（幻聴）、誰も何とも思っていないのに、人が自分の事を非難していると思ひ込んだり（妄想）する状態（精神病状態）になることがあるのを知っていますか？

1. 知っている                      2. 知らない

質問28

薬物乱用の結果、精神病状態になってしまうと、それを治療して治っても、その後、薬物乱用をやめていても、疲れ・ストレス・飲酒などで、幻視、幻聴、妄想が再び出ること（フラッシュバック）があるのを知っていますか？

1. 知っている                      2. 知らない

質問29

シンナーの乱用で死亡すること（急性中毒死）があるのを知っていますか？

1. 知っている                      2. 知らない

質問30

シンナーの乱用を繰り返すと、歯がぼろぼろになりやすいことを知っていますか？

1. 知っている                      2. 知らない

質問31

シンナーの乱用を繰り返すと、手足の筋肉や神経が衰え、物をつかめなくなったり、歩けなくなること（多発神経炎）があるのを知っていますか？

1. 知っている                      2. 知らない

質問32

大麻やシンナーの乱用を繰り返すと、何事にも関心を持てなくなり、集中力、記憶力が低下し、結果として成績が下がり、仕事も長続きしなくなる（無動機症候群）危険性が高いことを知っていますか？

1. 知っている                      2. 知らない

質問33

危険ドラッグとは、大麻や覚せい剤に似た作用があるにも関わらず、法律で禁止されていないことを利用して、法の網をかいくぐるかのように売られている薬物です。しかし、一回使っただけで、呼吸ができなくなったり、体が動かなくなったり、意識がなくなったりする可能性のある危険な薬物であることを知っていますか？

1. 知っている                      2. 知らない

質問34

危険ドラッグの中には、麻薬や覚せい剤よりも脳や体に与える害が強いものがあることを知っていますか？

1. 知っている                      2. 知らない

質問35

友人や知り合いに薬物の乱用を誘われたとしたら、あなたは断る自信がどのくらいありますか？

1. 大変ある                      2. どちらかと言えばある                      3. どちらかと言えばない                      4. まったくない

アンケート用紙を三つ折りにし、一緒に配った封筒に入れ、封をしてから先生に提出してください。ご協力ありがとうございました。

厚生労働科学研究費補助金

(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業)

薬物乱用・依存状況等のモニタリング調査と

薬物依存症者・家族に対する回復支援に関する研究

(H29-医薬-一般-001)

飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査 (2018年)

平成30年度 研究報告書

発行日 平成31年3月31日

発行者 研究代表者 嶋根卓也 (国立精神・神経医療研究センター)

発行所 〒187-8553 東京都小平市小川東町4-1-1

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所

薬物依存研究部 心理社会研究室 (shimane@ncnp.go.jp)

